

米に関するマンスリーレポート (令和7年8月号)



うちの郷土料理
次世代に伝えたい大切な味

茨城県 五目いなりずし

出典:農林水産省「うちの郷土料理」
詳細情報を裏面で紹介

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

うちの郷土料理

次世代に伝えたい大切な味

茨城県 五目いなりずし

主な伝承地域

県内全域

主な使用食材

油揚げ、米、人参、ごぼう、しいたけ

歴史・由来・関連行事

茨城県では、1年を通じて温暖な気候と豊かな水質を活かして、古来より農業が営まれてきた。白菜、れんこん、ピーマンなど、全国トップクラスの産出額を誇るものも数多く、野菜から肉にいたるまで実にさまざまな食材がつけられている、まさに“農業県”である。地元でとれる農産物を使った郷土料理として「五目いなりずし」も長年親しまれている。

特に笠間市では、日本三大稲荷の一つとしてあげられる笠間稲荷神社が鎮座していることから、古くから市民や参詣客に「五目いなりずし」を振る舞ってきた。現在もまちをあげて盛り上げている。「笠間いなりずし」の特徴は、“五目”とって想起する、人参やごぼう、しいたけといった具材に加え、地場産のそばやくるみ、舞茸など、幅広い食材を使うことで知られる。色とりどりの具材がのったいなりずしは、とても華やかである。

食習の機会や時季

年間を通して、さまざまなシチュエーションで食べられている。大人はもちろん、子どもにも人気の料理である。

飲食方法

油揚げは油抜きし、砂糖、みりん、醤油などの合わせ調味料で煮立たせ、味を馴染ませる。人参やごぼう、しいたけといった具材は食べやすく千切りなどにして炒め、味をつけたら、ごはんに入れて均一に混ぜる。油揚げの中に具材を混ぜ込んだごはんをしっかり詰め、口の部分を上にして中身が見えるようにお皿などに並べていただく。

アレンジは非常に豊富で、米を炊く際にもち米を少し混ぜておこわのようにしたり、夏は枝豆、冬はぎんなんなどを入れて、季節感を味わうのも楽しい。また、茨城県は全国のそば職人から高い評価を得ているブランド品種、「常陸秋そば」の産地でもあることから、そばを使ったアレンジも人気である。

材料(4人分)

・油揚げ	200g	・【A】砂糖	大さじ3
・【A】みりん	小さじ1	・【A】醤油	小さじ3
・【A】だし汁	2カップ	・舞茸	80g
・しいたけ	80g	・人参	80g
・ごぼう	80g	・枝豆	80g
・さやいんげん	40g	・糸こんにゃく	80g
・油	大さじ1	・【B】醤油	大さじ2
・【B】砂糖	大さじ1	・【B】酒	大さじ2
・米	320g		

作り方

- 油揚げは1枚を2つに切り開き、湯通しして油抜きをし、Aの調味料で煮含める。
- 人参、ごぼうはさがきにし、ごぼうは水につけてアクを抜く。糸こんにゃくは3～4cm長さに、しいたけは千切りにする。
- 鍋に油を熱し、2の材料を入れて炒め、さらに手で割いた舞茸を加え、Bの調味料で味付ける。
- 普通に炊いたご飯に3を入れ、均一に混ぜる。
- さやいんげんはゆでて千切りに。1の油揚げの中に4を入れてきっちりと詰め、油揚げの縁をたたんでかたちを整え、白ごまと千切りのさやいんげんをのせる。

レシピ提供元名：「いばらきの味—郷土料理献立集食・彩・百・景」(協力／茨城県食生活改善推進員協議会)

※レシピは地域・家庭によって違いがあります。

出典：農林水産省「うちの郷土料理」

目次 (令和7年8月号)

特集

- 1 米の基本指針(令和7年7月30日公表)のポイント
- 2 検証のために行った追加調査等の結果について(抜粋)
- 3 水田における作付意向について(令和7年産第3回中間的取組状況)(令和7年6月末時点)

特集-1

特集-3

特集-7

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500^ト以上の出荷段階(全農、JA等の出荷業者)の在庫量と年間玄米仕入数量4,000^ト以上の販売段階(米卸等の販売業者の在庫量)を対象に調査し、その合計(出荷段階+販売段階)の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 全国段階の民間在庫の推移(うるち米)(速報)
- (2) 産地別民間在庫の状況(速報)
- (3) 令和5・6年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫-1

Excel

在庫-5

Excel

在庫-6

Excel

2 米の価格情報

相対(あいたい)取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。

このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000^ト以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2~3銘柄(令和6年産米:118産地品種銘柄)について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 年産別の相対取引価格(速報)
- (2) 令和6年産米の相対取引価格(速報)
- (3) 相対取引価格・数量(令和6年産米、産地品種銘柄別、令和7年7月分)(速報)
- (4) 相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和5・6年産米、産地品種銘柄別)(速報)

価格-1

価格-2

価格-4

価格-6

価格-8

Excel

Excel

2 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和7年7月分)

米穀安定供給確保支援機構HP

<https://www.komenet.jp/>

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の播種が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間玄米仕入量500^ト以上の出荷段階(全農等の出荷業者)からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、仕入(集荷)計画数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを播種前に契約し、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

1 事前契約(播種前契約)の取組状況

- (1) 近年の事前契約(播種前契約)数量の推移
 - (2) 令和5・6年産米の産地別事前契約(播種前契約)の取組状況(速報)
- ### 2 令和6年産米の産地別契約・販売状況
- (累計、うるち米、令和7年6月末現在)(速報)

契約-1

契約-2

契約-3

Excel

Excel

3 令和6年産備蓄米の政府買入入札結果

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/syorvu/kaiire/index.html>

契約-6

4 政府備蓄米の買戻し条件付売渡し

- (1) 入札結果
- (2) 政府備蓄米の買戻し条件付売渡しに係る流通実績

契約-7

契約-7

5 随意契約による政府備蓄米の売渡し

- (1) 随意契約による政府備蓄米の売渡しの状況
- (2) 販売状況
- (3) 随意契約による政府備蓄米の加工原材料用向け販売

契約-8

契約-9

契約-10

6 令和7年産水稻の生育状況について(令和7年8月1日報告時点)

契約-11

4 消費の動向

- 1 米の消費動向(米穀機構による調査)
米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>
- 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)
総務省統計局HP <https://www.stat.go.jp/data/index.html>
- 3 消費者物価指数の推移
- 4 小売物価統計の推移
- 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報)
- 6 小売価格・販売数量等の推移(POSデータ)

消費-1

消費-4

消費-6

消費-7

消費-8

消費-9

5 輸出入の動向

- 1 米・米加工品の輸出実績
 - (1) 米・米加工品の輸出実績の推移
 - (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移
 - (3) 2024年の米の輸出実績の主な増加要因
 - (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移
 - (5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移
 - (6) パックご飯等の輸出数量及び金額の推移
 - (7) 米粉の輸出数量及び金額の推移
 - (8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移
- 2 米・米加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について
- 3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)
農林水産省(農産)HP <https://www.maff.go.jp/i/seisan/boueki/nyusatu/index.html>
- 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和6年度)
- 5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和7年度)
- 6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和7年度)

輸出入-1

輸出入-2

輸出入-3

輸出入-4

輸出入-5

輸出入-6

輸出入-7

輸出入-8

輸出入-9

輸出入-11

輸出入-12

輸出入-13

輸出入-14

6 主食用米以外の情報

- 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況
 - (1) 加工用米の生産量
 - (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移
 - (3) 令和6年産 都道府県別の生産状況
 - (4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種
 - (5) 新規需要米における米粉用向け専用品種
- 2 米加工品の状況
 - (1) 主な米加工品の生産状況
 - (2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計)
 - (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移
- 3 酒造好適米の需給状況
 - (1) 日本酒の出荷状況
 - (2) 日本酒原料米の使用状況
 - (3) 酒造好適米の生産量
 - (4) 酒造好適米の需要量

主食外-1

主食外-1

主食外-2

主食外-3

主食外-3

主食外-4

主食外-5

主食外-6

主食外-7

主食外-7

主食外-8

主食外-8

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。
また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

米の基本指針（令和7年7月30日公表）のポイント

消費者の方々に持続的に安心いただける価格で米を提供するとともに、生産性向上を通じた持続的な農業生産により、米の安定的な供給を実現するため、米穀の需給見通しについては、今般の米の価格高騰の要因や対応の検証等を踏まえ決定することとしています。

米穀需給の見通し

今後行う検証等を踏まえて検討の上、決定。

政府備蓄米の加工原材料用向けの販売について、入札のほか、随意契約による販売が可能となる見直しに加え、令和7/8年の備蓄運営として、買入れ又は買戻しの環境が整った場合において、備蓄水準の回復に向けて計画的に行うこと等を定めております。

備蓄運営

【政府備蓄米の加工原材料向け販売】

【前回(5月28日)】

備蓄米は、備蓄後に飼料用等の非主食用として販売

なお、加工原材料用販売^(注)については、前年産の加工原材料用の国内産米の供給量が大きく減少し、米加工品製造業者による当年産への切替えの前倒し及びミニマム・アクセス米への代替が行われてもなお端境期の供給が不足すると認められる場合において、当年8月以降の**入札により行う**ものとする。

(注)従来から販売している備蓄米のうち精米形態で保管する米穀の販売を除く。

【今回(7月30日)】

備蓄米は、備蓄後に飼料用等の非主食用として販売

なお、加工原材料用販売^(注)については、前年産の加工原材料用の国内産米の供給量が大きく減少し、米加工品製造業者による当年産への切替えの前倒し及びミニマム・アクセス米への代替が行われてもなお端境期の供給が不足すると認められる場合において、当年8月以降に**行う**ものとする。

(注)従来から販売している備蓄米のうち精米形態で保管する米穀の販売を除く。

【備蓄の運営】

【前回(5月28日)】

令和6/7年の備蓄運営

令和6年産米の備蓄米としての買入契約数量は**17万トン**となりました。

備蓄米の年産更新については、**適正備蓄水準が100万トン程度(6月末)**であることを踏まえ、保有期間が一定の期間を経過している米については、必要に応じて品質確認を行い、**9万トンから17万トンまでの範囲内で非主食用に販売**することとします。

【今回(7月30日)】

令和7/8年の備蓄運営

令和7年産米の備蓄米としての買入れは、**需給状況にかんがみ、当面中止**するとともに、**買戻し条件付き売渡しに係る買戻しについては、行っていませんが、需給環境が大きく変化し、買入れ又は買戻しの環境が整った場合には、備蓄水準の回復に向けて計画的に行うこととします。**

また、備蓄量については、**現在行っている主食用としての備蓄米の売渡予定数量(81万トン)及び加工原材料用としての備蓄米の売渡予定数量(7.5万トン)を全て売り渡した場合、7.5万トン**となります。

こうした状況を踏まえた令和7/8年の備蓄運営については、**今後行う検証等を踏まえて検討の上、決定**します。

○令和7年5月時点の主食用米等の令和6/7年及び令和7/8年の需給見通し

令和7年5月 基本指針

現時点でわかっている値

【令和6/7年の主食用米等の需給見通し】

【数量は、今後行う検証等を踏まえて検討】

(万トン(玄米))

令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	A	153	→ 153	<令和6年6月末民間在庫量(確定値)> ※1 このほか全届出業者(7万業者)を対象とした調査の在庫量6万トンが存在
	令和6年産主食用米等生産量	B	679	→ 679	<令和6年産水稻の収穫量(主食用)(確報)>
	令和6/7年主食用米等供給量計	C=A+B	832	→ 832	<令和6/7年主食用米等供給量計>……① ※2 このほか政府備蓄米36万トンを供給(注3)……②
	令和6/7年主食用米等需要量	D	674	⇨ 711	……①+②-③
	令和7年6月末民間在庫量	E=C-D	158	→ 157	<令和7年6月末民間在庫量(注4)>……③ (政府備蓄米12万トンを含む) ※3 このほか全届出業者(7万業者)を対象とした調査の在庫量6万トンが存在

【令和7/8年の主食用米等の需給見通し】

(万トン(玄米))

令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	E	158	→ 157	……③
	令和7年産主食用米等生産量	F	683	→ 735	<令和7年6月末時点の主食用米の作付意向> (136.3万ha→ 735万トン(対前年+56万トン))(注5)
	令和7/8年主食用米等供給量計	G=E+F	841	→ 892	<令和7/8年主食用米等供給量計> ※4 このほか政府備蓄米25万トン(6月30日時点)を供給予定(注6)
	令和7/8年主食用米等需要量	H	663	⇨	<今後検証>
	令和8年6月末民間在庫量	I=G-H	178		

注1: 上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

注2: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

注3: 6月末までに供給された政府備蓄米36万トンは、入札による備蓄米:31万トン、随意契約による備蓄米:5万トン。

注4: 6月末の民間在庫量は、年間取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の在庫量に「生産者の米穀在庫等調査」の対前年増減率等を基に算出した在庫量を加えたもの。

注5: 令和7年産米の生産量は、主食用米の作付意向136.3万haに平年単収539kg/10aを乗じたもの。

注6: 政府備蓄米の供給予定数量25万トン(6月30日時点)は、全て随意契約による備蓄米。

※数量は玄米ベース

検証のために行った追加調査等の結果について（抜粋）

米価高騰の検証のために行った追加調査等の結果についてお知らせします。

1 全届出業者（7万業者）を対象とした調査の結果について（速報）

- 既に毎年報告徴収対象者となっている年間取扱数量500玄米トン以上の集荷業者及び卸売業者等に加え、これらの業者を除く食糧法に基づく届出業者(20精米トン以上を取扱う者)の全て(約7万業者)を対象に、令和5年7月から令和7年6月の在庫数量等の調査を実施。
- これらの業者の令和6年7月から令和7年6月の年間取扱数量は、仕入数量ベースで869千玄米トンと、前年(令和5年7月から令和6年6月)に比べ26千玄米トン増加。
- 在庫量については、これまで調査対象としていなかった500玄米トン未満の業者にも一定の在庫が存在。
令和7年6月末で63千玄米トン(農業者・農業生産法人を除けば57千玄米トン)で、令和6年6月末の63千玄米トン(農業者・農業生産法人を除けば56千玄米トン)に比べ1千玄米トン増加。

【報告状況】

	対象者数	割合
全届出業者(報告徴収対象者を除く)	69,866	100%
期日までに報告があった者	13,181	19%
玄米の取扱い有	4,433	
集荷業者	528	
卸売業者	989	
小売業者	2,133	
外食・中食業者等	36	
農業者・農業生産法人	747	
玄米の取扱い無 (精米商品のみ取扱いなど)	3,778	
廃業・休業等	4,970	
宛先不明で郵送が戻って来た者	18,056	26%
期日(7月4日)までに報告がなかった者	38,629	55%

【調査結果概要】

	期首在庫	仕入数量	販売数量	期末在庫
5年7月～6年6月	62	843	842	63
6年7月～7年6月	63	869	869	63
増減	+1	+26	+27	+1

【6月末在庫量の状況】

	①報告徴収対象者			②全届出業者(①除く)			合計		
	5/6年	6/7年	差	5/6年	6/7年	差	5/6年	6/7年	差
全体	1,279	1,376	+97	63	63	+1	1,342	1,439	+98
集荷業者	891	893	+2	9	7	▲3	900	900	▲1
卸売業者	388	483	+95	21	26	+4	409	508	+99
小売業者				25	24	▲1	25	24	▲1
外食・中食業者等				1	1	▲0	1	1	▲0
小計				56	57	+1	56	57	+1
農業者・農業生産法人	※	※		6	6	▲0	6	6	▲0

※ これまでは、生産段階の在庫量については、「生産者の米穀在庫等調査」の対前年増減率等を基に算出した在庫量で把握。

○本特集に掲載の調査も含め、全ての調査結果は、下記URL又は右のQRコードから確認できます。

https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/attach/pdf/r6_kome_ryutu-250.pdf



2-1 生産者の在庫数量等に関する聴き取り調査の結果について (618客体に対するサンプル調査)

- 生産者の在庫数量等について、618客体に対し、聴き取り調査を実施。
- 生産者の出荷数量のうち、JA系統などの集荷業者への出荷数量は前年産に比べ約2千玄米トン減少する一方で、生産者の直接販売等は約5千玄米トンの増加。
- 令和7年6月末時点の生産者の在庫量は、前年産に比べ、59玄米トンの減少。

＜生産者の在庫数量等調査の結果＞

(単位:客体、ha、トン(玄米))

		客体数	作付面積	収穫量	出荷数量	うち		生産者消費 (無償譲渡 含む)	在庫量
						集荷業者 への出荷	生産者 直接販売等		
今回調査	R6年6月末現在 ①	618	9,992	46,569	42,560	18,751	23,809	1,927	2,082
	R7年6月末現在 ②		10,739	50,148	46,063	16,791	29,271	2,062	2,023
	前年差 ②-①		+747	+3,579	+3,503	▲ 1,959	+5,463	+135	▲ 59

＜出荷数量のうち、生産者直接販売等の出荷先＞ (令和7年6月末現在)

業種	出荷数量 (トン(玄米))	割合
卸売業者	11,379	38.9%
消費者直売等	5,348	18.3%
小売業者	4,855	16.6%
集荷業者(系統外)	3,951	13.5%
中食・外食業者	2,162	7.4%
農業生産法人等	659	2.3%
ふるさと納税	229	0.8%
米加工業者	195	0.7%
その他(業者名未回答等)	494	1.7%
合計	29,271	100.0%

(生産者に対する調査客体の作付規模)

作付規模	客体数
1.0ha未満	115
1.0～5.0	139
5.0～10.0	76
10.0ha以上	288
合計	618

※本調査は、前回調査(令和7年1月末時点)で聴き取りを行った641者(抽出)に対して、再度6月末時点の状況の聴き取りを行ったサンプル調査の結果であることに留意。

2-2 生産者の在庫数量等に関する聴き取り調査の結果について (全国の在庫量等の推計)

- 生産者の在庫数量等調査の結果から、2020年農林業センサスの作付規模の階層別作付面積のシェアを用いて、生産者全体の在庫量等を推計。
- 生産者の出荷数量のうち、JA系統などの集荷業者への出荷数量は前年産に比べ34万玄米トン減少(前回調査では31万玄米トン減少)する一方で、生産者の直接販売等は49万玄米トンの増加(前回調査では44万玄米トン増加)。
- 令和7年6月末時点の生産者の在庫量は、前年産に比べ、前回調査(1月末時点)の9万玄米トン増から0.3万玄米トン増に減少。

＜生産者の在庫数量等調査による全国の在庫量等の推計＞

((千トン(玄米))

	収穫量	出荷数量	うち集荷業者 への出荷	うち生産者 直接販売等	生産者消費 (無償譲渡 含む)	在庫量
R6年6月現在	6,610	5,710	3,250	2,460	569	331
R7年6月現在	6,792	5,858	2,910	2,948	600	335
前年差	+182	+148	▲340	+488	+31	+3
前年比	103%	103%	90%	120%	105%	101%

※1 生産者の在庫数量等調査の結果から、2020年農林業センサスの作付規模の階層別作付面積のシェアを用いて、生産者全体の在庫量等を推計。

※2 収穫量は、農林水産省大臣官房統計部「作物統計」の水稻の収穫量(主食用米)。

＜生産者直接販売等の出荷先と全体

の出荷数量の推計(令和7年6月末現在)＞

業種	割合	出荷数量 (千トン(玄米))
卸売業者 ※	38.9%	1,146
消費者直売等	18.3%	539
小売業者 ※	16.6%	489
集荷業者(系統外) ※	13.5%	398
中食・外食業者 ※	7.4%	218
農業生産法人等	2.3%	66
ふるさと納税	0.8%	23
米加工業者	0.7%	20
その他(業者名未回答等)	1.7%	50
合計	100.0%	2,948

※ 出荷数量は、R7年6月末現在の生産者直接販売等の推計値(2,948千トン)に、出荷先の業種別割合を乗じて算出。

※ 各業種の出荷先のうち、在庫量等の報告徴収の対象者が占める割合は、卸売業者の58%、小売業者の37%、集荷業者(系統外)の44%、中食・外食業者の0%となっている。

(参考) 前回調査時(1月末時点)の全国の在庫量等の推計

((千トン(玄米))

	収穫量	出荷数量	うち集荷業者 への出荷	うち生産者 直接販売等	生産者消費 (無償譲渡 含む)	在庫量
R6年1月現在	6,610	5,220	3,299	1,922	466	923
R7年1月現在	6,792	5,358	2,992	2,366	418	1,017
前年差	+182	+137	▲307	+444	▲49	+93
前年比	103%	103%	91%	123%	90%	110%

3 実需者（小売業者、中食・外食業者、食品製造業者）に対するヒアリングの結果について

- これまでは報告徴収の対象ではなかった小売業者、中食・外食業者、食品製造業者を対象とするにあたって、具体的な規模規定などの制度設計のために、業界団体、大手業者等へのヒアリングを実施。
- 食品製造業者以外の業者については、原料米の仕入形態はほぼ精米であり、自社又はグループ会社が卸機能を有している業者等（卸売業者として報告徴収の対象となっている者については、玄米ベースで在庫数量等を把握。）を除き、玄米による仕入、在庫保有はなかった。
- また、これらの業者の精米在庫については、小売業者であれば店頭陳列分、中食・外食業者であれば1～3日程度の使用分がある。
- ただし、自ら精米工場を所有する業者において、数百トンの玄米在庫がある。
- 食品製造業者においては、年間契約により、玄米ベースでの契約を行っているが、精米で納入されており、実質玄米による在庫を保有していない。

○ ヒアリング対象者： 小売業者（3団体、6業者）、中食業者（6団体、7業者）、外食業者（1団体、3業者）、食品製造業者（2団体、5業者）
 ※ 中食・外食業者を展開している業者はそれぞれでカウント

業態		小売業者 3団体 6業者	中食業者 6団体 7業者	外食業者 1団体 3業者	食品製造業者 2団体 5業者
卸の販売先数量におけるシェア		15.3%	44.6%	23.6%	22.8%
仕入	仕入先	卸売業者（6者）	卸売業者（7者） 集荷業者（1者） 農業生産法人（1者）	卸売業者（7者） 集荷業者（1者） 農業生産法人（1者）	集荷業者及び卸売業者（5者）
	形態	精米	精米	精米	精米
	予定数量（玄米）/年	約44万7千トン（6者計）	約37万9千トン（7者計）	約13万2千トン（3者計）	約7万8千トン（5者計）
	契約の有無	なし	長期契約 スポット	長期契約 スポット	年間契約
	その他	○卸売業者から事前契約せず、新米の時期に前年実績に応じている。 ○大手卸売業者から主要産地銘柄を中心に納入。 ○地方卸売業者から地元銘柄を納入。	○ほとんどの業者において年間契約など、比較的長期契約により取引。 ○一部業者において、集荷業者と長期契約している事例がある。	○ほとんどの業者において、年間契約など比較的長期契約により仕入。 ○需給緩和の場合、端境期後の、翌年1月～4月頃、精米米穀（小売業者の余剰品）がとして納品され使用。流通するため、これを見据えて年間契約数量を減らして契約。	○使用する加工用米及び主食用米について、生産年8月～12月頃に、集荷業者及び卸売業者と年間契約したの、翌年1月～4月頃、精米米穀（小売業者の余剰品）がとして納品され使用。 ○使用が遅くなる理由は、水分等の品質を平準化するため。
在庫	形態	精米のみ	精米のみ	精米のみ	精米のみ
	数量（精米）/年	約1万1千トン（6者計）	約2.7千トン（7者計）	約0.6千トン（3者計）	約0.9千トン未満（5者計）
	在庫状況	5～10日分	1～3日分 ただし、精米工場を所有している業者は玄米在庫がある。	0～1日分 ただし、精米工場を所有している業者は玄米在庫がある。	精米・数日分
外国産等取扱状況		○今回の不足により、やむを得ず外国産米を販売。 ○今後については、新米販売価格により、価格バリエーションが必要な場合は継続して陳列。		○カリフォルニア米を国産とブレンド販売。	

4 精米歩留りの状況調査（事業者の精米実績）の結果について

- 精米歩留りについて、43事業者に対し、聞き取り調査を実施。
- 令和5年産の精米歩留りは、**88.6%**。令和2～4年産の平均と比較すると**▲1.4%の減少**。
- 令和6年産の精米歩留りは、**89.2%**。令和2～4年産の平均と比較すると**▲0.8%と減少**しているが、令和5年産と比較すると**+0.6%の増加**。
- 精米供給量には、この歩留りの減少により、令和5年産では10万玄米トン程度、令和6年産では6万玄米トン程度影響していると考えられる。

【調査の概要】

(調査対象)
 > 大手卸売業者(10社)、地方卸売業者(23社)、米穀店(10社)
 計43社の事業者

(調査内容)
 > 令和7年6月末時点の令和2～6年産の精米歩留りを調査

【精米歩留りの推移(調査結果)】

	精米歩留り			
	大手卸売業者	地方卸売業者	米穀店	
2年産	89.7%	89.8%	89.3%	89.7%
3年産	90.3%	90.5%	89.7%	90.0%
4年産	90.0%	90.2%	89.5%	89.6%
5年産	88.6%	88.8%	88.1%	88.6%
6年産	89.2%	89.4%	88.9%	88.8%

【令和5・6年産と過去の精米歩留りとの比較(調査結果)】

(単位：%)

過去の精米歩留り				昨年の精米歩留り		今年の精米歩留り		
2年産	3年産	4年産	2～4年産平均 ①	5年産 ②	過去平均との比較 ②-①	6年産 ③	過去平均との比較 ③-①	昨年との比較 ③-②
89.7	90.3	90.0	90.0	88.6	▲1.4	89.2	▲0.8	+0.6

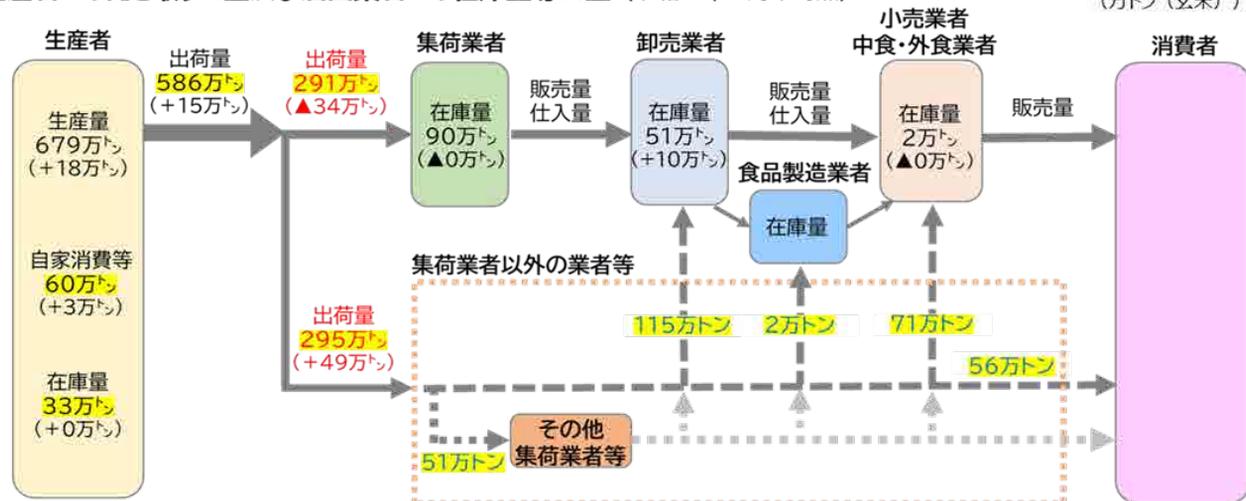
注：数値は、令和7年6月末時点のもの(速報値)

(参考) 生産者への聞き取り調査等を踏まえた令和6年産米の流通の状況について

- 生産者への聞き取り調査の結果では、生産量が18万トン増加する中で、生産者の出荷量のうちJ A系統などの集荷業者への出荷数量は大きく減少(前年同月差▲34万玄米トン)する一方で、生産者の直接販売や集荷業者以外の業者との取引等は大きく増加(前年同月差+49万玄米トン)。
 ⇒流通が多様化していることが明確化
- 届出事業者への在庫量等調査の結果、在庫量は集荷業者段階で90万玄米トン(前年同程度)、卸売業者段階で51万玄米トン(前年同月差+10万玄米トン)、小売業者、中食・外食業者段階で2万玄米トン(前年同程度)。
 ⇒集荷業者は集荷量の減少に合わせて販売量も減少させた結果、卸売業者等は不足分を生産者などから調達

生産者への聞き取り調査及び届出業者への在庫量等調査 (令和7年6月末時点)

(万トン(玄米))



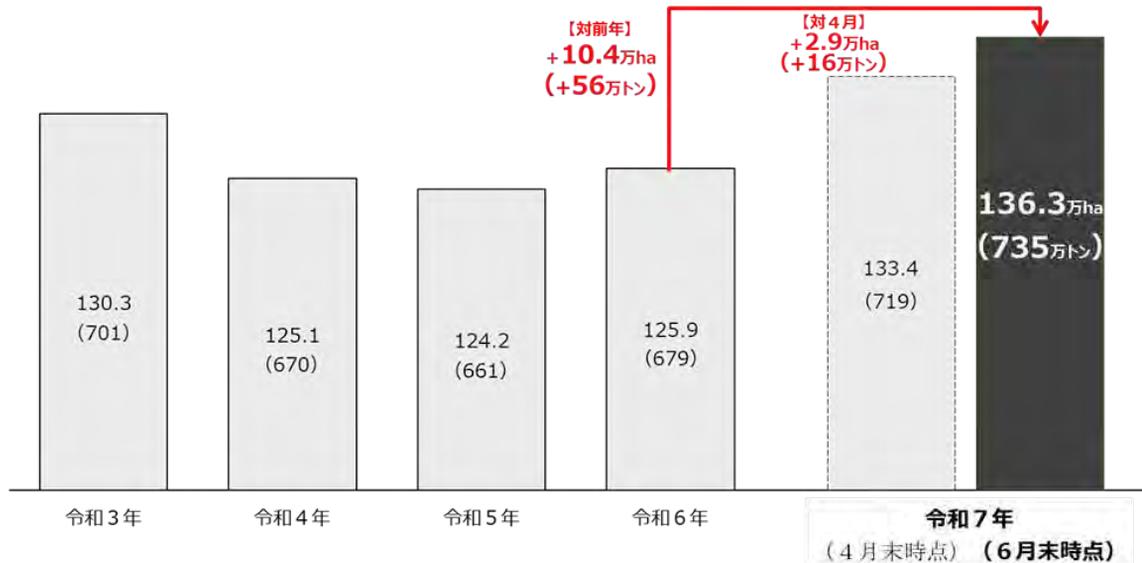
生産者への聞き取り調査で判明した結果(推計値) ()内は推計値の前年差

- ※1 生産者の在庫数量等に関する聞き取り調査の結果から、2020年農林業センサスの作付規模の階層別作付面積のシェアを用いて、生産者全体の在庫量等を推計。
- ※2 集荷業者以外の業者等の業種別の出荷量は、生産者の在庫数量等に関する聞き取り調査の生産者直接販売等の推計値(295万トン)に、出荷先の業種別割合を乗じて算出。(消費者への販売量は、消費者直売等とふるさと納税の計であり、その他集荷業者等への出荷量は、集荷業者(系統外)、農業生産法人等及びその他の計である。)
- ※3 その他集荷業者等の51万トンの販売先は未確認。

水田における作付意向について

(令和7年産第3回中間的取組状況(令和7年6月末時点))

- 本年6月末時点の主食用米の作付意向は、**136.3万ha**(対前年**10.4万ha増**)、**735万トン**(対前年**56万トン増**)
- **4月末時点**の前回調査時と比べ、さらに**2.9万ha**、**16万トン**の増
- **過去5年で最大の生産面積**(増加の伸びも生産量調査を開始した平成16年産以降、最大)



令和7年産米等の作付意向(過去の実績との比較、令和7年6月末時点)

- ・ 農林水産省では、産地・生産者が主体的に作付けを判断し、需要に応じた生産・販売を行うことができるよう、都道府県別の作付意向を聞き取り、公表。過去5年間の各作物の作付推移は、次のとおり。

【主食用米、備蓄米及び戦略作物の作付状況】

	主食用米	備蓄米	戦略作物 (万ha)						
			加工用米	新規需要米				麦	大豆
				新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵 粗飼料用稲)		
R3年産	130.3	3.6	4.8	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5
R4年産	125.1	3.6	5.0	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9
R5年産	124.2	3.5	4.9	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8
R6年産	125.9	3.0	5.0	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4
R7年産 (6月末時点)	136.3	-	4.4	0.9	0.4	4.9	5.0	9.6	7.6
対前年差	10.4	▲ 3.0	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 4.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 0.9

注1: 主食用米及び戦略作物の7年産意向は、地方農政局等が6月末時点で都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積(麦・大豆は基幹作の面積)。

注2: 主食用米の6年産以前の実績は、統計部公表の主食用米作付面積。

注3: 加工用米及び新規需要米(新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲)の6年産以前の実績は、取組計画認定面積。

注4: 麦・大豆の6年産以前の実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

注5: 備蓄米は、7年産米の入札を当面中止。6年産以前の実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注6: 単位未満で四捨五入しているため、対前年差について、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

水田における作付意向について（都道府県別） （令和7年産第3回中間的取組状況（令和7年6月末時点））

(千ha)

都道府県	主食用米			戦略作物													
	6年産実績	7年産意向	対前年実績	加工用米		新規需要米						麦		大豆			
				新市場開拓用米（輸出用米等）		米粉用米		飼料用米		WCS用稲（稲免解糶飼料用稲）		6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向		
				6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向						
全国計	125.9万	136.3万		50.2	43.7	11.2	9.4	6.3	3.7	98.7	49.2	56.5	49.8	103.1	95.8	84.4	75.8
北海道	83.7	90.3	↗	6.8	8.0	2.5	2.2	0.2	0.1	5.3	2.3	2.5	3.1	31.8	29.8	16.5	14.8
青森	37.2	43.7	↗	0.7	0.3	0.5	0.3	0.0	0.0	5.4	4.3	0.9	0.8	0.5	0.5	4.8	4.3
岩手	43.1	46.8	↗	1.3	0.8	0.4	0.4	0.0	0.0	4.8	3.0	2.5	2.1	3.5	3.3	4.1	3.7
宮城	58.4	64.9	↗	0.9	1.4	1.2	1.1	0.1	0.1	7.2	3.6	3.0	2.4	2.2	2.3	9.4	8.6
秋田	72.2	81.1	↗	8.4	5.7	0.5	0.5	0.3	0.2	2.5	0.9	1.4	1.0	0.1	0.1	8.5	7.5
山形	52.4	57.0	↗	4.3	4.7	0.5	0.5	0.1	0.0	4.7	3.4	1.4	1.3	0.1	0.1	4.5	4.1
福島	56.5	67.3	↗	0.4	1.0	0.2	0.1	0.0	0.0	7.0	1.6	1.1	0.9	0.4	0.4	0.9	0.8
茨城	59.9	66.4	↗	1.3	1.1	1.1	0.9	0.1	0.1	10.3	4.4	0.6	0.6	3.9	3.5	0.7	0.6
栃木	49.0	57.9	↗	1.9	1.7	0.1	0.0	0.9	0.2	11.6	5.1	2.3	1.9	7.5	6.9	0.4	0.3
群馬	12.8	14.6	↗	1.4	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1	1.0	0.3	0.6	0.6	2.2	1.3	0.1	0.1
埼玉	28.4	30.2	↗	0.1	0.1	0.1	0.0	0.9	0.4	2.1	0.9	0.1	0.1	2.2	2.2	0.4	0.3
千葉	48.3	53.9	↗	2.1	1.5	0.0	0.1	0.1	0.0	6.6	2.1	1.3	0.9	0.5	0.4	0.2	0.2
東京	0.1	0.1	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.8	2.8	→	-	-	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟	101.4	108.7	↗	6.8	6.6	1.8	1.5	1.4	0.7	2.9	1.4	0.7	0.6	0.2	0.2	3.9	3.4
富山	31.2	33.5	↗	1.1	1.3	0.4	0.4	0.3	0.3	1.9	1.5	0.5	0.5	3.3	2.9	3.7	3.6
石川	21.2	21.9	↗	0.5	0.5	0.1	0.0	0.2	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	1.2	1.1	1.0	0.8
福井	21.9	23.5	↗	0.5	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	1.5	0.9	0.2	0.1	5.2	5.0	0.1	0.1
山梨	4.6	4.6	→	0.1	0.1	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
長野	29.0	30.0	↗	0.8	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0	0.3	0.2	0.3	0.3	2.5	2.3	0.6	0.6
岐阜	19.6	20.6	↗	1.1	0.9	0.1	0.1	0.1	0.1	2.8	1.9	0.3	0.3	3.7	3.6	0.3	0.2
静岡	14.4	14.9	↗	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0
愛知	25.0	25.6	↗	0.6	0.5	0.0	0.0	0.3	0.3	1.3	1.0	0.2	0.1	5.7	5.6	0.1	0.1
三重	24.5	25.3	↗	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	2.0	1.3	0.3	0.3	7.1	6.8	0.2	0.1
滋賀	27.4	28.5	↗	0.5	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	1.5	1.0	0.3	0.3	8.5	8.2	0.5	0.5
京都	13.0	13.2	↗	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2
大阪	4.3	4.2	↘	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兵庫	32.2	33.2	↗	0.7	0.6	0.2	0.2	0.0	0.0	0.7	0.4	1.0	0.9	2.0	1.9	1.6	1.4
奈良	8.0	7.9	→	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
和歌山	5.7	5.6	↘	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鳥取	11.6	12.0	↗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5	0.4	0.4	0.1	0.1	0.6	0.5
島根	15.7	16.1	↗	0.2	0.1	0.0	-	0.0	0.0	0.7	0.5	0.8	0.7	0.3	0.2	0.6	0.5
岡山	27.2	28.1	↗	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	1.1	0.3	0.5	0.5	1.2	0.9	1.0	0.7
広島	20.1	20.1	→	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.4	0.1	0.7	0.7	0.3	0.2	0.2	0.2
山口	15.8	16.2	↗	1.0	0.8	0.1	0.1	0.0	0.0	1.0	0.6	0.4	0.4	0.8	0.8	0.7	0.6
徳島	9.8	10.3	↗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
香川	9.8	9.9	↗	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.3	0.3	1.2	1.2	0.0	0.0
愛媛	12.7	12.8	→	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3
高知	10.1	10.4	↗	0.1	0.1	-	-	0.0	0.0	1.0	0.5	0.3	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0
福岡	32.2	34.3	↗	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	2.2	1.1	2.3	2.0	1.2	1.1	7.7	6.8
佐賀	22.0	23.7	↗	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5	2.3	1.8	1.1	0.2	6.5	6.3
長崎	9.4	9.4	→	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	1.6	1.5	0.1	0.1	0.3	0.2
熊本	28.8	31.7	↗	0.7	0.3	0.0	0.0	0.2	0.1	1.4	0.6	9.4	8.3	0.8	0.7	2.1	1.8
大分	17.8	18.8	↗	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	1.8	1.1	2.8	2.4	0.7	0.6	1.1	0.8
宮崎	12.4	13.4	↗	2.1	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.8	7.4	6.8	0.0	0.0	0.2	0.2
鹿児島	15.6	17.4	↗	1.4	0.9	0.0	-	0.0	0.0	0.7	0.4	4.2	3.5	0.1	0.1	0.3	0.2
沖縄	0.6	0.6	↗	0.0	0.1	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-

注1：主食用米の6年産実績は、令和7年2月統計部公表の主食用米作付面積。
 注2：主食用米及び戦略作物の7年産意向は、地方農政局等が6月末時点で都道府県農業再生協議会等に関き取った面積（麦・大豆は基幹作の面積）。
 注3：主食用米の対前年実績は、6年産実績と比較し、「↗：増加傾向」（1%超増加）、「→：前年並み」（増減1%以内）、「↘：減少傾向」（1%超減少）で分類。
 注4：加工用米及び新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲）の6年産実績は、取組計画の認定面積。
 注5：麦・大豆の6年産実績は、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に関き取った面積（基幹作）。
 注6：戦略作物の7年産意向の数値は、6年産実績と比較し、「赤：増加傾向」（1%超増加）、「黒：前年並み」（増減1%以内）、「緑：減少傾向」（1%超減少）で分類。

1 米の民間在庫情報

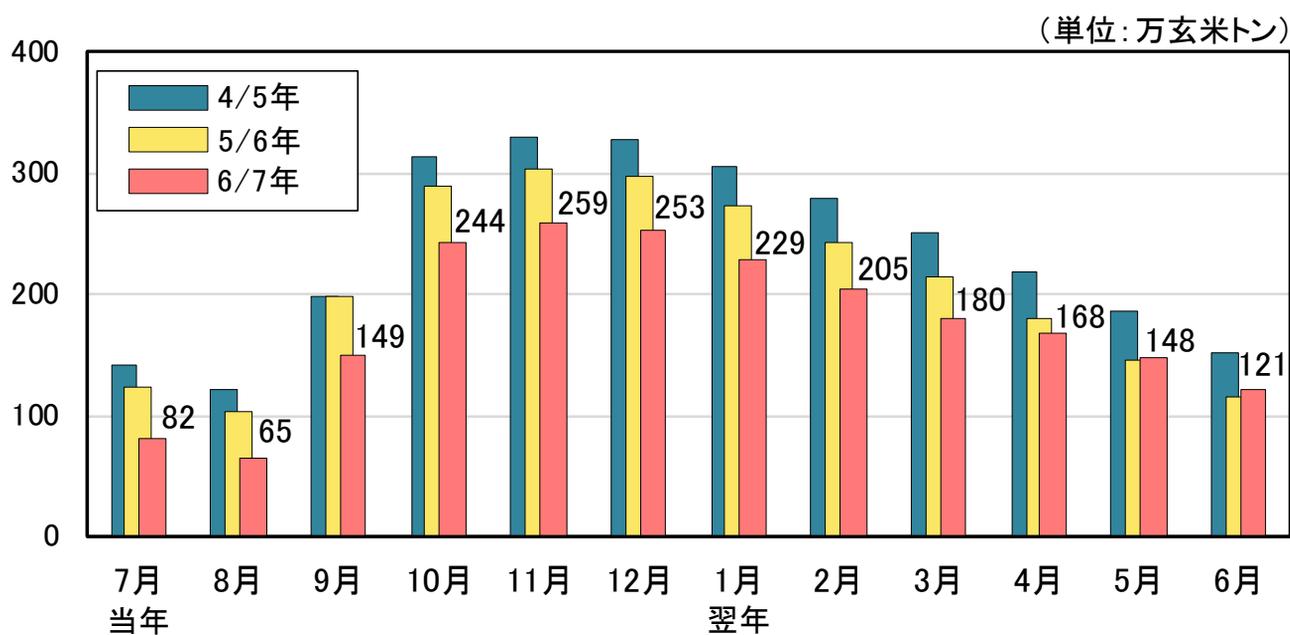
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和7年6月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差+6万トンの121万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差±0万トンの84万トン、販売段階で+6万トンの37万トンとなっている。

※ 出荷・販売段階別の在庫量は、「在庫-3、4」を参照。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、6/7年であれば、令和6年7月～7年6月である。

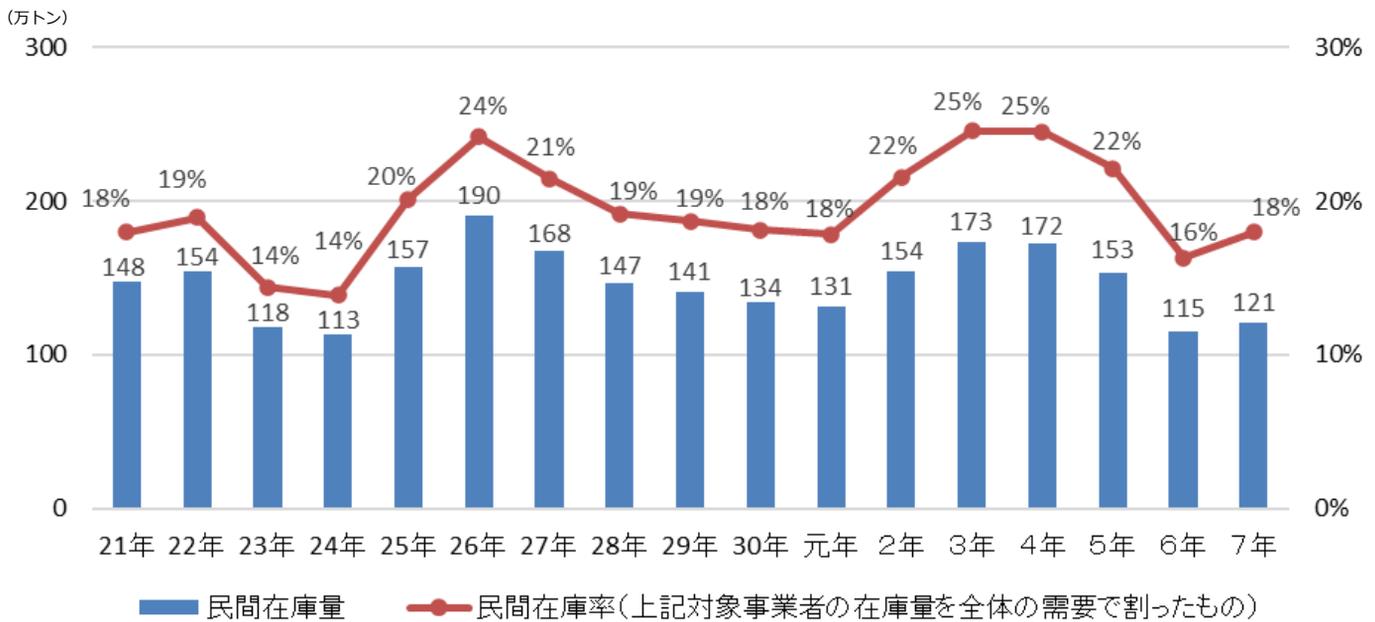
5 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米の数量（令和7年6月末時点で11.8万トン）を含む。

【令和7年6月末民間在庫量のポイント】

- 毎月公表している民間在庫量は、①500トン以上の集荷業者、②4,000トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の77%をカバー(下記参考参照)。
- 令和7年6月末の民間在庫量は、121万トンで前年同月に比べ6万トン増加。(うち売り渡した政府備蓄米の数量は11.8万トン)
- 売り渡した政府備蓄米を除いた在庫量は、109万トンで前年同月に比べ6万トン減少。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。

6月末民間在庫量・在庫率



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。
 ※令和7年は、売り渡した政府備蓄米(入札及び随意契約による売渡し分)の数量(11.8万トン)を含む。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量

	(単位:万トン)	
	6年6月末	7年6月末
出荷段階	84	84
対前年差	▲ 37	±0
販売段階	31	37
対前年差	▲ 2	+6
合計	115	121
対前年差	▲ 38	+6

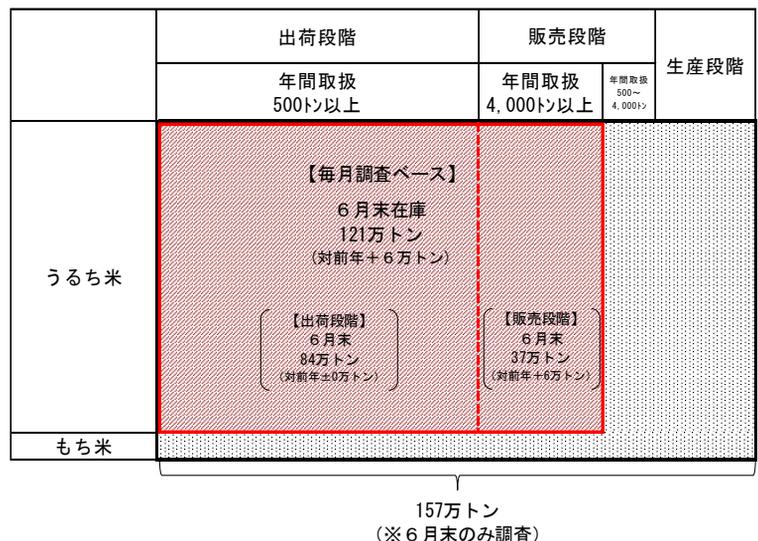
※出荷段階は玄米仕入数量が500t以上の集荷業者等
 販売段階は玄米仕入数量が4,000t以上の卸売業者等
 ※7年6月末には、売り渡した政府備蓄米の数量(出荷段階は7.8万トン、販売段階は4.1万トン)を含む。

○ 集荷業者の集荷数量

	(単位:万トン)	
	集荷数量	前年比
7年6月末	242.8	95%
6年6月末	256.6	95%
対前年差	▲ 13.8	-

※集荷数量は販売数量が5,000t以上の集荷業者等
 ※7年6月末には、売り渡した政府備蓄米の販売数量等の報告結果(6月分までの確報)の数量14.0万トンを含む。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲31	▲32	▲36	▲37	▲39	▲40	▲38
5年産米	1	14	131	232	254	260	245	221	195	165	133	105
1年古米(4年産)	106	78	56	46	36	27	21	15	13	10	7	5
6/7年	82	65	149	244	259	253	229	205	180	168	148	121
対前年差	▲40	▲39	▲51	▲45	▲44	▲45	▲45	▲39	▲35	▲12	+3	+6
6年産米	1	13	112	213	234	234	215	193	170	155	128	106
1年古米(5年産)	74	47	31	23	18	11	7	5	4	9	15	11

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、6/7年であれば、令和6年7月～7年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。
 6 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（令和7年6月末時点で11.8万トン）を含む（下表を参照）。

(参考) 売り渡した政府備蓄米の民間在庫

(単位: 万玄米トン)

	7年 3月	4月	5月	6月
出荷＋販売段階	0.2	16.4	19.7	11.8
6年産米	0.1	11.2	6.9	3.3
5年産米	0.1	5.3	12.8	8.3
出荷段階	0.0	14.5	16.4	7.8
6年産米	0.0	9.8	4.8	1.5
5年産米	0.0	4.6	11.6	6.3
販売段階	0.2	2.0	3.3	4.1
6年産米	0.1	1.3	2.2	1.8
5年産米	0.1	0.6	1.2	2.0

【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3年産米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4年産米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78	161	235	249	246	228	202	171	139	112	84
対前年差	▲21	▲20	▲5	▲27	▲28	▲31	▲31	▲34	▲33	▲36	▲38	▲37
5年産米	0	10	113	200	220	225	212	190	163	134	108	81
1年古米(4年産)	86	61	42	30	24	17	13	10	6	4	3	2
6/7年	58	44	113	187	200	196	179	159	135	125	109	84
対前年差	▲38	▲34	▲49	▲49	▲49	▲49	▲49	▲43	▲36	▲14	▲3	±0
6年産米	0	9	90	172	189	190	175	156	132	119	95	76
1年古米(5年産)	55	34	21	12	8	5	3	2	2	6	13	7

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3年産米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4年産米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6年	27	26	38	54	54	52	46	42	43	41	34	31
対前年差	+1	+2	+5	+3	+2	±0	±0	▲3	▲3	▲3	▲3	▲2
5年産米	0	4	18	32	34	35	32	31	32	31	26	24
1年古米(4年産)	20	17	14	16	12	10	8	6	6	6	4	3
6/7年	25	21	36	58	59	56	50	46	45	43	40	37
対前年差	▲3	▲5	▲2	+4	+5	+4	+4	+4	+2	+2	+6	+6
6年産米	0	4	23	41	44	44	40	38	37	36	33	30
1年古米(5年産)	19	13	9	11	9	6	4	3	2	3	3	3

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況（速報）

	6年5月	6年6月	7年5月	対前年 同月差	対前年 同月比	7年6月	対前月差	対前年 同月差	対前年 同月比
	① (千玄米トン)	② (千玄米トン)	③ (千玄米トン)	④=③-① (千玄米トン)	⑤=③/① (%)	⑥ (千玄米トン)	⑦=⑥-③ (千玄米トン)	⑧=⑥-② (千玄米トン)	⑨=⑥/② (%)
北海道	144.2	113.2	160.5	+ 16.3	+ 11.3%	133.7	▲ 26.8	+ 20.5	+ 18.1%
青森	66.8	52.6	101.4	+ 34.6	+ 51.8%	80.6	▲ 20.8	+ 28.0	+ 53.2%
岩手	75.6	63.4	58.1	▲ 17.6	▲ 23.2%	49.2	▲ 8.9	▲ 14.3	▲ 22.5%
宮城	93.1	76.4	98.3	+ 5.2	+ 5.6%	83.1	▲ 15.2	+ 6.7	+ 8.8%
秋田	96.4	72.2	123.5	+ 27.2	+ 28.2%	98.5	▲ 25.0	+ 26.3	+ 36.4%
山形	94.9	76.6	120.0	+ 25.1	+ 26.5%	98.3	▲ 21.7	+ 21.7	+ 28.4%
福島	93.7	79.2	120.0	+ 26.3	+ 28.0%	95.0	▲ 25.0	+ 15.8	+ 20.0%
茨城	54.2	41.3	37.3	▲ 16.9	▲ 31.1%	30.5	▲ 6.8	▲ 10.9	▲ 26.3%
栃木	88.4	72.6	67.4	▲ 21.0	▲ 23.7%	55.6	▲ 11.9	▲ 17.0	▲ 23.4%
群馬	12.0	8.8	10.0	▲ 2.0	▲ 16.6%	8.8	▲ 1.1	+ 0.0	▲ 0.2%
埼玉	13.9	10.4	7.5	▲ 6.4	▲ 46.2%	6.3	▲ 1.2	▲ 4.1	▲ 39.3%
千葉	23.9	14.7	21.3	▲ 2.6	▲ 11.0%	16.1	▲ 5.2	+ 1.4	+ 9.3%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	1.2	0.8	0.4	▲ 0.7	▲ 63.1%	0.4	0.0	▲ 0.4	▲ 52.4%
山梨	2.6	2.2	1.7	▲ 0.8	▲ 32.1%	1.5	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 30.3%
長野	38.2	33.1	29.3	▲ 8.9	▲ 23.3%	26.0	▲ 3.3	▲ 7.1	▲ 21.3%
静岡	6.4	4.7	7.0	+ 0.5	+ 8.0%	5.6	▲ 1.3	+ 0.9	+ 19.2%
新潟	123.2	96.3	135.8	+ 12.6	+ 10.3%	104.8	▲ 31.0	+ 8.5	+ 8.8%
富山	44.6	32.3	47.7	+ 3.1	+ 6.9%	36.8	▲ 10.8	+ 4.6	+ 14.2%
石川	32.1	26.1	29.4	▲ 2.6	▲ 8.1%	23.3	▲ 6.2	▲ 2.8	▲ 10.8%
福井	19.9	15.5	27.6	+ 7.8	+ 39.1%	22.2	▲ 5.4	+ 6.8	+ 43.7%
岐阜	15.7	11.6	11.1	▲ 4.7	▲ 29.7%	9.5	▲ 1.5	▲ 2.1	▲ 18.1%
愛知	15.0	11.7	12.9	▲ 2.1	▲ 13.9%	10.4	▲ 2.6	▲ 1.4	▲ 11.8%
三重	13.1	8.7	10.7	▲ 2.4	▲ 18.2%	8.7	▲ 2.0	▲ 0.1	▲ 0.8%
滋賀	21.9	16.2	18.3	▲ 3.6	▲ 16.4%	14.2	▲ 4.1	▲ 2.0	▲ 12.3%
京都	3.3	2.6	4.0	+ 0.7	+ 20.4%	3.4	▲ 0.6	+ 0.7	+ 27.0%
大阪	0.7	0.5	0.3	▲ 0.4	▲ 60.8%	0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 66.8%
兵庫	23.5	20.1	15.9	▲ 7.7	▲ 32.6%	13.6	▲ 2.3	▲ 6.6	▲ 32.5%
奈良	5.1	3.9	2.5	▲ 2.7	▲ 51.9%	2.0	▲ 0.5	▲ 1.9	▲ 48.7%
和歌山	1.0	0.8	0.4	▲ 0.5	▲ 55.9%	0.5	0.1	▲ 0.3	▲ 34.9%
鳥取	12.3	10.5	14.7	+ 2.4	+ 19.4%	12.8	▲ 1.9	+ 2.3	+ 21.9%
島根	12.3	9.0	10.4	▲ 1.9	▲ 15.8%	8.7	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 3.6%
岡山	22.2	18.4	24.2	+ 2.1	+ 9.3%	22.5	▲ 1.8	+ 4.1	+ 22.3%
広島	15.9	11.6	12.1	▲ 3.7	▲ 23.4%	10.0	▲ 2.1	▲ 1.6	▲ 13.8%
山口	15.5	12.3	12.4	▲ 3.1	▲ 20.0%	10.8	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 12.0%
徳島	2.0	1.4	2.5	+ 0.5	+ 23.4%	2.0	▲ 0.5	+ 0.6	+ 44.2%
香川	6.5	4.7	5.8	▲ 0.6	▲ 10.0%	4.6	▲ 1.3	▲ 0.1	▲ 1.7%
愛媛	7.7	5.8	2.9	▲ 4.9	▲ 63.1%	2.4	▲ 0.5	▲ 3.4	▲ 59.4%
高知	3.7	2.9	2.1	▲ 1.6	▲ 42.8%	1.7	▲ 0.4	▲ 1.2	▲ 40.6%
福岡	30.7	23.9	19.8	▲ 10.9	▲ 35.6%	15.9	▲ 3.9	▲ 8.0	▲ 33.4%
佐賀	17.8	13.2	12.5	▲ 5.3	▲ 29.6%	10.8	▲ 1.7	▲ 2.4	▲ 18.3%
長崎	4.6	3.4	3.6	▲ 1.0	▲ 21.1%	3.1	▲ 0.5	▲ 0.3	▲ 9.3%
熊本	22.4	16.5	17.0	▲ 5.3	▲ 23.9%	13.1	▲ 3.9	▲ 3.4	▲ 20.7%
大分	8.0	6.0	6.1	▲ 1.9	▲ 23.7%	4.9	▲ 1.2	▲ 1.1	▲ 17.8%
宮崎	2.7	1.7	2.3	▲ 0.4	▲ 15.7%	1.8	▲ 0.5	+ 0.0	+ 1.5%
鹿児島	8.5	6.4	7.7	▲ 0.8	▲ 9.1%	6.7	▲ 1.0	+ 0.3	+ 5.2%
沖縄	0.0	0.4	0.0	+ 0.0	▲ 95.2%	0.2	0.2	▲ 0.2	▲ 57.9%
全国	145万ト	115万ト	148万ト	+ 3万ト	+ 2.1%	121万ト	▲ 27万ト	+ 6万ト	+ 5.5%

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

5 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米の数量（令和7年5月末時点で19.7万トン、6月末時点で11.8万トン）を含む。

(3) 令和5・6年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

（単位：千玄米トン）

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
北海道	出荷＋販売段階	80.4	49.3	171.4	285.2	297.0	289.6	270.3	240.1	209.6	188.0	160.5	133.7	
	6年産米			137.0	255.0	272.7	274.0	260.0	232.9	204.3	181.4	150.0	126.3	
	1年古米(5年産)	76.2	46.9	32.9	29.1	23.3	15.0	9.9	7.0	5.1	6.5	10.4	7.3	
	出荷段階	60.2	35.5	130.9	215.5	226.9	217.5	204.6	183.5	159.2	138.1	117.3	94.7	
	6年産米			106.0	197.8	213.7	210.2	199.8	180.1	156.7	134.8	110.1	90.9	
	1年古米(5年産)	58.6	34.8	24.4	17.3	12.9	7.2	4.7	3.3	2.5	3.3	7.2	3.8	
	販売段階	20.2	13.7	40.6	69.7	70.1	72.1	65.7	56.6	50.4	49.9	43.2	39.0	
	6年産米			31.0	57.1	59.0	63.8	60.2	52.8	47.6	46.7	40.0	35.4	
	1年古米(5年産)	17.5	12.1	8.4	11.8	10.4	7.9	5.3	3.6	2.7	3.2	3.2	3.5	
	青森	出荷＋販売段階	38.1	23.4	68.1	124.5	130.5	131.8	117.9	102.6	89.3	92.8	101.4	80.6
		6年産米			52.9	111.7	120.9	125.8	114.3	100.7	88.2	89.8	71.2	59.6
		1年古米(5年産)	37.4	23.0	15.0	12.7	9.5	5.8	3.4	1.8	0.9	2.8	30.1	21.0
出荷段階		26.0	15.5	55.8	91.6	95.3	98.5	90.0	77.8	65.2	68.6	79.0	55.1	
6年産米				46.0	85.9	91.4	96.3	88.8	77.3	65.2	66.5	49.9	38.2	
1年古米(5年産)		25.8	15.4	9.8	5.8	3.9	2.2	1.2	0.5	0.0	2.1	29.1	16.9	
販売段階		12.1	8.0	12.3	32.8	35.2	33.2	27.9	24.8	24.1	24.1	22.4	25.5	
6年産米				6.9	25.8	29.5	29.5	25.5	23.4	23.1	23.4	21.3	21.4	
1年古米(5年産)		11.6	7.6	5.2	6.9	5.5	3.6	2.2	1.3	0.9	0.7	1.0	4.1	
岩手		出荷＋販売段階	47.0	29.2	38.4	98.9	114.5	123.2	107.9	92.4	76.5	67.4	58.1	49.2
		6年産米			21.4	82.2	99.8	114.8	104.2	89.8	74.6	65.0	53.6	45.7
		1年古米(5年産)	44.3	27.9	16.4	16.3	14.4	8.1	3.5	2.4	1.7	2.3	4.4	3.2
	出荷段階	36.2	22.6	31.2	76.9	88.2	99.4	88.3	74.6	59.7	51.1	43.6	35.0	
	6年産米			18.3	70.2	83.1	97.2	87.5	74.1	59.4	50.1	40.8	33.2	
	1年古米(5年産)	35.1	22.1	12.7	6.6	5.0	2.2	0.7	0.5	0.3	1.0	2.7	1.8	
	販売段階	10.8	6.6	7.2	21.9	26.3	23.7	19.6	17.8	16.8	16.3	14.5	14.2	
	6年産米			3.1	12.0	16.7	17.6	16.7	15.7	15.2	14.9	12.7	12.5	
	1年古米(5年産)	9.2	5.8	3.6	9.7	9.4	5.9	2.8	1.9	1.5	1.3	1.6	1.5	
	宮城	出荷＋販売段階	56.2	38.0	67.0	128.6	136.4	139.5	127.7	121.4	111.1	112.5	98.3	83.1
		6年産米			42.5	113.5	127.7	135.3	124.8	119.4	109.8	107.4	92.2	78.9
		1年古米(5年産)	54.5	36.8	23.7	14.6	8.4	4.1	2.7	1.8	1.3	5.0	6.0	4.2
出荷段階		44.1	28.7	53.9	102.9	109.7	115.1	106.3	101.4	90.4	90.8	79.2	66.0	
6年産米				36.4	93.5	105.9	113.8	105.4	100.8	90.0	87.4	74.6	63.4	
1年古米(5年産)		43.3	28.3	17.3	9.2	3.7	1.4	0.9	0.6	0.4	3.4	4.6	2.6	
販売段階		12.1	9.2	13.1	25.7	26.8	24.4	21.3	20.0	20.7	21.7	19.1	17.2	
6年産米				6.1	20.0	21.8	21.5	19.4	18.7	19.7	20.0	17.6	15.5	
1年古米(5年産)		11.2	8.5	6.4	5.4	4.8	2.7	1.8	1.2	0.9	1.6	1.4	1.6	
秋田		出荷＋販売段階	44.1	21.8	104.0	206.4	220.5	213.5	196.1	171.1	147.5	138.9	123.5	98.5
		6年産米			91.9	197.0	211.9	207.8	192.1	168.4	145.5	132.8	108.6	89.9
		1年古米(5年産)	41.7	20.2	10.8	8.5	7.9	5.2	3.7	2.5	1.8	6.0	14.8	8.4
	出荷段階	31.7	13.7	90.9	176.3	186.5	178.9	166.4	143.9	117.7	109.1	96.6	74.6	
	6年産米			84.0	171.8	182.9	176.8	165.0	143.0	117.0	105.2	83.2	68.3	
	1年古米(5年産)	30.7	13.0	6.4	4.2	3.3	2.0	1.3	0.9	0.7	3.9	13.4	6.3	
	販売段階	12.4	8.0	13.1	30.1	34.0	34.5	29.7	27.2	29.8	29.8	26.9	23.9	
	6年産米			8.0	25.2	29.0	31.0	27.1	25.4	28.6	27.6	25.4	21.6	
	1年古米(5年産)	11.0	7.1	4.4	4.3	4.5	3.3	2.3	1.6	1.1	2.0	1.4	2.1	

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米の数量（令和7年6月末時点で11.8万トン）を含む。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
山形	出荷+販売段階	57.2	39.3	67.9	152.7	161.3	168.3	154.2	143.3	128.0	139.2	120.0	98.3	
	6年産米		0.0	39.4	126.6	140.4	154.1	144.4	136.3	122.7	122.6	104.9	88.0	
	1年古米(5年産)	52.5	35.3	25.2	23.4	18.9	12.9	8.8	6.3	4.6	16.2	14.8	10.0	
	出荷段階	44.7	28.3	56.4	125.8	134.7	143.9	133.7	124.8	107.7	118.0	97.8	76.6	
	6年産米			36.9	111.7	124.9	138.2	130.0	122.4	106.0	106.0	87.6	70.4	
	1年古米(5年産)	43.3	27.1	18.4	13.1	9.1	5.4	3.5	2.2	1.6	12.0	10.2	6.3	
	販売段階	12.6	11.0	11.5	26.9	26.7	24.4	20.5	18.5	20.3	21.2	22.3	21.7	
	6年産米		0.0	2.5	14.9	15.5	15.9	14.5	13.9	16.7	16.6	17.3	17.7	
	1年古米(5年産)	9.1	8.2	6.8	10.3	9.8	7.5	5.3	4.0	3.0	4.2	4.6	3.7	
	福島	出荷+販売段階	58.9	40.9	54.1	162.0	168.8	169.7	159.3	133.3	118.8	124.8	120.0	95.0
		6年産米		0.0	26.4	141.3	154.8	162.0	155.1	130.7	116.9	116.2	98.8	80.3
		1年古米(5年産)	56.7	39.4	27.0	20.3	13.7	7.4	3.9	2.5	1.8	8.5	21.1	14.4
出荷段階		41.5	25.4	40.2	128.1	130.2	131.5	124.2	101.4	85.8	91.9	86.5	60.2	
6年産米				23.0	118.9	124.5	129.0	122.8	100.7	85.4	84.6	67.2	50.4	
1年古米(5年産)		40.7	25.0	17.2	9.3	5.7	2.5	1.3	0.7	0.4	7.3	19.3	9.8	
販売段階		17.5	15.5	13.9	33.8	38.6	38.2	35.1	31.9	33.0	32.9	33.6	34.8	
6年産米			0.0	3.4	22.4	30.3	33.0	32.2	30.0	31.5	31.6	31.7	29.9	
1年古米(5年産)		16.0	14.4	9.8	11.0	8.0	4.9	2.6	1.8	1.4	1.2	1.8	4.6	
茨城		出荷+販売段階	27.0	36.8	100.4	112.0	105.2	95.1	82.1	68.9	58.2	46.0	37.3	30.5
		6年産米		21.2	90.3	105.0	100.1	91.4	79.1	66.5	56.6	44.4	35.4	29.0
		1年古米(5年産)	19.7	9.8	5.8	4.0	3.1	2.3	1.8	1.4	1.0	1.1	1.4	1.1
	出荷段階	12.5	19.9	60.6	67.8	63.8	57.9	50.3	41.2	32.7	24.2	18.2	13.1	
	6年産米		13.5	57.0	65.7	62.4	57.0	49.6	40.7	32.4	23.6	17.3	12.4	
	1年古米(5年産)	9.4	4.0	1.8	0.9	0.7	0.4	0.3	0.2	0.2	0.5	0.8	0.6	
	販売段階	14.5	16.9	39.7	44.2	41.4	37.2	31.8	27.7	25.6	21.8	19.1	17.4	
	6年産米		7.8	33.3	39.3	37.7	34.4	29.5	25.8	24.2	20.8	18.1	16.5	
	1年古米(5年産)	10.3	5.8	4.0	3.1	2.5	1.8	1.5	1.2	0.9	0.6	0.6	0.5	
	栃木	出荷+販売段階	55.6	36.8	90.9	120.1	131.9	125.2	109.6	98.4	85.3	77.2	67.4	55.6
		6年産米		0.3	66.2	98.5	117.3	116.7	104.8	95.6	83.3	73.2	61.3	51.5
		1年古米(5年産)	52.9	35.3	24.0	21.2	14.3	8.3	4.6	2.6	1.9	4.0	6.1	4.0
出荷段階		42.1	29.4	68.8	81.7	94.3	90.4	79.2	69.0	58.0	52.3	44.6	33.8	
6年産米			0.2	49.3	69.0	86.1	86.1	76.8	67.7	57.1	49.6	40.3	31.5	
1年古米(5年産)		41.0	28.7	19.0	12.4	8.0	4.1	2.2	1.1	0.9	2.7	4.3	2.3	
販売段階		13.5	7.4	22.2	38.4	37.6	34.9	30.4	29.4	27.3	25.0	22.8	21.8	
6年産米			0.1	16.9	29.5	31.2	30.6	28.0	27.9	26.3	23.6	21.0	20.0	
1年古米(5年産)		11.9	6.6	4.9	8.8	6.3	4.2	2.4	1.5	1.0	1.4	1.8	1.7	
群馬		出荷+販売段階	6.6	4.6	3.0	2.3	11.2	14.2	15.1	15.6	14.0	11.7	10.0	8.8
		6年産米			0.0	1.2	10.4	13.7	14.8	15.3	13.8	11.5	9.8	8.6
		1年古米(5年産)	6.5	4.5	2.9	1.1	0.8	0.6	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
	出荷段階	4.9	3.5	2.3	1.2	9.2	11.9	13.0	12.7	11.4	9.3	7.7	7.0	
	6年産米			0.0	1.0	9.1	11.9	12.9	12.6	11.4	9.3	7.7	7.0	
	1年古米(5年産)	4.9	3.5	2.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0					
	販売段階	1.7	1.1	0.7	1.1	2.0	2.3	2.1	2.9	2.6	2.3	2.2	1.9	
	6年産米			0.0	0.2	1.3	1.8	1.8	2.6	2.4	2.1	2.1	1.7	
	1年古米(5年産)	1.6	1.0	0.6	0.9	0.7	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	
	埼玉	出荷+販売段階	7.2	5.3	9.6	14.8	20.1	19.0	16.4	14.2	12.4	9.9	7.5	6.3
		6年産米		0.9	7.3	13.3	19.1	18.4	16.0	14.0	12.3	9.7	7.2	6.1
		1年古米(5年産)	6.1	3.9	2.2	1.3	0.9	0.6	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2
出荷段階		4.3	2.4	5.7	8.9	13.3	12.7	11.2	9.4	7.3	5.8	3.5	2.8	
6年産米			0.3	4.9	8.4	12.9	12.5	11.0	9.3	7.2	5.8	3.4	2.8	
1年古米(5年産)		3.7	1.9	0.7	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	
販売段階		2.9	2.8	4.0	5.9	6.8	6.3	5.2	4.7	5.1	4.1	4.0	3.5	
6年産米			0.6	2.4	4.9	6.1	5.8	4.9	4.6	5.0	3.9	3.8	3.3	
1年古米(5年産)		2.4	2.0	1.5	0.9	0.6	0.4	0.3	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

在庫-7

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
千葉	出荷+販売段階	8.4	52.5	72.3	63.7	59.1	51.6	44.9	39.4	32.9	26.9	21.3	16.1	
	6年産米	0.0	48.0	69.6	62.0	57.6	50.2	43.8	38.4	32.0	26.3	20.1	15.5	
	1年古米(5年産)	7.9	4.1	2.4	1.6	1.4	1.3	1.0	0.8	0.7	0.5	1.0	0.4	
	出荷段階	2.4	40.4	52.3	46.5	43.5	37.3	32.6	28.2	22.9	18.2	13.4	8.3	
	6年産米	0.0	39.7	52.1	46.5	43.5	37.3	32.5	28.2	22.9	18.2	12.8	8.3	
	1年古米(5年産)	2.4	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
	販売段階	6.0	12.1	20.0	17.2	15.6	14.3	12.4	11.2	10.0	8.8	7.8	7.7	
	6年産米	0.0	8.3	17.5	15.5	14.1	12.9	11.2	10.2	9.2	8.1	7.3	7.2	
	1年古米(5年産)	5.6	3.4	2.1	1.6	1.4	1.2	1.0	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	6年産米				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1年古米(5年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	出荷段階													
	6年産米													
	1年古米(5年産)													
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	6年産米				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1年古米(5年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
神奈川	出荷+販売段階	0.7	0.4	0.5	1.8	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	
	6年産米			0.4	1.7	1.3	1.1	0.9	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4	
	1年古米(5年産)	0.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	出荷段階	0.6	0.4	0.4	1.6	1.2	1.0	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	
	6年産米			0.4	1.6	1.2	1.0	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	
	1年古米(5年産)	0.6	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	
	6年産米			0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	
	1年古米(5年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
山梨	出荷+販売段階	1.9	1.5	2.4	3.7	3.6	3.7	3.2	2.9	2.2	1.9	1.7	1.5	
	6年産米			1.2	2.4	2.4	3.2	2.9	2.6	2.0	1.8	1.6	1.4	
	1年古米(5年産)	1.9	1.5	1.2	1.2	1.2	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	
	出荷段階	1.5	1.2	2.1	3.3	3.2	3.2	2.8	2.5	1.9	1.6	1.5	1.3	
	6年産米			1.2	2.3	2.2	2.9	2.6	2.4	1.8	1.6	1.4	1.3	
	1年古米(5年産)	1.5	1.2	1.0	1.0	1.0	0.4	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
	6年産米			0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	1年古米(5年産)	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
長野	出荷+販売段階	25.3	18.2	29.6	58.3	65.1	58.9	51.4	45.2	39.0	34.3	29.3	26.0	
	6年産米		0.0	16.5	46.2	57.8	55.4	49.8	44.0	38.1	33.2	28.5	25.5	
	1年古米(5年産)	25.1	18.1	13.1	12.0	7.2	3.5	1.6	1.1	0.9	1.1	0.7	0.5	
	出荷段階	21.3	15.7	25.5	48.8	56.9	51.8	45.8	39.8	33.5	28.5	24.4	20.9	
	6年産米			14.5	41.3	52.7	50.2	45.3	39.5	33.3	28.0	24.2	20.8	
	1年古米(5年産)	21.3	15.7	11.1	7.5	4.3	1.6	0.5	0.3	0.2	0.5	0.2	0.1	
	販売段階	3.9	2.5	4.1	9.5	8.2	7.1	5.6	5.3	5.5	5.8	4.9	5.1	
	6年産米		0.0	2.0	5.0	5.2	5.3	4.5	4.5	4.8	5.2	4.4	4.7	
	1年古米(5年産)	3.8	2.4	2.0	4.5	3.0	1.8	1.1	0.8	0.6	0.6	0.5	0.5	
静岡	出荷+販売段階	3.1	5.0	13.8	17.0	16.3	14.8	10.8	9.3	8.3	6.7	7.0	5.6	
	6年産米		3.1	12.7	16.4	15.8	14.5	10.5	9.0	8.1	6.5	6.8	5.5	
	1年古米(5年産)	3.1	1.8	1.1	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	
	出荷段階	0.6	1.7	7.5	10.6	10.3	9.5	5.8	4.9	4.4	3.5	2.8	2.1	
	6年産米		1.4	7.4	10.6	10.3	9.5	5.8	4.9	4.4	3.5	2.8	2.1	
	1年古米(5年産)	0.6	0.3	0.1	0.0	0.0								
	販売段階	2.5	3.3	6.3	6.4	6.0	5.4	5.0	4.4	3.9	3.2	4.1	3.5	
	6年産米		1.8	5.3	5.7	5.5	5.0	4.7	4.2	3.7	3.0	4.0	3.3	
	1年古米(5年産)	2.5	1.6	1.0	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	68.8	42.4	166.8	256.9	248.8	232.7	207.3	186.7	165.5	164.5	135.8	104.8
	6年産米		0.8	138.0	234.2	231.3	219.6	197.3	178.5	157.9	148.4	116.6	91.8
	1年古米(5年産)	62.8	36.8	25.2	20.0	15.6	12.0	9.1	7.8	7.3	15.9	19.1	12.7
	出荷段階	52.9	32.1	145.1	224.1	216.6	200.8	179.7	161.3	138.3	135.4	109.6	82.3
	6年産米		0.6	122.1	206.3	202.6	190.9	171.7	154.4	132.3	121.8	92.5	71.9
	1年古米(5年産)	47.9	27.4	19.9	15.4	12.5	9.0	7.4	6.7	5.8	13.4	17.1	10.3
	販売段階	16.0	10.4	21.7	32.8	32.1	31.9	27.6	25.5	27.2	29.1	26.2	22.5
	6年産米		0.2	15.9	27.9	28.7	28.7	25.6	24.1	25.6	26.5	24.1	19.9
	1年古米(5年産)	14.9	9.4	5.4	4.6	3.1	2.9	1.8	1.1	1.5	2.5	2.0	2.4
富山	出荷+販売段階	22.9	17.1	59.4	78.0	79.9	73.8	67.0	60.2	52.4	55.6	47.7	36.8
	6年産米		2.4	48.5	71.6	74.6	70.2	64.6	58.6	51.5	50.7	42.9	33.4
	1年古米(5年産)	22.7	14.6	10.8	6.4	5.3	3.5	2.4	1.6	0.9	4.8	4.8	3.4
	出荷段階	17.9	12.3	50.1	65.3	68.1	63.1	57.9	52.6	45.5	47.9	38.9	28.7
	6年産米		1.4	43.0	63.2	66.6	62.5	57.4	52.2	45.5	44.1	35.7	27.0
	1年古米(5年産)	17.9	10.9	7.2	2.2	1.6	0.6	0.5	0.4	0.0	3.9	3.2	1.7
	販売段階	5.0	4.8	9.3	12.7	11.8	10.7	9.1	7.6	7.0	7.6	8.8	8.2
	6年産米		1.0	5.6	8.4	8.1	7.8	7.1	6.4	6.0	6.7	7.2	6.5
	1年古米(5年産)	4.8	3.7	3.6	4.2	3.7	2.8	1.9	1.1	0.9	0.9	1.6	1.7
石川	出荷+販売段階	18.2	19.7	57.4	64.3	57.5	49.8	43.2	37.8	34.5	30.7	29.4	23.3
	6年産米		7.7	48.4	57.7	52.7	46.8	41.2	36.4	33.4	28.7	23.4	19.1
	1年古米(5年産)	15.6	10.0	7.6	5.8	4.2	2.8	1.8	1.1	0.9	1.9	6.0	4.2
	出荷段階	12.3	14.2	38.5	42.6	37.7	32.7	28.6	24.5	22.1	19.6	19.6	14.2
	6年産米		5.3	31.5	37.7	34.2	30.7	27.3	23.7	21.7	18.2	14.4	11.4
	1年古米(5年産)	11.0	7.9	6.3	4.4	3.3	1.8	1.1	0.7	0.3	1.4	5.2	2.8
	販売段階	5.9	5.5	18.9	21.7	19.8	17.2	14.6	13.3	12.4	11.1	9.9	9.1
	6年産米		2.4	16.9	19.9	18.5	16.1	13.9	12.7	11.7	10.6	9.1	7.7
	1年古米(5年産)	4.6	2.2	1.3	1.4	1.0	0.9	0.6	0.4	0.6	0.5	0.8	1.4
福井	出荷+販売段階	10.2	13.2	37.6	50.1	46.7	42.5	38.4	33.9	27.7	26.5	27.6	22.2
	6年産米		7.3	33.7	48.4	45.6	41.5	37.6	33.1	27.0	25.4	21.7	18.2
	1年古米(5年産)	10.1	5.8	3.9	1.7	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	1.2	5.9	4.0
	出荷段階	6.4	4.8	19.9	31.5	29.9	27.3	24.7	21.4	15.6	14.7	17.1	13.6
	6年産米		1.2	17.5	31.5	29.9	27.3	24.7	21.3	15.6	14.2	12.2	10.5
	1年古米(5年産)	6.4	3.6	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	4.8	3.0
	販売段階	3.9	8.3	17.7	18.6	16.8	15.2	13.7	12.5	12.1	11.8	10.5	8.7
	6年産米		6.0	16.2	16.9	15.7	14.2	12.8	11.7	11.4	11.1	9.5	7.6
	1年古米(5年産)	3.8	2.2	1.5	1.7	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	1.1	1.0
岐阜	出荷+販売段階	8.0	6.9	7.5	12.7	21.5	22.1	20.0	17.9	16.7	14.6	11.1	9.5
	6年産米		0.7	3.1	9.7	19.4	21.2	19.4	17.6	16.5	14.5	10.5	9.0
	1年古米(5年産)	7.5	5.7	4.0	2.7	1.8	0.8	0.4	0.3	0.1	0.1	0.5	0.4
	出荷段階	5.2	4.5	5.2	8.5	17.6	18.7	17.2	15.2	13.3	11.4	8.2	6.5
	6年産米		0.5	2.4	7.6	16.9	18.4	17.1	15.1	13.2	11.4	8.0	6.4
	1年古米(5年産)	5.0	3.8	2.6	0.8	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
	販売段階	2.8	2.5	2.3	4.3	3.9	3.5	2.8	2.8	3.4	3.2	2.8	3.0
	6年産米		0.2	0.7	2.1	2.5	2.7	2.3	2.5	3.3	3.1	2.6	2.6
	1年古米(5年産)	2.5	1.9	1.4	1.9	1.3	0.6	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4
愛知	出荷+販売段階	8.8	8.3	11.2	18.7	24.7	25.7	23.0	20.7	18.1	15.6	12.9	10.4
	6年産米		2.3	7.7	16.7	23.3	24.7	22.4	20.2	17.7	15.3	12.7	10.1
	1年古米(5年産)	8.5	5.7	3.2	1.8	1.2	0.8	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
	出荷段階	7.1	6.5	8.6	14.2	19.3	20.4	18.2	16.4	14.3	12.2	10.2	8.1
	6年産米		1.8	6.1	13.6	18.8	20.3	18.2	16.4	14.3	12.2	10.2	8.1
	1年古米(5年産)	7.1	4.7	2.5	0.6	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.7	1.8	2.6	4.6	5.4	5.3	4.8	4.3	3.8	3.5	2.8	2.3
	6年産米		0.5	1.6	3.2	4.5	4.5	4.2	3.8	3.4	3.1	2.5	2.0
	1年古米(5年産)	1.4	0.9	0.8	1.1	0.7	0.7	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

在庫-9

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	5.2	11.9	25.8	28.9	26.7	22.7	20.2	18.4	15.8	12.7	10.7	8.7
	6年産米		9.0	24.0	27.6	25.7	22.0	19.6	18.0	15.4	12.5	10.4	8.4
	1年古米(5年産)	5.0	2.9	1.7	1.3	1.0	0.7	0.6	0.4	0.3	0.1	0.3	0.2
	出荷段階	2.5	8.3	20.5	23.0	21.4	18.2	16.0	14.7	11.9	9.2	7.6	5.5
	6年産米		7.2	19.8	22.6	21.2	18.0	15.8	14.6	11.9	9.2	7.3	5.3
	1年古米(5年産)	2.5	1.1	0.7	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0		0.2	0.2
	販売段階	2.7	3.6	5.3	5.9	5.3	4.5	4.2	3.7	3.8	3.5	3.1	3.2
	6年産米		1.8	4.2	5.0	4.5	4.0	3.7	3.4	3.5	3.3	3.1	3.1
	1年古米(5年産)	2.4	1.7	1.0	0.9	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0
滋賀	出荷+販売段階	9.5	9.0	37.3	43.0	44.1	36.7	35.1	31.9	27.2	22.3	18.3	14.2
	6年産米		4.0	32.7	39.8	41.5	35.0	33.8	30.7	26.3	21.0	17.2	13.6
	1年古米(5年産)	7.6	3.6	3.6	2.6	2.3	1.6	1.3	1.1	0.9	1.3	1.0	0.6
	出荷段階	5.8	6.1	31.4	36.0	37.1	29.9	29.2	26.5	22.3	18.0	14.4	10.7
	6年産米		3.3	29.4	34.3	35.9	29.2	28.6	26.0	21.9	17.2	13.8	10.6
	1年古米(5年産)	4.9	2.2	1.6	1.4	1.0	0.7	0.5	0.5	0.3	0.8	0.5	0.1
	販売段階	3.7	2.9	5.9	7.0	7.1	6.9	6.0	5.4	4.9	4.3	3.9	3.5
	6年産米		0.7	3.3	5.5	5.6	5.8	5.1	4.7	4.3	3.9	3.4	3.0
	1年古米(5年産)	2.6	1.4	2.1	1.2	1.3	1.0	0.8	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5
京都	出荷+販売段階	1.9	1.1	6.2	7.9	7.7	6.9	7.1	6.1	5.4	4.7	4.0	3.4
	6年産米		0.1	5.6	7.6	7.5	6.9	7.1	6.1	5.3	4.7	4.0	3.3
	1年古米(5年産)	1.9	1.0	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	1.3	0.8	5.5	6.9	6.9	6.1	6.3	5.4	4.7	4.2	3.5	2.8
	6年産米		0.1	5.1	6.9	6.9	6.1	6.3	5.4	4.7	4.2	3.5	2.8
	1年古米(5年産)	1.3	0.7	0.4	0.0								
	販売段階	0.5	0.3	0.7	1.0	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5
	6年産米		0.0	0.5	0.8	0.6	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5
	1年古米(5年産)	0.5	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大阪	出荷+販売段階	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	1.1	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2
	6年産米			0.2	0.2	0.4	1.0	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階	0.3	0.1	0.2	0.2	0.4	1.0	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2
	6年産米			0.2	0.2	0.4	1.0	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2
	1年古米(5年産)	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
	6年産米			0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
	1年古米(5年産)	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0							
兵庫	出荷+販売段階	15.9	11.8	19.2	26.4	32.4	31.8	27.4	24.2	21.1	18.5	15.9	13.6
	6年産米		0.3	12.1	22.7	29.7	29.8	25.9	22.8	20.3	17.8	15.3	13.1
	1年古米(5年産)	15.5	11.4	7.0	3.6	2.6	1.9	1.5	1.3	0.8	0.7	0.6	0.5
	出荷段階	13.3	10.3	17.3	23.1	28.8	28.7	24.5	21.7	18.6	16.3	13.7	11.6
	6年産米		0.3	11.1	20.3	27.0	27.3	23.5	20.8	18.1	15.9	13.3	11.2
	1年古米(5年産)	13.1	10.0	6.1	2.7	1.8	1.3	1.0	0.9	0.5	0.4	0.4	0.4
	販売段階	2.6	1.5	1.9	3.3	3.5	3.1	2.9	2.5	2.5	2.2	2.2	2.0
	6年産米		0.0	0.9	2.4	2.8	2.5	2.4	2.1	2.2	2.0	2.0	1.9
	1年古米(5年産)	2.4	1.4	1.0	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
奈良	出荷+販売段階	2.7	1.8	1.8	5.1	6.9	6.1	5.2	4.5	3.8	3.1	2.5	2.0
	6年産米			0.7	4.4	6.4	5.7	4.9	4.3	3.6	2.9	2.4	1.9
	1年古米(5年産)	2.5	1.6	1.0	0.6	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	1.9	1.1	1.0	3.7	5.3	4.7	4.1	3.5	2.1	1.7	1.3	1.0
	6年産米			0.6	3.7	5.3	4.7	4.1	3.5	2.1	1.7	1.3	1.0
	1年古米(5年産)	1.9	1.1	0.5	0.0	0.0							
	販売段階	0.8	0.7	0.8	1.4	1.6	1.4	1.1	1.0	1.7	1.4	1.2	1.0
	6年産米			0.1	0.7	1.1	1.0	0.8	0.7	1.5	1.2	1.1	0.9
	1年古米(5年産)	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	0.5	0.3	0.4	1.1	1.0	1.0	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.5
	6年産米			0.2	0.9	0.8	0.9	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5
	1年古米(5年産)	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
	出荷段階	0.3	0.2	0.3	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.4
	6年産米			0.1	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
	6年産米			0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
	1年古米(5年産)	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鳥取	出荷+販売段階	6.6	4.0	8.7	18.9	20.4	21.5	23.4	22.8	20.7	18.1	14.7	12.8
	6年産米		0.1	6.5	17.3	19.3	20.7	22.9	22.4	20.4	17.7	14.4	12.5
	1年古米(5年産)	6.5	3.9	2.2	1.6	1.0	0.8	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
	出荷段階	4.7	2.8	7.0	16.4	18.1	19.4	20.2	20.0	17.8	15.8	12.5	10.9
	6年産米		0.1	5.7	15.5	17.5	19.0	20.0	19.9	17.7	15.5	12.3	10.7
	1年古米(5年産)	4.6	2.7	1.3	0.9	0.6	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2
	販売段階	1.9	1.2	1.7	2.5	2.3	2.1	3.2	2.7	2.8	2.3	2.2	1.9
	6年産米		0.0	0.8	1.8	1.8	1.7	2.9	2.5	2.6	2.2	2.1	1.8
	1年古米(5年産)	1.8	1.2	0.8	0.7	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
島根	出荷+販売段階	5.9	3.9	13.4	19.8	18.8	20.7	19.5	16.9	14.5	12.6	10.4	8.7
	6年産米		0.5	11.3	19.0	18.1	20.4	19.2	16.8	14.4	12.3	10.2	8.6
	1年古米(5年産)	5.5	3.1	1.9	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1
	出荷段階	4.2	2.8	11.4	16.7	15.7	18.1	17.0	14.6	12.3	10.5	8.4	6.7
	6年産米		0.4	9.9	16.4	15.5	18.0	16.9	14.6	12.3	10.3	8.3	6.7
	1年古米(5年産)	4.2	2.4	1.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0		0.1	0.1	
	販売段階	1.7	1.1	2.0	3.2	3.0	2.6	2.5	2.3	2.2	2.2	1.9	2.0
	6年産米		0.1	1.4	2.6	2.6	2.4	2.3	2.2	2.1	2.0	1.9	1.9
	1年古米(5年産)	1.3	0.7	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
岡山	出荷+販売段階	14.0	9.4	11.4	24.0	31.7	33.8	31.3	31.8	29.9	26.9	24.2	22.5
	6年産米		0.0	5.9	19.6	28.3	31.5	29.4	30.1	28.9	26.2	23.0	21.4
	1年古米(5年産)	13.4	8.9	5.2	4.2	3.1	2.1	1.8	1.5	0.9	0.7	1.2	1.0
	出荷段階	10.3	6.8	7.5	17.8	23.8	25.6	23.9	24.9	21.9	19.9	18.1	16.1
	6年産米		0.0	4.5	16.2	22.7	24.8	23.2	24.3	21.8	19.8	17.5	15.7
	1年古米(5年産)	10.2	6.7	2.9	1.5	1.0	0.8	0.7	0.6	0.1	0.1	0.6	0.4
	販売段階	3.7	2.7	4.0	6.3	7.9	8.2	7.3	6.8	7.9	7.1	6.1	6.4
	6年産米		0.0	1.4	3.4	5.7	6.7	6.2	5.8	7.1	6.4	5.6	5.7
	1年古米(5年産)	3.1	2.2	2.3	2.7	2.0	1.3	1.1	1.0	0.8	0.7	0.6	0.6
広島	出荷+販売段階	8.2	5.1	19.1	32.2	30.8	26.1	22.8	19.9	17.0	14.6	12.1	10.0
	6年産米		0.0	16.2	30.7	29.7	25.1	21.9	19.0	16.2	14.0	11.6	9.6
	1年古米(5年産)	7.7	4.9	2.7	1.3	1.0	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4
	出荷段階	5.2	2.8	16.2	27.5	26.5	22.3	19.4	16.1	13.1	10.6	8.3	5.0
	6年産米			14.6	27.3	26.4	22.2	19.3	16.1	13.1	10.5	8.3	5.0
	1年古米(5年産)	5.2	2.8	1.5	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	3.0	2.3	2.9	4.7	4.3	3.8	3.4	3.8	3.8	4.0	3.8	5.0
	6年産米		0.0	1.6	3.4	3.3	2.9	2.6	3.0	3.1	3.4	3.3	4.6
	1年古米(5年産)	2.5	2.0	1.2	1.1	0.9	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4
山口	出荷+販売段階	8.4	5.7	12.7	23.9	24.2	23.4	20.8	18.7	16.8	14.2	12.4	10.8
	6年産米		0.6	9.6	21.3	22.4	22.4	20.2	18.2	16.5	14.0	12.3	10.8
	1年古米(5年産)	8.0	4.9	3.0	2.6	1.8	0.9	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1
	出荷段階	6.8	4.5	11.3	21.2	21.6	21.3	19.4	17.5	15.3	12.9	11.0	9.6
	6年産米		0.4	8.8	19.9	20.8	20.9	19.1	17.2	15.1	12.8	11.0	9.6
	1年古米(5年産)	6.6	4.0	2.4	1.2	0.8	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
	販売段階	1.7	1.2	1.4	2.7	2.6	2.0	1.4	1.3	1.6	1.4	1.4	1.2
	6年産米		0.2	0.8	1.3	1.6	1.5	1.1	1.0	1.4	1.2	1.3	1.2
	1年古米(5年産)	1.4	0.8	0.6	1.3	1.0	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	0.8	5.1	7.4	7.0	6.1	4.9	4.4	3.6	3.1	3.1	2.5	2.0
	6年産米		4.6	7.1	6.7	5.8	4.6	4.2	3.4	2.9	2.5	2.0	1.6
	1年古米(5年産)	0.8	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.6	0.5	0.4
	出荷段階	0.0	3.6	5.4	4.7	3.7	2.8	2.4	1.8	1.4	1.7	1.2	0.9
	6年産米		3.6	5.4	4.7	3.7	2.8	2.4	1.8	1.4	1.2	0.9	0.7
	1年古米(5年産)	0.0									0.5	0.3	0.2
	販売段階	0.8	1.4	2.1	2.3	2.4	2.1	2.1	1.8	1.7	1.4	1.3	1.1
	6年産米		1.0	1.7	2.0	2.1	1.8	1.8	1.6	1.6	1.2	1.1	0.9
	1年古米(5年産)	0.8	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2
香川	出荷+販売段階	2.7	1.6	2.5	8.3	13.4	12.4	11.1	9.6	8.3	7.2	5.8	4.6
	6年産米		0.3	1.7	7.9	12.8	12.2	10.9	9.5	8.2	7.1	5.7	4.5
	1年古米(5年産)	2.7	1.3	0.7	0.4	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	1.7	0.7	1.5	7.1	12.0	11.0	9.9	8.5	7.2	5.4	4.0	2.9
	6年産米		0.1	1.2	7.1	11.9	11.0	9.9	8.5	7.2	5.4	4.0	2.9
	1年古米(5年産)	1.7	0.7	0.2	0.0	0.0							
	販売段階	1.1	0.9	1.0	1.2	1.5	1.4	1.2	1.1	1.1	1.8	1.9	1.7
	6年産米		0.2	0.5	0.9	0.9	1.3	1.1	1.0	1.0	1.7	1.8	1.6
	1年古米(5年産)	1.0	0.6	0.5	0.3	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
愛媛	出荷+販売段階	3.8	3.3	4.3	7.8	9.0	7.5	6.5	5.4	4.5	3.6	2.9	2.4
	6年産米		1.4	3.2	7.1	8.3	7.0	6.1	5.1	4.3	3.4	2.7	2.2
	1年古米(5年産)	3.6	1.8	1.1	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
	出荷段階	3.3	3.0	3.8	7.4	8.5	7.1	6.0	5.1	4.0	3.1	2.4	2.0
	6年産米		1.3	2.8	6.7	7.9	6.7	5.7	4.8	3.8	2.9	2.3	1.9
	1年古米(5年産)	3.2	1.7	1.0	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
	販売段階	0.5	0.3	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.5	0.4	0.3
	6年産米		0.1	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.3
	1年古米(5年産)	0.4	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高知	出荷+販売段階	2.5	6.8	5.6	6.0	5.5	4.7	4.0	3.5	3.0	2.6	2.1	1.7
	6年産米	0.4	5.3	4.4	5.1	4.6	4.0	3.4	3.0	2.5	2.1	1.7	1.4
	1年古米(5年産)	1.7	1.2	1.0	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3
	出荷段階	0.2	2.2	2.0	2.4	2.3	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
	6年産米	0.2	2.2	2.0	2.4	2.3	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
	1年古米(5年産)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
	販売段階	2.3	4.6	3.6	3.6	3.1	4.3	3.7	3.2	2.9	2.5	2.0	1.6
	6年産米	0.3	3.1	2.5	2.7	2.3	3.6	3.0	2.6	2.4	2.0	1.6	1.3
	1年古米(5年産)	1.7	1.2	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3
福岡	出荷+販売段階	15.4	9.2	15.8	23.7	36.5	41.5	37.1	33.1	29.1	24.1	19.8	15.9
	6年産米		0.9	11.0	20.1	34.5	40.6	36.3	32.5	28.5	23.5	19.3	15.9
	1年古米(5年産)	15.1	8.1	4.6	3.4	2.0	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.0
	出荷段階	11.6	6.5	9.6	16.0	29.4	35.2	31.3	27.8	24.2	20.2	16.4	13.3
	6年産米		0.4	6.2	14.7	28.7	35.1	31.3	27.8	24.2	20.2	16.4	13.3
	1年古米(5年産)	11.5	6.1	3.4	1.3	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0			
	販売段階	3.8	2.7	6.2	7.6	7.2	6.3	5.7	5.3	4.9	3.9	3.4	2.7
	6年産米		0.5	4.8	5.4	5.7	5.5	5.0	4.7	4.3	3.4	2.9	2.6
	1年古米(5年産)	3.6	2.0	1.2	2.1	1.3	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
佐賀	出荷+販売段階	10.2	6.7	6.7	18.2	20.5	21.8	22.4	22.1	18.6	15.2	12.5	10.8
	6年産米		0.4	3.6	17.6	20.0	21.6	22.2	22.0	18.5	15.2	12.5	10.8
	1年古米(5年産)	9.7	6.1	3.0	0.4	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	7.8	5.4	5.6	15.9	18.0	19.2	19.9	19.5	16.3	13.1	10.9	8.9
	6年産米		0.3	3.2	15.9	18.0	19.2	19.9	19.5	16.3	13.1	10.9	8.9
	1年古米(5年産)	7.8	5.1	2.4		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	販売段階	2.3	1.3	1.1	2.3	2.5	2.6	2.5	2.5	2.3	2.1	1.7	1.9
	6年産米		0.1	0.4	1.7	2.0	2.4	2.3	2.5	2.2	2.1	1.7	1.9
	1年古米(5年産)	1.9	0.9	0.6	0.4	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
長崎	出荷+販売段階	2.4	1.9	1.9	4.8	6.1	7.1	7.0	6.3	5.4	4.4	3.6	3.1	
	6年産米		0.4	1.0	4.5	5.9	6.9	6.8	6.1	5.2	4.4	3.6	3.1	
	1年古米(5年産)	2.4	1.5	0.9	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	
	出荷段階	2.1	1.7	1.6	4.2	5.4	6.5	6.5	5.8	4.9	4.2	3.4	2.9	
	6年産米		0.4	0.9	4.1	5.4	6.5	6.4	5.8	4.9	4.1	3.4	2.9	
	1年古米(5年産)	2.1	1.3	0.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	販売段階	0.3	0.2	0.2	0.6	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.3	0.2	0.2	
	6年産米		0.0	0.1	0.4	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
	熊本	出荷+販売段階	10.2	7.3	7.7	21.9	29.0	35.3	31.0	28.1	24.6	20.2	17.0	13.1
		6年産米		1.4	4.2	20.1	27.7	34.4	30.2	27.5	24.1	19.8	16.5	12.7
		1年古米(5年産)	9.9	5.6	3.2	1.5	1.0	0.7	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
出荷段階		6.1	3.4	3.9	12.3	19.3	26.5	23.0	20.2	16.9	13.5	11.2	8.2	
6年産米			0.5	2.4	11.8	19.0	26.3	22.8	20.1	16.9	13.4	11.1	8.2	
1年古米(5年産)		6.1	3.0	1.5	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0		
販売段階		4.1	3.8	3.8	9.6	9.7	8.8	8.0	8.0	7.7	6.7	5.8	4.9	
6年産米			0.9	1.8	8.2	8.7	8.0	7.4	7.5	7.3	6.3	5.4	4.4	
1年古米(5年産)		3.8	2.6	1.8	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	
大分		出荷+販売段階	4.1	3.0	3.6	7.9	12.8	12.4	11.2	9.9	8.9	7.3	6.1	4.9
		6年産米		0.4	2.1	7.1	12.2	12.0	10.9	9.6	8.6	7.1	6.0	4.9
		1年古米(5年産)	4.0	2.5	1.4	0.8	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.0
	出荷段階	2.4	1.6	1.8	4.0	7.7	7.5	6.7	5.8	5.0	4.0	3.3	2.5	
	6年産米		0.2	1.2	3.8	7.6	7.4	6.6	5.8	5.0	4.0	3.3	2.5	
	1年古米(5年産)	2.4	1.3	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
	販売段階	1.7	1.5	1.8	4.0	5.1	4.9	4.5	4.1	3.9	3.3	2.8	2.4	
	6年産米		0.2	0.9	3.3	4.6	4.6	4.2	3.9	3.6	3.1	2.7	2.4	
	1年古米(5年産)	1.6	1.2	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	
	宮崎	出荷+販売段階	4.8	3.9	2.3	6.7	7.1	6.8	6.4	5.3	4.1	3.1	2.3	1.8
		6年産米	3.9	3.2	1.9	6.6	7.1	6.7	6.4	5.2	4.0	3.1	2.3	1.8
		1年古米(5年産)	0.9	0.6	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
出荷段階		2.3	0.8	0.2	3.9	4.3	4.4	4.6	3.7	3.0	2.1	1.5	1.0	
6年産米		2.0	0.7	0.2	3.8	4.3	4.4	4.6	3.6	3.0	2.1	1.5	1.0	
1年古米(5年産)		0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
販売段階		2.5	3.0	2.1	2.8	2.8	2.3	1.9	1.6	1.0	0.9	0.8	0.7	
6年産米		1.9	2.6	1.8	2.7	2.7	2.3	1.8	1.6	1.0	0.9	0.8	0.7	
1年古米(5年産)		0.6	0.5	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
鹿児島		出荷+販売段階	5.0	4.0	2.6	8.4	11.8	11.8	11.2	11.4	10.6	8.8	7.7	6.7
		6年産米	0.6	1.5	1.0	7.3	10.9	10.9	10.4	10.6	9.8	8.1	7.1	6.2
		1年古米(5年産)	3.6	1.9	1.1	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4
	出荷段階	3.7	2.5	1.4	6.6	10.0	9.9	9.6	9.8	9.2	7.6	6.7	5.8	
	6年産米	0.2	0.5	0.3	5.7	9.1	9.1	8.8	9.1	8.6	7.0	6.2	5.3	
	1年古米(5年産)	3.0	1.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	
	販売段階	1.4	1.5	1.2	1.8	1.9	1.9	1.7	1.6	1.3	1.1	1.0	0.9	
	6年産米	0.4	0.9	0.7	1.6	1.7	1.8	1.6	1.5	1.3	1.1	0.9	0.9	
	1年古米(5年産)	0.6	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	沖縄	出荷+販売段階	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
		6年産米	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		1年古米(5年産)												
出荷段階		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0				0.0	
6年産米		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0					
1年古米(5年産)														
販売段階		0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
6年産米		0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1年古米(5年産)														

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

2 米の価格情報

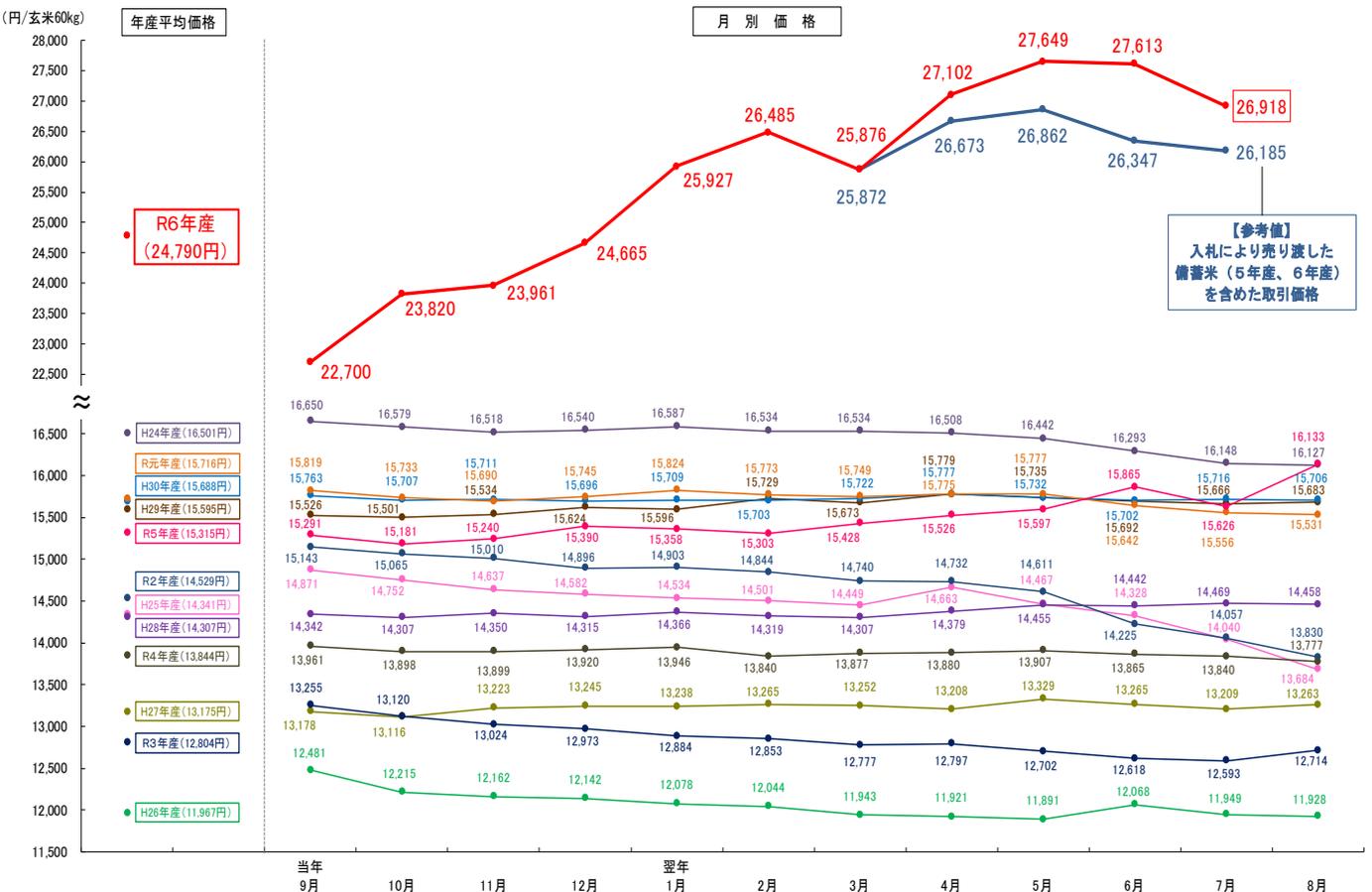
1 相対取引価格・数量

相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 年産別の相対取引価格(速報)

- 令和6年産米の令和7年7月の相対取引価格は、備蓄米の取引を含む全銘柄平均で26,918円/60kgとなり、対前年同月 +11,292円(+72%)、対前月 ▲695円(▲3%)。取扱数量は、4.0万トンとなったところ。
- 令和6年産米は、例年より早いペースで取引(契約)が進み、令和7年7月で取引(契約)は終盤となっていることから、7月の取引価格が令和6年産米の取引全体に与える影響は小さい(次ページ参照)。
- なお、令和7年3月以降の米の取引価格の参考として、令和5年産の備蓄米も含めると、26,185円/60kg。
- 令和7年7月までの年産平均価格24,790円/60kgは、出荷業者と卸売業者等の間の取引価格としては、比較可能な平成2年以降で過去最高の価格である。

相対取引価格の推移(税込) (全銘柄平均価格)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額(平成26年3月までは5%、元年9月までは8%、元年10月以降は10%、ただし軽減税率対象は8%)を含む1等米の価格である。

2：グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで(6年産は出回りから令和7年7月までの速報値)の通年平均価格、右側は月ごとの価格の推移。

3：令和5年産の備蓄米は、政府備蓄米の買戻し条件付売渡しの販売数量等の報告から集計。

(2) 令和6年産米の相対取引価格（速報）

- 令和7年7月の取引数量は4.0万トンと、これまでの令和6年産米の取引数量全体の約2%であるため、7月の取引価格が令和6年産米の取引全体に与える影響は小さい。

令和6年産米の相対取引価格（税込）（全銘柄平均価格）及び相対取引数量の推移



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。

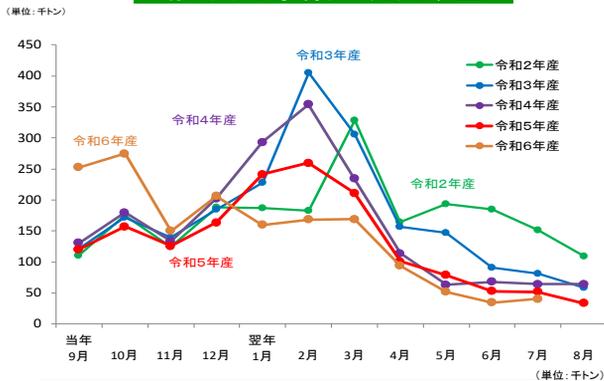
注2：グラフ左側の年産平均価格は、出回りから翌年7月までの通年平均価格（速報値）、右側は月ごとの価格の推移。

注3：令和7年3月から7月までには、令和6年産の備蓄米の取引を含む。

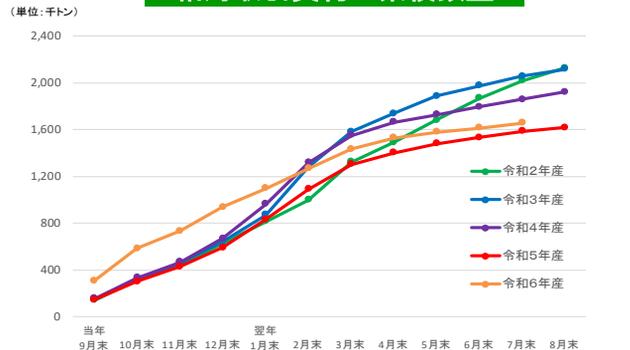
(参考1) 相対取引契約数量の推移

- 令和6年産米の令和7年7月の相対取引契約数量は、4.0万トンとなり、出回りからの契約数量は前年同期差+7.0万トンの165.5万トンとなったところ。

相対取引契約の月別数量



相対取引契約の累積数量



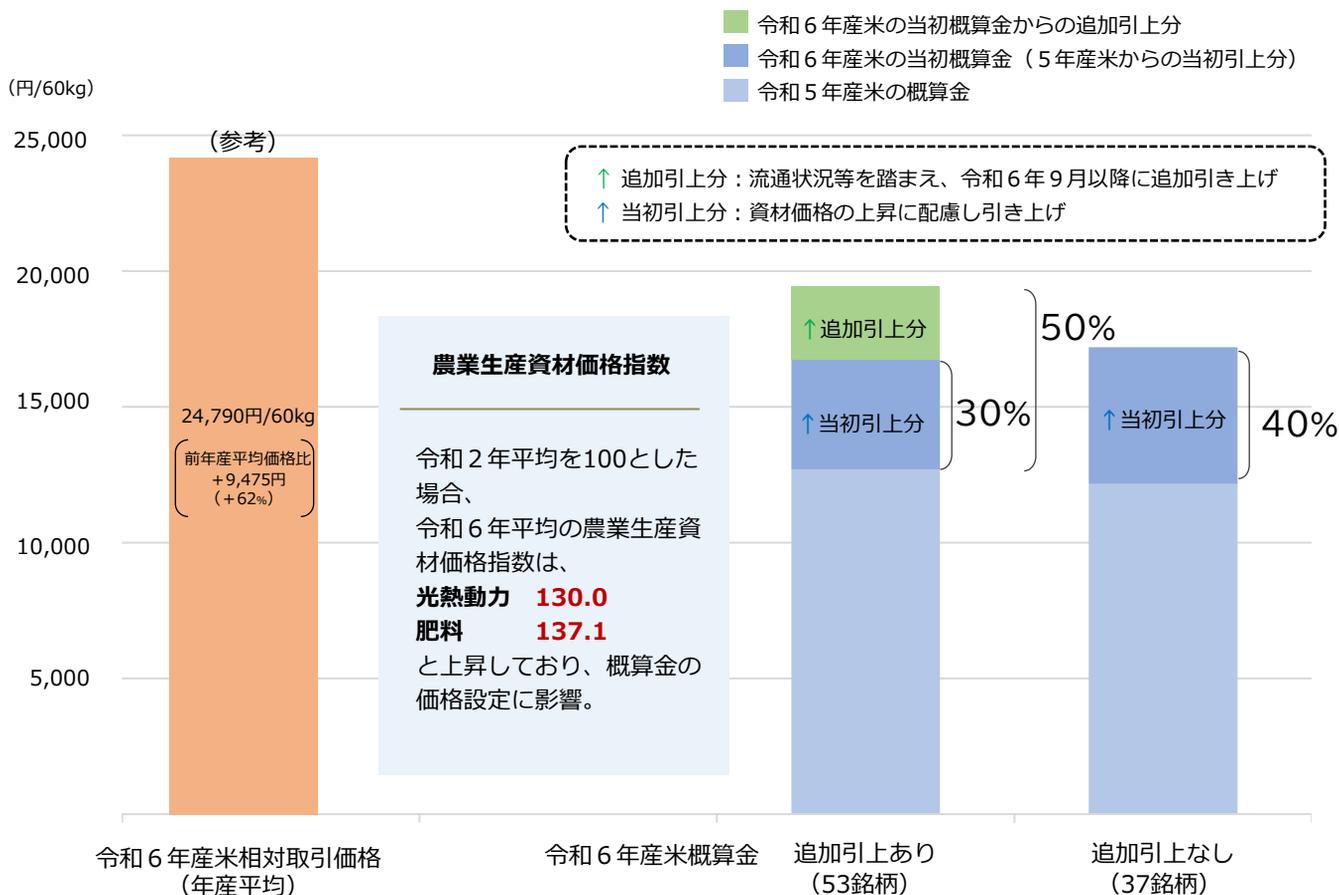
資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

注2：相対取引契約数量は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の数量の合計（6年産は速報値）であり、公表後の契約変更等を含む。

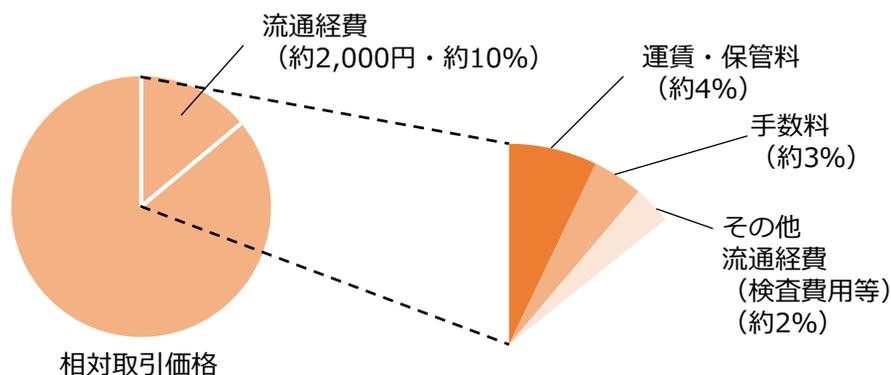
注3：相対取引契約数量の年産計欄は、出回りから生産年の翌年10月までの数量であるため、各月の合計と一致しない。

(参考2) 6年産米の概算金の設定と相対取引価格の状況



※概算金は、業界紙情報及び集荷業者等からの聞き取りによるもの（令和7年1月8日現在）。

米の集荷・流通に関する経費



- 集荷団体が行う米の集荷・流通等に要するコストは、各県・銘柄によって異なるものの、概ね約2,000円/60kg（約10%）と推定される。
- 内訳は、通年供給にかかる保管料、産地から消費地への運賃等が4%、手数料が3%、その他（安全安心にかかるサンプル検査費用、広告宣伝費用他）が2%程度と推定される。

※流通経費は、集荷業者等からの聞き取りにより算出。

(3) 相対取引価格・数量（令和6年産米、産地品種銘柄別、令和7年7月分）（速報）

相対取引価格・数量（北海道から三重まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	6年産米 令和7年7月		月別価格						年産平均価格						取引数量						取引数量 累計		
		価格 ①	数量 ②	6年産米 (7年6月)	対前年 同月比		5年産米 (6年7月)	6年産米 出回り～ 7年7月	5年産米 出回り～ 6年10月		6年産米 (7年6月)	対前年 同月比		5年産米 (6年7月)	6年産米 出回り～ 7年7月	5年産米 出回り～ 6年7月		6年産米 出回り～ 7年7月	5年産米 出回り～ 6年7月	対前年 同月比				
				③	①/③	①/④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑦/⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬				⑭	⑮	⑯	
北海道	なまつぼし	28,197	4,900	27,832	101%	178%	15,804	26,991	15,655	172%	4,301	114%	73%	6,734	128,180	125,080	102%							
北海道	ゆめぴりか	26,817	3,938	24,899	108%	167%	16,036	27,971	16,452	170%	2,795	141%	52%	7,601	75,691	76,042	100%							
北海道	きらら397	21,594	1,115	23,323	93%	141%	15,316	26,239	15,102	174%	751	148%	283%	394	19,604	17,498	112%							
青森	まつしぐら	28,457	864	31,717	90%	185%	15,409	26,075	15,220	171%	1,019	85%	67%	1,288	77,215	64,740	119%							
青森	つがるロマン	-	-	-	-	-	14,518	-	15,421	-	-	-	-	184	-	6,687	-							
岩手	ひとめぼれ	23,752	1,192	23,450	101%	160%	14,800	23,509	15,140	155%	372	320%	100%	1,189	64,076	64,423	99%							
岩手	銀河のしずく	-	-	-	-	-	-	23,571	15,459	152%	-	-	-	-	14,779	12,537	118%							
岩手	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	24,937	15,119	165%	-	-	-	-	5,078	8,177	62%							
宮城	ひとめぼれ	25,799	1,311	26,135	99%	167%	15,456	23,735	15,007	158%	1,170	112%	86%	1,529	113,533	112,384	101%							
宮城	つや姫	26,884	215	-	-	172%	15,498	25,052	15,556	161%	-	-	98%	219	13,082	14,513	90%							
宮城	ササニシキ	-	-	-	-	-	-	24,106	15,592	155%	-	-	-	-	7,272	8,527	85%							
秋田	あきたこまち	27,124	5,670	28,000	97%	170%	15,975	25,164	15,317	164%	4,529	125%	148%	3,829	152,186	137,509	111%							
秋田	ひとめぼれ	27,261	196	31,510	87%	-	-	23,049	14,375	160%	179	109%	-	-	17,887	16,582	108%							
秋田	めんこいな	28,310	414	25,775	110%	184%	15,400	23,721	14,213	167%	145	286%	360%	115	9,217	5,608	164%							
山形	はえぬぎ	26,561	1,535	27,483	97%	182%	14,611	25,678	14,779	174%	1,689	91%	190%	807	72,725	50,350	144%							
山形	つや姫	28,803	1,628	29,766	97%	154%	18,690	27,930	18,745	149%	1,198	136%	607%	268	34,507	28,307	122%							
山形	雪若丸	28,334	416	28,716	99%	184%	15,378	26,518	15,497	171%	622	67%	39%	1,078	16,762	15,012	112%							
福島	コンヒカリ(中通り)	27,317	309	33,680	81%	184%	14,881	26,299	14,959	176%	377	82%	6%	5,033	25,860	32,316	80%							
福島	コンヒカリ(会津)	28,892	672	32,158	90%	190%	15,202	26,275	15,494	170%	1,138	59%	6%	11,214	23,944	26,890	89%							
福島	コンヒカリ(浜通り)	-	-	29,431	-	-	-	25,988	15,131	172%	147	-	-	-	3,517	4,590	77%							
福島	ひとめぼれ	27,979	677	31,511	89%	191%	14,686	25,570	14,537	176%	375	181%	15%	4,373	22,317	19,452	115%							
福島	天のつぶ	28,992	274	29,251	99%	193%	15,045	24,953	14,296	175%	152	180%	22%	1,234	21,967	13,981	157%							
茨城	コンヒカリ	-	-	34,201	-	-	-	18,238	27,731	15,235	182%	136	-	-	168	25,111	32,507	77%						
茨城	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	26,035	14,726	177%	-	-	-	-	6,506	6,621	98%							
茨城	にじのきらめき	26,981	388	-	-	-	-	26,703	-	-	-	-	-	-	5,656	-	-							
栃木	コンヒカリ	26,445	1,041	25,675	103%	180%	14,651	25,095	15,152	166%	876	119%	33%	3,161	57,204	75,338	76%							
栃木	とちぎの星	26,243	148	26,737	98%	179%	14,678	24,895	14,476	172%	216	69%	55%	267	14,457	11,167	129%							
栃木	あさひの夢	-	-	-	-	-	13,685	24,350	14,145	172%	-	-	-	107	3,787	3,159	120%							
群馬	あさひの夢	26,083	150	26,074	100%	180%	14,452	27,083	15,219	178%	154	97%	30%	506	5,941	5,840	102%							
群馬	ゆめまつり	-	-	-	-	-	-	-	14,976	-	-	-	-	-	286	-	-							
埼玉	彩のきずな	-	-	-	-	-	14,225	22,528	14,489	155%	-	-	-	1,109	2,339	5,401	43%							
埼玉	彩のかがやき	-	-	28,182	-	-	13,816	25,627	14,333	179%	428	-	-	716	931	3,320	28%							
埼玉	コンヒカリ	-	-	-	-	-	14,669	24,240	15,055	161%	-	-	-	418	1,445	3,020	48%							
千葉	コンヒカリ	23,022	719	23,882	96%	161%	14,288	24,066	14,611	165%	593	121%	45%	1,599	21,762	25,537	85%							
千葉	ふさおがね	23,329	211	-	-	168%	13,280	23,417	13,742	170%	-	-	34%	619	9,927	9,988	99%							
千葉	ふさおとめ	23,220	182	28,503	81%	171%	13,566	23,367	13,985	167%	133	137%	54%	337	8,724	9,286	94%							
山梨	コンヒカリ	19,798	109	19,799	100%	112%	17,643	19,746	17,535	113%	136	80%	84%	130	2,310	2,495	93%							
長野	コンヒカリ	31,425	535	-	-	-	-	23,160	15,895	146%	-	-	-	-	37,452	48,797	77%							
長野	あきたこまち	31,765	110	-	-	-	-	22,489	15,127	149%	-	-	-	-	3,991	5,899	68%							
静岡	コンヒカリ	-	-	-	-	-	-	23,092	15,560	148%	-	-	-	-	1,691	3,804	44%							
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	21,833	14,438	151%	-	-	-	-	314	857	37%							
静岡	にこまる	-	-	-	-	-	-	23,951	14,407	166%	-	-	-	-	120	294	41%							
新潟	コンヒカリ(一般)	27,805	2,675	28,129	99%	158%	17,597	23,505	16,927	139%	2,593	103%	2477%	108	93,622	19,410	482%							
新潟	コンヒカリ(魚沼)	27,655	891	27,763	100%	134%	20,705	26,082	20,758	126%	643	139%	84%	1,060	24,381	10,859	225%							
新潟	コンヒカリ(佐渡)	-	-	45,490	-	-	-	23,754	17,441	136%	122	-	-	-	11,709	3,289	356%							
新潟	コンヒカリ(岩船)	29,077	419	26,708	109%	-	-	23,338	17,325	135%	211	199%	-	-	11,526	3,137	367%							
新潟	こしいぶき	25,846	1,005	27,760	92%	170%	15,121	22,705	14,596	156%	953	105%	488%	206	32,926	14,414	228%							
富山	コンヒカリ	29,376	1,410	28,041	105%	180%	16,300	25,006	15,915	157%	457	309%	220%	642	40,539	42,169	96%							
富山	てんたく	-	-	25,877	-	-	14,138	23,740	14,920	159%	186	-	-	112	9,516	6,495	147%							
石川	コンヒカリ	-	-	-	-	-	-	22,663	15,678	145%	-	-	-	-	10,810	13,592	80%							
石川	ゆめみづほ	-	-	-	-	-	-	21,903	14,415	152%	-	-	-	-	6,860	2,952	232%							
福井	コンヒカリ	-	-	-	-	-	15,467	21,366	15,380	139%	-	-	-	174	14,194	13,777	103%							
福井	ハナエチゼン	-	-	-	-	-	-	21,119	13,881	152%	-	-	-	-	12,417	11,509	108%							
福井	あきさかり	-	-	-	-	-	-	21,134	14,185	149%	-	-	-	-	3,486	3,929	89%							
岐阜	ハツシモ	-	-	-	-	-	15,565	25,421	15,087	168%	-	-	-	179	3,828	8,887	43%							
岐阜	コンヒカリ	28,353	215	33,518	85%	174%	16,307	24,795	16,144	154%	140	154%	128%	168	3,108	4,698	66%							
岐阜	ほしじるし	24,712	101	-	-	-	-	24,120	13,929	173%	-	-	-	-	1,618	2,490	65%							
愛知	あいちのかおり	26,527	261	26,475	100%	182%	14,560	23,719	14,479	164%	324	81%	71%	367	2,714	3,196	85%							
愛知	コンヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
愛知	大地の風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
三重	コンヒカリ(一般)	-	-	-	-	-	-	23,088	14,716	157%	-	-	-	-	7,226	9,979	72%							
三重	コンヒカリ(伊賀)	-	-	-	-	-	-	23,670	15,085	157%	-	-	-	-	4,348	5,840	74%							
三重	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	22,312	13,563	165%	-	-	-	-	640	1,013	63%							

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（滋賀から鹿児島まで）

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	6年産米 令和7年7月		月別価格					年産平均価格			取引数量				取引数量 累計			
		価格 ①	数量 ②	6年産米 (7年6月)		5年産米 (6年7月)		6年産米 出回り~ 7年7月	5年産米 出回り~ 6年10月	対前年比 ⑦/⑧	6年産米 (7年6月)	対前月比 ②/⑤	対前年 同月比 ②/⑥	5年産米 (6年7月)	6年産米 出回り~ 6年7月	5年産米 出回り~ 6年7月	対前年 同期比 ⑨/⑩		
				③	①/③	④	①/④	⑦	⑧		⑤	⑥	⑨	⑩					
滋賀	コシヒカリ	24,993	116	28,339	88%	163%	15,331	23,534	15,271	154%	406	29%	101%	115	14,634	16,394	89%		
滋賀	キヌヒカリ	-	-	31,081	-	-	-	23,954	13,965	172%	200	-	-	-	4,902	6,963	70%		
滋賀	みずかみ	25,570	101	31,683	81%	170%	15,027	23,111	14,915	155%	472	21%	84%	120	8,186	9,540	86%		
京都	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	22,529	15,502	145%	-	-	-	-	3,712	4,586	81%		
京都	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	19,694	14,057	140%	-	-	-	-	786	1,255	63%		
京都	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	20,779	15,970	130%	-	-	-	-	353	1,001	35%		
兵庫	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	23,430	15,492	151%	-	-	-	-	8,446	10,593	80%		
兵庫	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	22,742	14,074	162%	-	-	-	-	2,120	4,013	53%		
兵庫	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	22,065	13,986	158%	-	-	-	-	2,287	3,333	69%		
奈良	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	14,261	21,650	14,389	150%	-	-	666	415	6,217	7%			
鳥取	きぬむすめ	-	-	-	-	-	15,733	22,284	14,404	155%	-	-	-	123	3,135	3,789	83%		
鳥取	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	21,812	15,005	145%	-	-	-	-	2,077	2,570	81%		
鳥取	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	22,066	14,243	155%	-	-	-	-	1,773	1,746	102%		
鳥根	きぬむすめ	-	-	-	-	-	14,269	19,914	14,117	141%	-	-	496	12,193	13,646	89%			
鳥根	コシヒカリ	-	-	-	-	-	15,292	20,744	14,978	138%	-	-	107	9,326	11,156	84%			
鳥根	つや姫	-	-	-	-	-	14,862	20,441	14,743	139%	-	-	126	4,761	5,039	94%			
岡山	アケボノ	-	-	-	-	-	-	24,993	13,208	189%	-	-	-	-	4,216	5,057	83%		
岡山	きぬむすめ	-	-	-	-	-	13,870	23,423	13,793	170%	-	-	144	7,175	5,065	142%			
岡山	コシヒカリ	27,809	126	-	-	186%	14,881	24,263	14,533	167%	-	-	81%	156	5,736	4,370	131%		
広島	コシヒカリ	25,268	229	23,625	107%	177%	14,267	22,326	14,550	153%	354	65%	20%	1,164	8,406	9,451	89%		
広島	あきさかり	23,157	165	22,615	102%	177%	13,070	21,006	13,857	152%	197	84%	34%	488	3,703	4,417	84%		
広島	あきろまん	-	-	23,084	-	-	13,840	21,486	13,956	154%	140	-	-	113	1,873	1,727	108%		
山口	コシヒカリ	-	-	-	-	-	15,121	22,580	14,918	151%	-	-	-	102	5,632	7,158	79%		
山口	ひとめぼれ	23,377	227	-	-	-	-	22,060	14,071	157%	-	-	-	-	5,063	6,479	78%		
山口	きぬむすめ	23,278	181	-	-	167%	13,899	22,220	14,000	159%	-	-	121%	149	5,588	6,098	92%		
徳島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	23,206	14,137	164%	-	-	-	-	5,221	2,016	259%		
徳島	あきさかり	-	-	-	-	-	-	22,630	13,426	169%	-	-	-	-	1,773	2,258	79%		
香川	コシヒカリ	-	-	-	-	-	15,325	22,515	15,325	147%	-	-	463	4,517	5,586	81%			
香川	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	14,569	22,552	14,569	155%	-	-	394	2,555	4,971	51%			
香川	あきさかり	-	-	-	-	-	14,245	22,127	14,245	155%	-	-	293	2,187	4,042	54%			
愛媛	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	21,308	14,310	149%	-	-	-	-	2,640	3,672	72%		
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	23,601	13,878	170%	-	-	-	-	497	911	55%		
愛媛	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	20,892	13,596	154%	-	-	-	-	312	894	35%		
高知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	22,339	14,922	150%	-	-	-	-	8,229	6,057	136%		
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	21,367	13,634	157%	-	-	-	-	791	1,036	76%		
福岡	夢つし	26,866	293	26,823	99%	173%	15,451	23,627	15,458	153%	178	165%	87%	338	11,477	16,304	70%		
福岡	ヒノヒカリ	26,188	127	-	-	177%	14,773	24,522	14,139	173%	-	-	79%	161	9,474	12,505	76%		
福岡	元気つし	26,927	308	26,971	100%	172%	15,664	25,199	15,434	163%	158	195%	67%	459	13,009	16,139	81%		
佐賀	さがびより	22,136	790	22,188	100%	153%	14,464	22,279	14,873	150%	892	89%	75%	1,060	8,989	10,989	82%		
佐賀	夢しずく	21,387	293	21,721	98%	155%	13,801	21,721	14,377	151%	220	133%	36%	819	4,675	8,791	53%		
佐賀	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	14,121	-	-	-	-	-	-	1,309	-		
長崎	にこまる	-	-	-	-	-	-	24,175	14,584	166%	-	-	-	-	1,981	4,172	47%		
長崎	なつほのか	-	-	-	-	-	-	23,777	14,209	167%	-	-	-	-	1,218	2,256	54%		
長崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	23,569	14,331	164%	-	-	-	-	811	1,615	50%		
熊本	ヒノヒカリ	26,589	144	27,367	97%	178%	14,948	25,953	14,821	175%	168	86%	39%	372	1,831	3,967	46%		
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	-	-	-	14,442	-	-	-	-	-	-	189	-		
熊本	コシヒカリ	25,435	145	25,523	100%	-	-	24,287	15,242	159%	253	57%	-	-	2,545	2,448	104%		
大分	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	24,252	14,454	168%	-	-	-	-	3,485	5,668	61%		
大分	なつほのか	-	-	-	-	-	-	24,366	-	-	-	-	-	-	1,640	-	-		
大分	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	24,229	14,574	166%	-	-	-	-	945	1,578	60%		
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	22,600	14,582	155%	-	-	-	-	4,405	4,610	96%		
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	27,076	15,219	178%	-	-	-	-	6,952	3,488	199%		
鹿児島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	14,788	29,513	14,763	200%	-	-	-	119	387	1,273	30%		
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	-	32,700	15,115	216%	-	-	-	-	269	1,566	17%		
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	21,140	14,670	144%	-	-	-	-	771	1,774	43%		
全銘柄平均価格、合計数量		26,918	40,438	27,613	97%	172%	15,626	24,790	15,315	162%	34,512	117%	59%	68,810	1,654,815	1,584,865	104%		

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。

3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。

6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（6年産は速報値）。

7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。

8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産米の年産平均価格について、令和6年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和5年産米は、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄であり、価格の公表を行わないもの。

9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

10 政府備蓄米を含む。（なお、産地区分のない、福島県産コシヒカリは「コシヒカリ（中通り）」に、新潟県産コシヒカリは「コシヒカリ（一般）」に含めて算定している。）

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和7年7月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

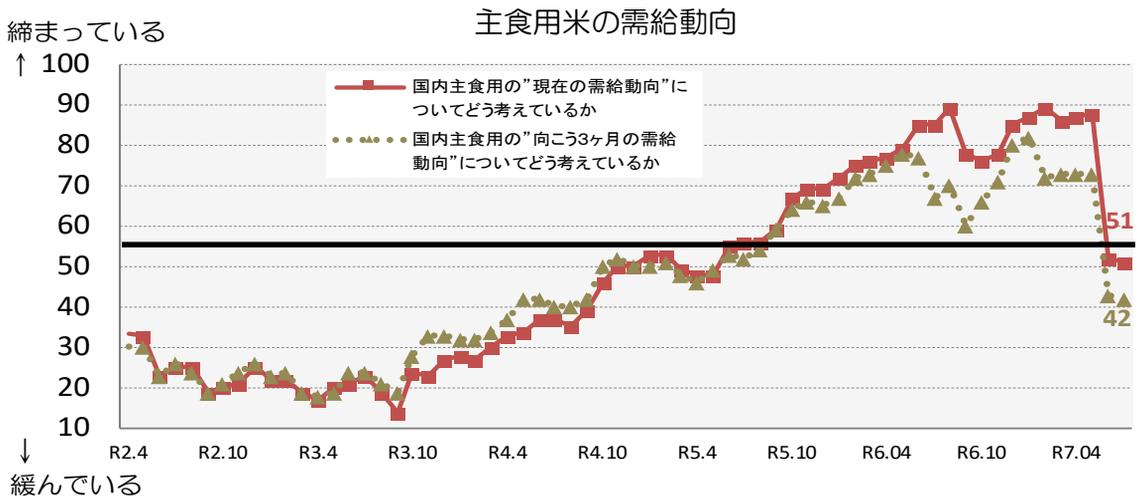
- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和7年7月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて▲1ポイントの「横ばい」、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲1ポイントの「横ばい」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて▲6ポイントの「減少」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+11ポイントの「大幅に増加」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断 D I 前回からの増減 ▲1（今月の数値 51）

(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月） 前回からの増減 ▲1（今月の数値 42）

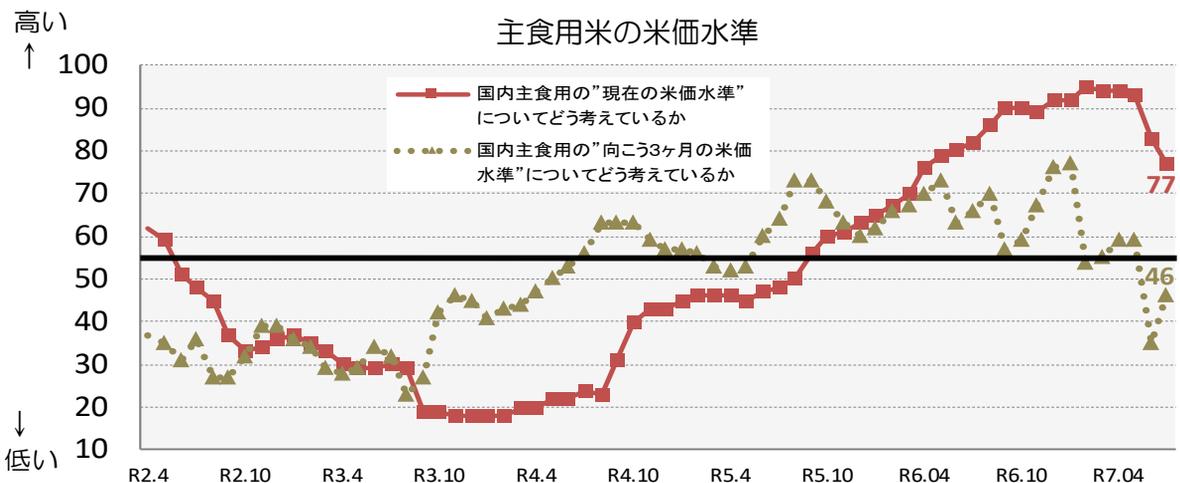


※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「縮まっている」/「(将来)縮まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断 D I 前回からの増減 ▲6（今月の数値 77）

(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月） 前回からの増減 +11（今月の数値 46）



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

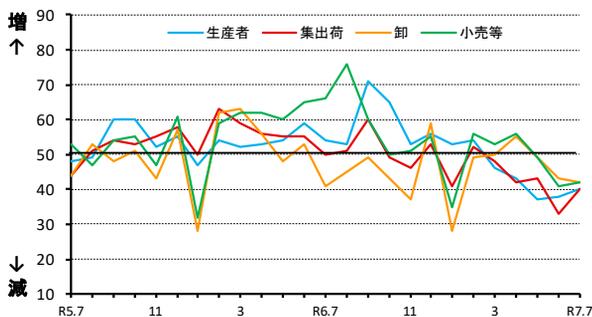
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+ 2	(今月の数値	4 0)
集出荷：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	4 0)
卸：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	4 2)
小売等：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	4 2)

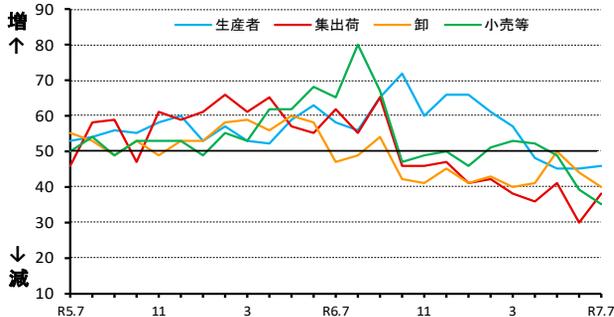
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	4 6)
集出荷：前回からの増減	+ 8	(今月の数値	3 8)
卸：前回からの増減	▲ 4	(今月の数値	4 0)
小売等：前回からの増減	▲ 4	(今月の数値	3 5)

①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、 "先月と比較"するといかがですか。



①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、 "前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

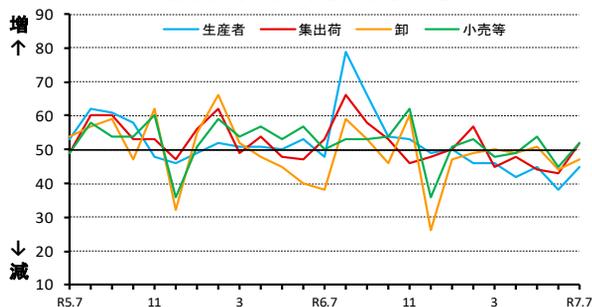
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	4 5)
集出荷：前回からの増減	+ 9	(今月の数値	5 2)
卸：前回からの増減	+ 3	(今月の数値	4 7)
小売等：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	5 2)

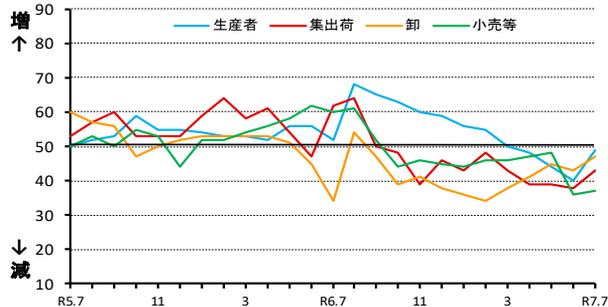
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+ 9	(今月の数値	4 9)
集出荷：前回からの増減	+ 5	(今月の数値	4 3)
卸：前回からの増減	+ 4	(今月の数値	4 7)
小売等：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	3 7)

①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、 "今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、 "前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

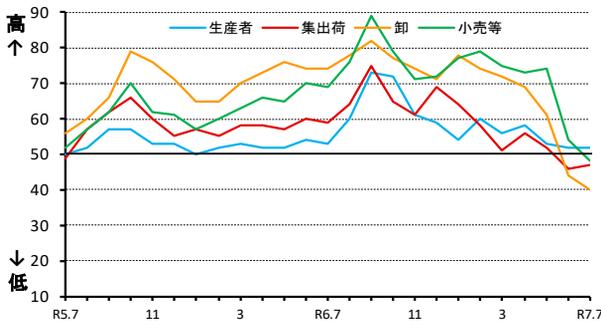
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ±0 (今月の数値 52)
 集出荷：前回からの増減 +1 (今月の数値 47)
 卸：前回からの増減 ▲4 (今月の数値 40)
 小売等：前回からの増減 ▲6 (今月の数値 48)

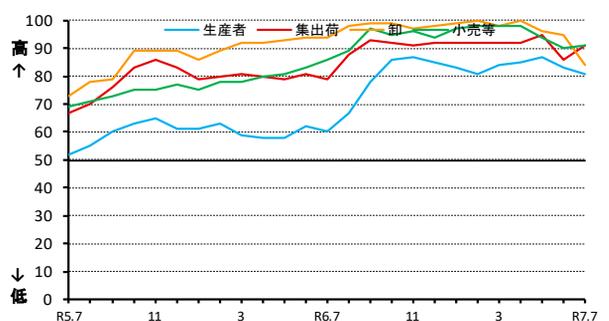
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲2 (今月の数値 81)
 集出荷：前回からの増減 +5 (今月の数値 91)
 卸：前回からの増減 ▲11 (今月の数値 84)
 小売等：前回からの増減 +1 (今月の数値 91)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

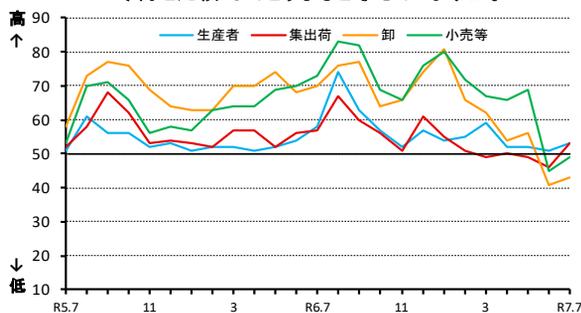
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 +2 (今月の数値 53)
 集出荷：前回からの増減 +7 (今月の数値 53)
 卸：前回からの増減 +2 (今月の数値 43)
 小売等：前回からの増減 +4 (今月の数値 49)

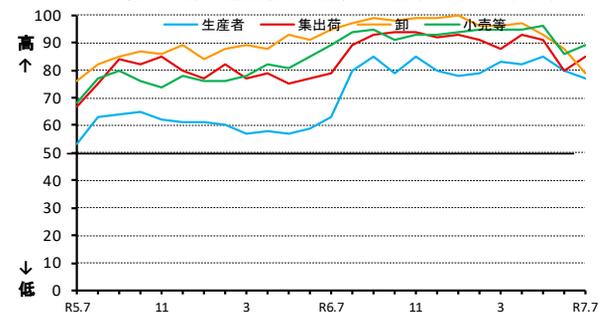
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲3 (今月の数値 77)
 集出荷：前回からの増減 +5 (今月の数値 85)
 卸：前回からの増減 ▲9 (今月の数値 79)
 小売等：前回からの増減 +3 (今月の数値 89)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

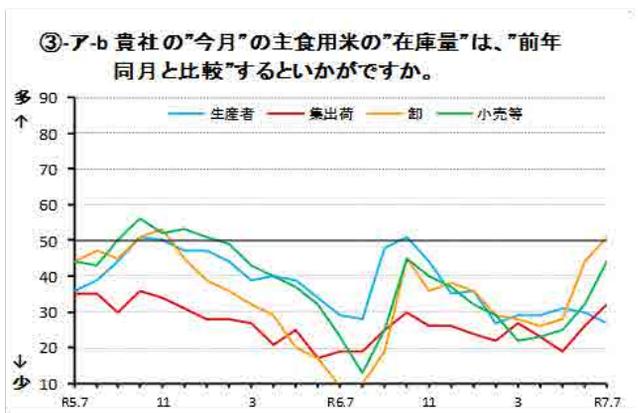
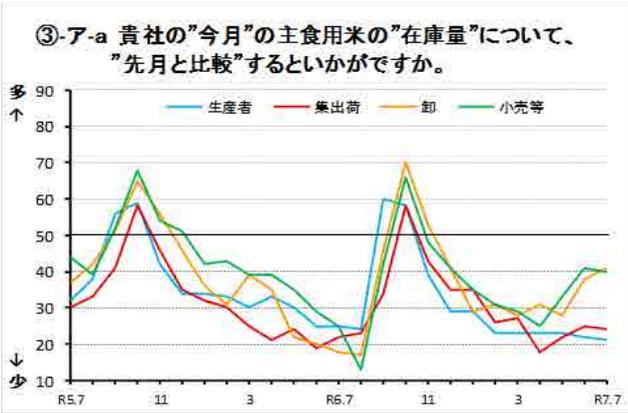
(ア) 今月の在庫量に関する現状判断DI

a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	2 1)
集出荷：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	2 4)
卸：前回からの増減	+ 3	(今月の数値	4 1)
小売等：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	4 0)

b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 3	(今月の数値	2 7)
集出荷：前回からの増減	+ 6	(今月の数値	3 2)
卸：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	5 1)
小売等：前回からの増減	+12	(今月の数値	4 4)



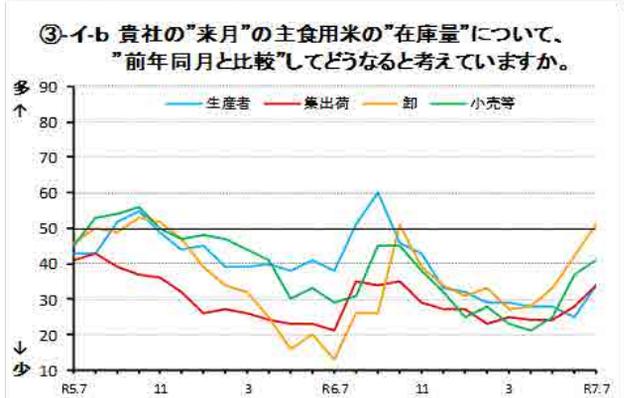
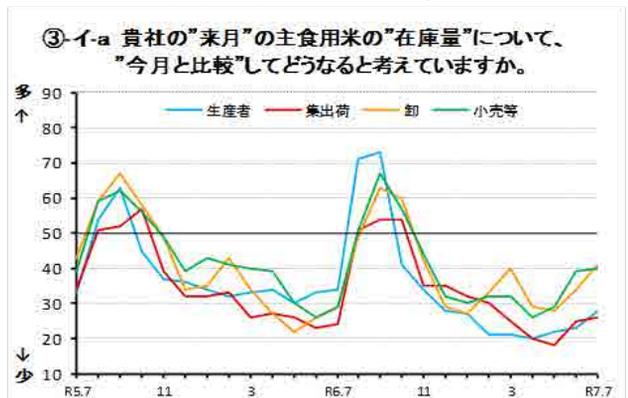
(イ) 来月の在庫量に関する見通しDI

a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+ 5	(今月の数値	2 8)
集出荷：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	2 6)
卸：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	4 1)
小売等：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	4 0)

b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+ 9	(今月の数値	3 4)
集出荷：前回からの増減	+ 6	(今月の数値	3 4)
卸：前回からの増減	+ 9	(今月の数値	5 1)
小売等：前回からの増減	+ 4	(今月の数値	4 1)



取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R5.7	3%	30%	1%	48%	14%	3%	1%
R5.8	11%	26%	3%	44%	8%	3%	5%
R5.9	20%	18%	1%	44%	9%	5%	2%
R5.10	24%	21%	1%	42%	8%	3%	1%
R5.11	22%	19%	1%	44%	10%	4%	0%
R5.12	12%	23%	3%	46%	12%	4%	0%
R6.1	9%	28%	2%	46%	10%	3%	2%
R6.2	9%	27%	1%	51%	8%	4%	0%
R6.3	7%	29%	0%	53%	8%	2%	1%
R6.4	3%	29%	2%	52%	9%	3%	1%
R6.5	6%	30%	1%	55%	4%	2%	1%
R6.6	5%	34%	1%	49%	7%	3%	1%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R6.7	6%	35%	3%	46%	7%	3%	1%
R6.8	2%	43%	2%	45%	5%	1%	1%
R6.9	6%	24%	1%	52%	11%	3%	2%
R6.10	7%	22%	2%	54%	10%	3%	2%
R6.11	10%	17%	2%	53%	12%	6%	1%
R6.12	3%	26%	2%	57%	7%	3%	1%
R7.1	1%	25%	7%	54%	7%	4%	3%
R7.2	0%	24%	28%	40%	4%	3%	1%
R7.3	3%	32%	17%	42%	2%	2%	1%
R7.4	1%	31%	19%	42%	4%	3%	1%
R7.5	1%	29%	21%	41%	5%	4%	0%
R7.6	1%	18%	49%	26%	5%	1%	1%
R7.7	5%	24%	21%	42%	4%	2%	2%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、令和5年4月にアンケート対象事業者の一部入替を行いました。

○有効回答数：141客体

- 生産者・・・・・・・・・・27
- 集出荷業者／団体・・・・・・・・24
- 卸売業者（主に主食用米）・・・・26
- 小売業者／中食・外食業者・・・・49
- その他・・・・・・・・・・15

※「その他」は以下の業者です。
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《D I の算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてD I を算出します。

ただし、D I の推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じD I が観測されることに注意が必要です。

（D I の算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

3 米の契約・販売情報

1 事前契約（播種前契約）の取組状況

(1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移

米の事前契約について、農林水産省では需要に応じた生産・販売に繋げていく観点から、「米取引の事前契約研究会」での議論等も踏まえ、「収穫前契約から播種前契約への転換」、「実需と結びついた契約の拡大」を推進しています。

これに伴い、今後の事前契約の取組状況については、従来の「収穫前契約」に代えて、「播種前契約」に関する取組状況を掲載することとします。

【米取引の事前契約研究会ページ】

<https://www.maff.go.jp/j/syuan/keikaku/soukatu/jizenn.html>

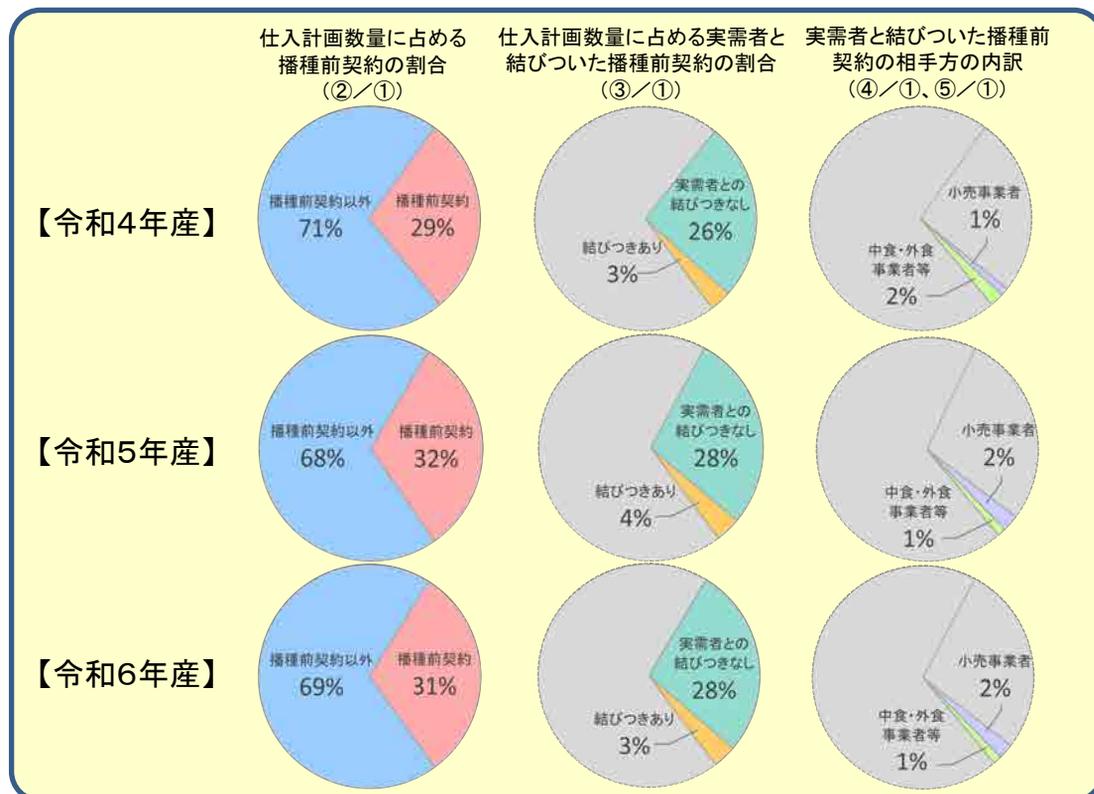
- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 6年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は31%。6年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は3%。

【播種前契約の状況】

(単位:千トン)

年産	仕入計画数量 ①	播種前契約数量 ②	うち実需者との結びつき		
			計 ③	中食・外食等 ④	小売 ⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)
6年産	3,549	1,104 (31%)	123 (3%)	44 (1%)	79 (2%)

【近年の播種前契約の状況】



注1：調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。

注2：仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。

注3：播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの)の数量をいう。

注4：中食・外食等は、小売以外の実需者(学校給食や事業所給食など)との契約を含む。

注5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和5・6年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

（単位：千玄米トン、％）

	5年産				6年産			
	仕入計画 数量 ①	うち播種前契約		うち 複数年契約 契約数量 ③	仕入計画 数量 ④	うち播種前契約		うち複数年契約 契約数量（前年差） ⑥
		契約数量 ②	契約比率 ②/① 44%			契約数量（前年差） ⑤	契約比率（前年差） ⑤/④	
北海道	369	164	44%	162	385	176 (+13)	46% (+2%)	176 (+15)
青森	171	36	21%	29	181	41 (+5)	23% (+2%)	34 (+5)
岩手	157	65	41%	65	138	67 (+2)	48% (+7%)	62 (▲2)
宮城	184	143	78%	93	186	125 (▲18)	67% (▲11%)	101 (+8)
秋田	299	142	47%	109	285	130 (▲12)	46% (▲2%)	114 (+5)
山形	242	60	25%	45	244	54 (▲6)	22% (▲3%)	41 (▲4)
福島	172	31	18%	31	194	40 (+9)	21% (+2%)	37 (+6)
茨城	131	33	25%	3	124	26 (▲7)	21% (▲4%)	1 (▲1)
栃木	136	72	53%	59	169	59 (▲13)	35% (▲18%)	59 (+0)
群馬	27	7	24%	-	26	5 (▲1)	20% (▲4%)	- -
埼玉	53	8	15%	1	40	8 (+0)	20% (+5%)	1 (▲0)
千葉	111	15	13%	8	118	10 (▲5)	8% (▲5%)	8 (+0)
東京	-	-	-	-	-	- -	- -	- -
神奈川	3	-	-	-	4	- -	- -	- -
山梨	5	-	-	-	6	- -	- -	- -
長野	87	38	43%	37	95	37 (▲1)	39% (▲5%)	37 (▲1)
静岡	13	-	-	-	13	- -	- -	- -
新潟	369	109	30%	73	347	117 (+7)	34% (+4%)	79 (+6)
富山	100	-	-	-	95	0 -	0% -	0 -
石川	65	11	17%	-	66	17 (+5)	26% (+8%)	- -
福井	51	7	13%	5	49	7 (+0)	15% (+2%)	7 (+2)
岐阜	18	11	63%	5	34	10 (▲1)	30% (▲33%)	3 (▲2)
愛知	43	2	4%	1	48	1 (▲1)	2% (▲2%)	0 (▲1)
三重	45	30	67%	-	44	28 (▲2)	65% (▲3%)	- -
滋賀	46	28	61%	5	59	20 (▲8)	34% (▲27%)	8 (+4)
京都	18	5	28%	1	18	3 (▲1)	19% (▲9%)	1 (▲0)
大阪	3	-	-	-	2	- -	- -	- -
兵庫	60	17	29%	-	37	16 (▲1)	43% (+14%)	- -
奈良	10	-	-	-	10	- -	- -	- -
和歌山	2	-	-	-	3	- -	- -	- -
鳥取	26	2	8%	-	25	0 (▲2)	1% (▲7%)	0 -
島根	33	-	-	-	35	- -	- -	- -
岡山	39	-	-	-	42	1 -	1% -	1 -
広島	36	22	61%	-	40	22 (+0)	55% (▲6%)	- -
山口	41	19	47%	0	40	14 (▲5)	35% (▲12%)	0 (▲0)
徳島	16	4	23%	-	16	- -	- -	- -
香川	20	-	-	-	20	- -	- -	- -
愛媛	16	7	44%	-	16	7 (+0)	44% (+0%)	- -
高知	12	-	-	-	9	- -	- -	- -
福岡	63	1	2%	-	64	31 (+30)	49% (+47%)	- -
佐賀	35	14	39%	12	41	18 (+4)	44% (+5%)	15 (+4)
長崎	10	7	76%	-	10	7 (▲0)	70% (▲5%)	- -
熊本	57	-	-	-	58	- -	- -	- -
大分	20	4	23%	1	22	7 (+3)	33% (+10%)	1 (+0)
宮崎	26	-	-	-	33	- -	- -	- -
鹿児島	21	-	-	-	24	- -	- -	- -
沖縄	1	-	-	-	1	- -	- -	- -
全 国	3,504	1,115	32%	745	3,549	1,104 (▲11)	31% (▲1%)	788 (+44)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。
 2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。
 3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの。）をいう。
 4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。
 5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。
 6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

2 令和6年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和7年6月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量		販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考:前年同月比 (5年産の同時期との比較)		
			②	契約 比率 ②/①			集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	103	286.8	280.4	98%	207.9	73%	102%	104%	100%
ななつぼし		136.3	133.7	98%	97.7	72%	102%	102%	95%
ゆめぴりか		79.7	77.1	97%	58.3	73%	100%	107%	101%
きらら397		20.8	20.7	100%	13.4	64%	111%	112%	163%
青森	103	120.5	115.0	95%	87.0	72%	108%	107%	108%
まっしぐら		92.2	89.1	97%	67.0	73%	111%	111%	118%
つがるロマン		0.0	0.0	100%	0.0	100%	0%	0%	0%
岩手	106	106.7	102.2	96%	76.3	72%	95%	95%	113%
ひとめぼれ		79.0	74.8	95%	56.0	71%	94%	92%	116%
銀河のしずく		17.9	17.6	99%	12.8	72%	120%	123%	128%
あきたこまち		5.6	5.6	100%	4.6	82%	68%	68%	80%
宮城	107	149.8	144.5	96%	89.6	60%	95%	95%	90%
ひとめぼれ		111.4	108.1	97%	61.4	55%	94%	94%	85%
つや姫		13.4	12.8	95%	8.5	64%	90%	89%	88%
ササニシキ		8.8	8.6	99%	6.6	75%	95%	95%	93%
秋田	102	216.8	267.2	123%	153.5	71%	98%	111%	89%
あきたこまち		169.1	215.9	128%	123.8	73%	93%	107%	85%
ひとめぼれ		18.5	20.4	110%	9.9	53%	109%	117%	94%
めんこいな		10.9	11.9	109%	7.7	71%	166%	180%	139%
山形	97	178.4	161.6	91%	115.5	65%	99%	97%	91%
はえぬぎ		96.3	87.1	90%	59.1	61%	101%	98%	92%
つや姫		40.1	37.7	94%	29.3	73%	96%	91%	86%
雪若丸		23.6	19.3	82%	13.2	56%	107%	110%	101%
福島	102	141.5	133.3	94%	94.4	67%	114%	105%	131%
コシヒカリ(中通り)		36.0	34.5	96%	22.3	62%	92%	86%	88%
コシヒカリ(会津)		25.7	24.6	95%	13.0	51%	88%	81%	100%
コシヒカリ(浜通り)		3.9	3.8	97%	2.2	55%	77%	68%	70%
ひとめぼれ		26.7	23.7	89%	19.7	74%	119%	101%	168%
天のつぶ		34.1	32.4	95%	24.4	72%	195%	183%	203%
茨城	103	58.8	58.8	100%	52.2	89%	92%	92%	96%
コシヒカリ		34.8	34.9	100%	31.0	89%	78%	78%	84%
あきたこまち		7.4	7.4	100%	7.2	97%	101%	102%	104%
にじのきらめき		9.1	9.1	100%	7.3	80%
栃木	101	88.3	83.2	94%	61.2	69%	83%	87%	97%
コシヒカリ		61.7	58.7	95%	45.0	73%	73%	77%	88%
とちぎの星		16.4	15.4	94%	10.1	61%	132%	138%	157%
あさひの夢		4.2	3.9	93%	2.0	48%	120%	137%	124%
群馬	100	13.9	10.7	77%	7.3	52%	81%	75%	65%
あさひの夢		9.5	7.9	83%	5.1	54%	81%	81%	65%
ゆめまつり		0.9	0.5	55%	0.3	33%	60%	42%	37%
埼玉	97	7.7	11.5	150%	6.3	81%	48%	75%	50%
彩のきずな		3.3	4.7	142%	2.7	81%	54%	86%	65%
彩のかがやき		1.3	2.5	202%	0.6	52%	28%	56%	19%
コシヒカリ		1.7	2.8	169%	1.6	95%	52%	91%	60%
千葉	105	57.9	57.6	99%	53.1	92%	97%	101%	96%
コシヒカリ		26.9	26.8	99%	24.8	92%	87%	90%	86%
ふさこがね		14.6	14.5	100%	13.5	93%	129%	137%	137%
ふさおとめ		10.2	9.8	96%	9.5	93%	98%	97%	95%
東京	100	-	-	-	-	-
神奈川	97	2.3	2.1	93%	2.1	93%	66%	76%	76%
山梨	100	4.3	3.0	71%	3.0	71%	78%	83%	83%
コシヒカリ		3.7	2.7	73%	2.7	73%	76%	89%	89%
長野	101	57.2	56.5	99%	38.2	67%	91%	90%	102%
コシヒカリ		45.7	45.2	99%	29.1	64%	90%	90%	102%
あきたこまち		5.2	5.1	98%	4.3	82%	86%	85%	106%
静岡	95	4.8	7.2	151%	3.7	77%	62%	94%	48%
コシヒカリ		3.2	4.5	140%	2.5	77%	70%	98%	54%
きぬむすめ		0.6	1.2	196%	0.5	78%	47%	92%	37%
にこまる		0.3	0.4	150%	0.2	68%	58%	87%	40%

注:本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考:前年同月比 (5年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	98	273.3	268.2	98%	204.0	75%	100%	100%	100%
コシヒカリ(一般)		121.3	119.6	99%	88.9	73%	89%	89%	92%
コシヒカリ(魚沼)		31.4	29.2	93%	23.8	76%	96%	94%	91%
コシヒカリ(佐渡)		12.2	12.1	99%	7.4	61%	95%	92%	78%
コシヒカリ(岩船)		10.7	10.7	100%	7.6	71%	92%	92%	80%
こしいぶき		48.1	47.6	99%	38.8	81%	133%	136%	145%
富山	99	79.1	76.8	97%	56.9	72%	100%	100%	101%
コシヒカリ		47.7	45.9	96%	35.8	75%	86%	85%	86%
てんたかく		10.4	10.4	100%	8.7	84%	152%	154%	168%
石川	99	28.0	31.5	112%	19.2	69%	89%	100%	96%
コシヒカリ		10.3	11.1	108%	7.3	71%	69%	74%	81%
ゆめみづほ		7.4	7.5	101%	4.3	58%	167%	176%	159%
福井	102	46.3	45.2	98%	35.7	77%	97%	98%	94%
コシヒカリ		15.8	16.1	102%	11.8	74%	84%	86%	78%
ハナエチゼン		14.2	14.4	102%	12.1	86%	107%	110%	105%
あきさかり		4.3	4.5	104%	2.7	63%	90%	94%	89%
岐阜	100	12.9	13.9	108%	9.8	76%	63%	68%	64%
ハツシモ		4.5	4.9	110%	3.0	67%	51%	54%	52%
コシヒカリ		3.8	4.0	105%	3.0	80%	77%	85%	76%
ほしじるし		1.5	1.8	122%	1.3	88%	67%	68%	65%
愛知	99	27.4	27.4	100%	20.3	74%	83%	83%	82%
あいちのかおり		14.4	14.4	100%	10.1	70%	84%	84%	88%
コシヒカリ		7.1	7.1	100%	5.6	80%	73%	73%	67%
大地の風		1.1	1.1	100%	0.9	80%	115%	115%	115%
三重	98	16.2	21.5	132%	12.6	78%	71%	94%	66%
コシヒカリ(一般)		6.7	11.7	176%	5.6	84%	65%	112%	64%
コシヒカリ(伊賀)		4.3	4.6	106%	3.6	83%	73%	78%	79%
キヌヒカリ		0.6	1.2	201%	0.4	72%	54%	109%	48%
滋賀	100	45.9	46.0	100%	37.2	81%	82%	93%	86%
コシヒカリ		16.5	16.8	101%	13.5	82%	85%	92%	83%
キヌヒカリ		7.3	7.2	98%	6.1	83%	75%	87%	79%
みずかがみ		9.3	9.2	99%	7.7	83%	81%	93%	87%
京都	104	6.7	6.3	94%	5.0	76%	78%	78%	71%
コシヒカリ		3.9	3.8	98%	3.0	79%	81%	83%	76%
キヌヒカリ		0.8	0.8	98%	0.7	88%	59%	69%	61%
ヒノヒカリ		0.8	0.7	89%	0.5	64%	67%	60%	51%
大阪	99	-	-	-	-	-	---	---	---
兵庫	99	17.2	19.4	113%	12.6	73%	71%	89%	67%
コシヒカリ		8.1	9.8	121%	7.0	86%	74%	92%	74%
ヒノヒカリ		2.4	3.0	123%	1.4	60%	54%	85%	53%
キヌヒカリ		2.8	3.1	110%	2.1	77%	82%	105%	78%
奈良	103	6.6	5.6	85%	5.6	85%	66%	78%	78%
ヒノヒカリ		5.5	4.6	84%	4.6	84%	66%	78%	78%
和歌山	102	0.8	0.8	100%	0.6	73%	52%	52%	54%
鳥取	99	23.8	18.7	78%	17.2	72%	95%	89%	87%
きぬむすめ		7.8	5.1	66%	5.9	76%	99%	80%	97%
コシヒカリ		5.3	4.9	93%	4.3	80%	79%	88%	79%
ひとめぼれ		3.6	3.4	92%	2.8	77%	103%	108%	95%
島根	100	28.2	28.0	99%	21.5	76%	89%	90%	85%
きぬむすめ		12.4	12.3	99%	8.5	68%	90%	92%	79%
コシヒカリ		9.3	9.3	100%	7.8	84%	83%	84%	85%
つや姫		4.8	4.8	99%	3.9	81%	94%	94%	100%
岡山	99	33.8	33.8	100%	18.6	55%	93%	108%	80%
アケボノ		5.8	5.8	100%	2.6	44%	84%	91%	60%
きぬむすめ		6.6	6.6	100%	3.2	48%	92%	119%	80%
コシヒカリ		5.2	5.2	100%	3.7	71%	96%	112%	87%
広島	101	26.4	31.2	118%	23.2	88%	80%	94%	86%
コシヒカリ		10.0	12.9	129%	9.3	93%	76%	101%	84%
あきさかり		5.1	6.6	129%	4.5	89%	78%	88%	83%
あきろまん		2.4	2.7	114%	2.2	92%	78%	83%	80%

注:本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

(単位:千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考:前年同月比 (5年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
山口	103	32.1	32.0	99%	22.5	70%	79%	79%	72%
コシヒカリ		7.3	7.2	99%	6.0	82%	70%	70%	70%
ひとめぼれ		7.5	7.5	100%	5.0	67%	73%	73%	64%
きぬむすめ		7.5	7.5	100%	5.1	68%	93%	93%	84%
徳島	100	3.6	3.6	100%	3.1	87%	75%	75%	74%
コシヒカリ		1.4	1.4	100%	1.4	95%	71%	71%	77%
あきさかり		1.8	1.8	100%	1.4	77%	79%	79%	72%
香川	100	16.0	21.0	132%	13.1	82%	82%	100%	81%
コシヒカリ		4.1	6.0	146%	3.9	96%	76%	100%	82%
ヒノヒカリ		4.7	6.0	127%	3.5	74%	89%	100%	82%
あきさかり		3.2	4.0	126%	2.5	78%	81%	100%	75%
愛媛	102	7.2	6.8	95%	5.9	83%	63%	63%	77%
コシヒカリ		2.5	2.5	99%	2.4	96%	64%	65%	73%
ヒノヒカリ		0.8	0.7	92%	0.7	86%	47%	51%	58%
あきたこまち		0.3	0.3	100%	0.2	92%	27%	24%	36%
高知	100	7.8	7.0	90%	7.7	99%	85%	76%	85%
コシヒカリ		5.4	5.4	100%	5.4	100%	86%	86%	86%
ヒノヒカリ		1.0	0.2	23%	1.0	94%	80%	18%	79%
福岡	98	41.4	39.6	96%	31.1	75%	78%	77%	80%
夢つくし		11.9	11.5	97%	10.3	86%	70%	70%	72%
ヒノヒカリ		10.3	10.0	97%	7.1	69%	76%	75%	76%
元氣つくし		14.7	13.7	93%	10.8	73%	85%	83%	88%
佐賀	99	30.0	29.9	100%	21.4	72%	85%	85%	85%
さがびより		13.6	13.6	100%	9.1	67%	90%	87%	90%
夢しずく		9.7	9.7	100%	7.5	77%	86%	85%	89%
ヒノヒカリ		3.7	3.7	100%	2.2	60%	69%	69%	59%
長崎	102	6.2	7.1	114%	3.8	61%	64%	74%	54%
にこまる		2.4	3.2	131%	1.5	60%	58%	77%	54%
なつほのか		1.5	1.9	125%	0.7	47%	67%	85%	39%
ヒノヒカリ		0.9	1.0	111%	0.6	64%	55%	61%	58%
熊本	102	24.9	18.9	76%	18.9	76%	79%	79%	79%
ヒノヒカリ		8.0	5.8	73%	5.8	73%	70%	68%	68%
森のくまさん		3.2	2.3	71%	2.3	71%	75%	74%	74%
コシヒカリ		4.7	4.0	84%	4.0	84%	87%	86%	86%
大分	101	9.5	10.7	113%	7.0	74%	69%	94%	69%
ヒノヒカリ		3.8	4.3	114%	2.7	72%	63%	84%	61%
なつほのか		1.7	2.4	143%	1.2	71%
ひとめぼれ		1.3	1.4	109%	1.0	78%	69%	79%	73%
宮崎	97	8.6	8.6	100%	8.2	96%	85%	88%	85%
コシヒカリ		4.4	4.4	100%	4.4	100%	96%	96%	96%
ヒノヒカリ		3.5	3.5	100%	3.2	90%	80%	86%	77%
鹿児島	97	8.5	8.5	100%	8.1	94%	67%	67%	66%
ヒノヒカリ		2.5	2.5	100%	2.3	91%	58%	58%	55%
あきほなみ		1.6	1.6	100%	1.4	85%	51%	51%	48%
コシヒカリ		2.4	2.4	100%	2.4	100%	81%	81%	81%
沖縄	105	1.1	1.1	100%	1.1	100%	94%	94%	94%
全国①	101	2,428	2,426	100%	1,765	73%	95%	97%	94%
前年同月(令和5年産)②		2,566	2,488	97%	1,870	73%			
前年同月差(①-②)		▲138	▲62	+3%	▲105	+0%			
備蓄米(令和6年産)		140			124				

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考:前年同月比」で、令和6年産又は令和5年産の同時期に数量がなかった場合は、「...」としている。

10 売り渡した政府備蓄米の数量を含む。(なお、産地区分のない、福島県産コシヒカリは「コシヒカリ(中通り)」に、新潟県産コシヒカリは「コシヒカリ(一般)」に含めて集計している。)

11 (参考)備蓄米(令和6年産)は、売り渡した政府備蓄米の販売数量等の報告結果の3月分から6月分までの数量である。

3 令和6年産備蓄米の政府買入入札結果

令和6年産備蓄米の政府買入入札は、全7回を実施。
買入予定数量205,509トンに対して、172,016トン（83.7%）の落札。

令和6年産備蓄米の買入入札結果

(単位:トン)

産地	買入予定数量 (優先枠) ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
北海道	4,686	4,686	100.0%
青森	28,586	24,416	85.4%
岩手	3,415	3,415	100.0%
宮城	11,276	11,276	100.0%
秋田	21,322	14,512	68.1%
山形	20,195	20,195	100.0%
福島	26,313	26,313	100.0%
茨城	1,086	616	56.7%
栃木	6,184	5,773	93.4%
群馬			
埼玉	204	204	100.0%
千葉	662	642	97.0%
東京			
神奈川			
新潟	24,499	24,499	100.0%
富山	11,880	10,261	86.4%
石川	7,841	874	11.1%
福井	4,597	2,500	54.4%
山梨			
長野	1,449	1,352	93.3%
岐阜	423	423	100.0%
静岡	19	19	100.0%
愛知	835	722	86.5%
三重	262	-	0.0%
滋賀	1,327	1,159	87.3%
京都			
大阪			

産地	買入予定数量 (優先枠) ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
兵庫			
奈良			
和歌山			
鳥取	389	389	100.0%
島根	126	126	100.0%
岡山	822	191	23.2%
広島	28	28	100.0%
山口			
徳島	933	235	25.2%
香川			
愛媛			
高知	10	10	100.0%
福岡	52	35	67.3%
佐賀	214	-	0.0%
長崎			
熊本	274	-	0.0%
大分	91	91	100.0%
宮崎			
鹿児島			
優先枠計 ①	180,000	154,962	86.1%
一般枠 ②	25,509	17,054	66.9%
合計 (①+②)	205,509	172,016	83.7%
うちCPTPP分		5,509	

(参考) 買入入札結果の推移

(単位:トン)

年産	買入予定数量 ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
平成23年産	200,000	67,638	33.8%
平成24年産	200,000	83,390	41.7%
平成25年産	250,000	183,092	73.2%
平成26年産	250,000	250,000	100.0%
平成27年産	250,000	250,000	100.0%
平成28年産	225,000	225,000	100.0%
平成29年産	200,000	197,728	98.9%
平成30年産	200,000	122,949	61.5%
令和元年産	209,140	185,314	88.6%
令和2年産	207,000	207,000	100.0%
令和3年産	207,000	207,000	100.0%
令和4年産	207,000	207,000	100.0%
令和5年産	208,000	201,725	97.0%
令和6年産	205,509	172,016	83.7%

4 政府備蓄米の買戻し条件付売渡し

(1) 入札結果

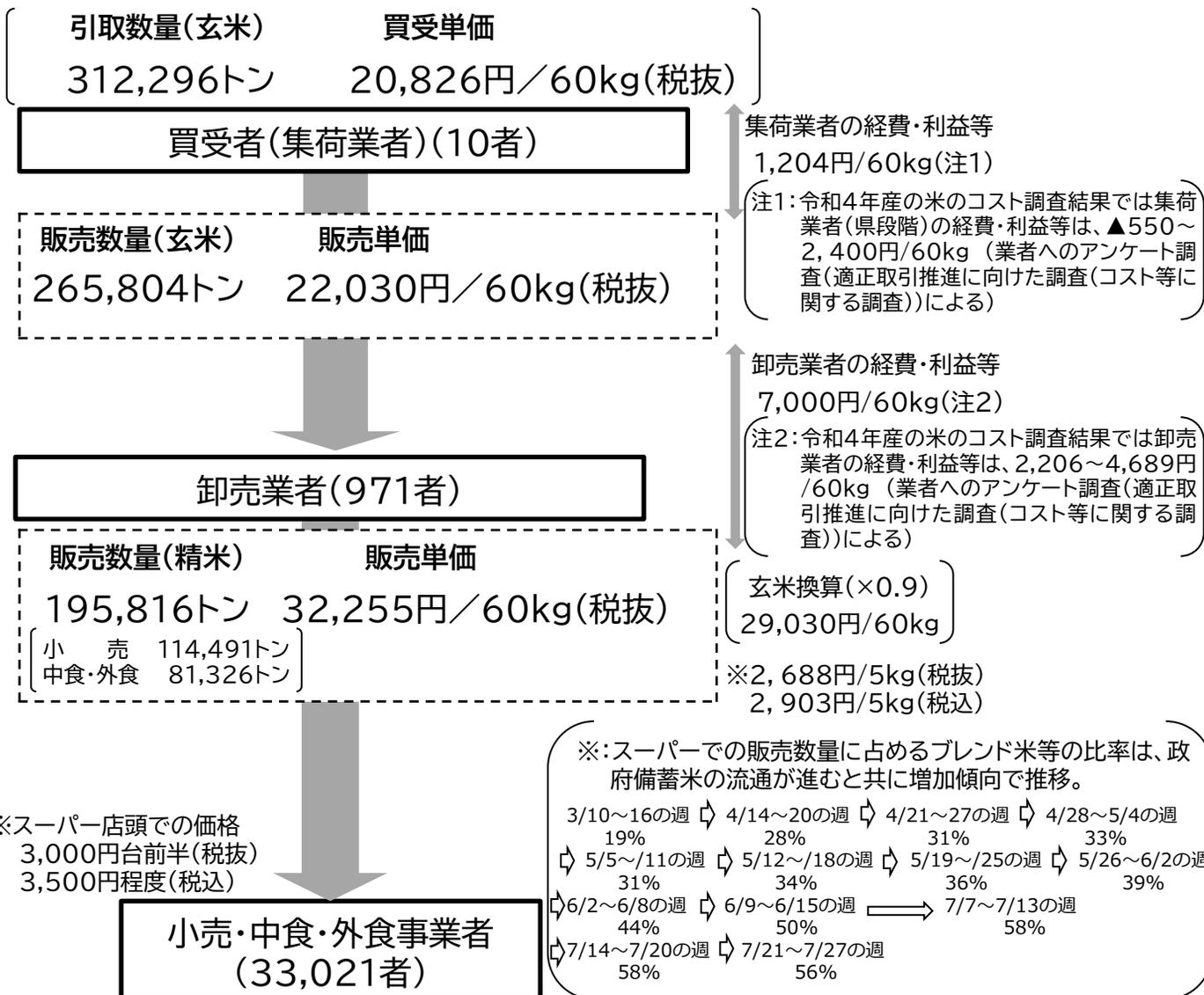
一定期間後に買戻すことを条件として、3回の入札を実施し、約31万トンが落札されています。

回数	実施日	参加者	落札数量	落札価格(※1)
第1回	令和7年3月10日(月)~12日(水)	7事業者	141,796トン	21,217円(税抜き) 22,914円(税込み)
第2回	令和7年3月26日(水)~28日(金)	4事業者	70,336トン	20,722円(税抜き) 22,380円(税込み)
第3回	令和7年4月23日(水)~25日(金)	6事業者	100,164トン	20,302円(税抜き) 21,926円(税込み)
計		10事業者 (※2)	312,296トン	20,812円(税抜き) 22,477円(税込み)

※1：落札された販売区分の加重平均価格であり、容器包装込みの玄米60キログラム当たりの金額

※2：第1回から第3回の合計(ただし、重複を除く)

(2) 政府備蓄米の買戻し条件付売渡しに係る流通実績 (3/17~7/20)



注 事業者数は、異なる買受者から同一の卸売業者、複数の卸売業者から同一の小売・中食・外食事業者への販売もあることから、延べ数としてカウント。販売数量は、実トン。()内の値の販売金額は、60実kg当たりの単価。

5 随意契約による政府備蓄米の売渡し

政府備蓄米を「随意契約（※）」により売渡しています。

※随意契約とは、競争入札によらず、任意に特定の契約の相手方を選定して、その者と契約を締結します。契約の性質又は目的が競争を許さない場合等に認められます。

（１）随意契約による政府備蓄米の売渡しの状況

販売対象者

- ① 大手小売業者
（年間 10,000 トン以上の取扱数量（見込み含む））
- ② 中小小売業者
（年間 1,000 トン以上、10,000 トン未満の取扱数量（見込み含む））（これらの共同購入を含む）
- ③ 精米能力を有する米穀小売店
（これらの共同購入を含む）
- ④ 中食・外食（給食等）事業者
（これらの共同購入を含む）

販売価格（税抜）

令和 4 年産：11,010円／60kg
令和 3 年産：10,080円／60kg
令和 2 年産：9,140円／60kg

買受者からの販売状況の報告・公表

- ・販売数量・金額を隔週で農林水産省へ報告
- ・POSデータを毎週報告（④には求めない）
- ・報告内容は当省で取りまとめ、農林水産省HPで公表

販売対象米穀・数量

(1) 5月26日・27日申込受付

<対象・数量>

- ・①大手小売業者 22万トン（4年産20万トン、3年産2万トン）
→申込確定（6月10日時点）：212,535トン（4年産194,892トン、3年産17,643トン）

(2) 5月30日～申込受付

<対象・数量>

- ・②中小小売業者：6万トン（3年産）
- ・③精米能力を有する米穀小売店：2万トン（3年産）
→申込確定（6月19日時点）：②31,212トン ③13,058トン

(3) 6月11日～申込受付

<対象>

- ・①大手小売業者
- ・②中小小売業者
- ・③精米能力を有する米穀小売店
- ・④中食・外食（給食等）事業者（6月20日～申込受付）

<数量>

3年産10万トン、2年産10万トン

うち3年産10万トンと中小小売業者向けの残余の約2万トン（3年産）を先行して売渡し

→申込確定（8月1日時点）：①21,084トン ②4,930トン ③6,886トン ④11,808トン

(2) 販売状況

- ・ 随意契約により売り渡した政府備蓄米は、販売実績等について隔週・月ごとにとりまとめ、公表しています。
- ・ 8月7日には、7月7日から7月20日期分について下記のとおり公表しました。

(令和7年8月7日公表分)

随意契約による政府備蓄米の売渡しの販売数量等報告結果（隔週の速報） (7/7~7/20期分)

※ 買受金額及び販売金額の「(単価)」の単位は、円/60キログラム(税抜き)とする。
 ※ 買受金額(単価)は、実際に引き渡した備蓄米の年産及び等級間格差を差し引いた加重平均価格であり、国が提示した販売価格と一致しない場合がある。
 ※ 買受数量は、買受資格者から申告のあった数量であり、当該期に国が引き渡した数量と一致しない場合がある。
 ※ 販売実績の「事業者数」は、買受者ごとの報告の積み上げであり、重複して計上される場合がある。
 ※ 5kg詰精米換算(店頭価格)は、報告結果の価格を対象として農林水産省が作成したものである。
 ※ 商取引等に支障を来たすおそれがあるため、買受者数が4者以下の場合にあっては随意契約に係る政府備蓄米買受者数は記載しない(「-」と表記する。);
 ※ ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

I. 買受者：大手・中小小売業者、精米能力を有する米穀小売店

報告期	買受実績			販売実績					
	事業者数 (数)	買受数量 (トン)	買受金額 (単価) (千円)(税抜き)	事業者数 (数)	販売数量 (トン)	販売金額 (単価) (千円)(税抜き)	5kg詰精米換算(販売価格) 最低価格 中央値 最高価格 (円)(税抜き)		
5/26 ~ 6/8	23	16,130	2,953,599 (10,987)	24	1,945	764,414 (23,576)	1,768	1,963	2,000
6/9 ~ 6/22	63	32,005	5,767,529 (10,812)	114	17,797	6,881,258 (23,200)	1,599	1,965	2,037
6/23 ~ 7/6	155	34,398	6,250,837 (10,903)	219	27,010	10,283,164 (22,843)	1,100	1,802	2,195
7/7 ~ 7/20	262	32,471	5,750,682 (10,626)	410	25,958	9,738,814 (22,511)	1,243	1,799	2,213
7/21 ~ 8/3									
8/4 ~ 8/17									
8/18 ~ 8/31									
合計	503	115,005	20,722,646 (10,811)	767	72,710	27,667,650 (22,831)	-	-	-

II. 買受者：外食事業者・中食事業者、給食事業者

報告期	買受実績			使用実績	
	事業者数 (数)	買受数量 (トン)	買受金額 (単価) (千円)(税抜き)	事業者数 (数)	使用数量 (トン)
5/26 ~ 6/8	-	-	-	-	-
6/9 ~ 6/22	-	-	-	-	-
6/23 ~ 7/6	-	-	-	-	-
7/7 ~ 7/20	-	500	84,000 (10,080)	-	193
7/21 ~ 8/3					
8/4 ~ 8/17					
8/18 ~ 8/31					
合計	-	500	84,000 (10,080)	-	193

(3) 随意契約による政府備蓄米の加工原材料用向け販売

販売開始時期

令和7年8月1日から、申込受付開始

販売対象者

「米穀の買入れ・販売等に関する基本要領」（平成21年5月29日付け21総食第113号総合食料局長通知。）第4章I第2の1の(2)及び(3)に規定する加工原材料用の買受資格を有する者であって、加工用米若しくは新規需要米（米粉用米）の令和4年産から6年産までのいずれかで取組実績があり、かつ令和7年産の加工用米若しくは新規需要米（米粉用米）について、取組計画のある者（今回の政府備蓄米の購入契約数量以上に令和8年産の加工用米若しくは新規需要米（米粉用米）の購入を希望する者に限る。）であること。

ただし、産地の都合で令和7年産の取組計画が立てられなかった者については、取組実施主体との取引ができなかった旨の証明をもって申し込みができるものとする。

販売対象米穀・数量等

対象米穀：令和2年産政府備蓄米（玄米（水稻うるち玄米1・2等）、精米）

対象数量：7万5千トン（玄米5万2千トン、精米2万3千トン）

申込限度数量：加工用米及び新規需要米（米粉用米）の令和4年産から6年産までのいずれかの取組契約実績と7年産の取組計画数量の差（7年産不足分）を上限とする。

販売価格：玄米 151,840円／トン（税抜き）
精米 187,460円／トン（税抜き）

引渡期間：令和7年8月21日～令和8年2月末

販売対象用途

加工原材料用の使用用途：基本要領第4章I第1の2の(2)の各号に掲げる使用用途。

- ア 酒類用（焼酎用、泡盛用（沖縄県下の買受資格者に販売する場合に限る。）リキュール類用、スピリッツ用、みりん用、ビール用、雑酒用又は純粋酵母用）
 - イ 調味料用（味噌用、食酢用、醤油用、こうじ（清酒用こうじは除く。）用、たれ調味料用、もろみ（清酒用もろみは除く。）用又は香辛料用）
 - ウ 菓子用（米菓用又は和菓子用）
 - エ 米穀粉用（上新粉やみじん粉等の米穀粉用、乳児穀粉用、玄米粉用又はビーフン粉用）
 - オ 加工品用（甘酒用、玄米茶用、漬物もろみ用、朝食シリアル用、乳児食用、ライススターチ用、味米用、いり玄米スープ用又は水産練製品用）
 - カ 小麦粉混入製品用（米穀粉入りめん用又は米穀粉入りフライ用）
 - キ その他農産局長が必要と認める用途（※）
- （※）清酒用、加工米飯用（肉又は魚、甲殻類、軟体動物その他の水棲動物の混入割合が3%以上（仕込時）である密封包装したレトルト米飯、冷凍米飯等であって、2ヶ月以上の保存に耐えられるもの）、ビタミン強化米用、アルファ化米又はアルファ化米を原料とする製品用、包装もち用又は米穀粉混入製品用

○申込みの確定情報等最新の情報は、下記URL又は右のQRコードから確認できます。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/bichiku_zuikai/zuikai.html



6 令和7年産水稻の生育状況について（令和7年8月1日報告時点）

全国概要

一部地域では、斑点米カメムシ類（イネカメムシを含む）の発生や少雨の影響があるものの、全国的に生育は概ね順調。

（北海道～宮城県）

都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病害虫発生予察注意報・警報発令状況
北海道	出穂期	早7日	生育は気温が高く日照時間が多かったため、平年より早く進んでいる。	特になし	注意報 7月18日アカヒゲホソミドリカスミカメ（全道）
青森県	県全体出穂期	出穂期 始め：早8日 盛期：早7日 終期：早9日	・7月15日の調査結果では、草丈は大幅に長く、㎡当たり茎数は大幅に少なかった。 <本年（平年差・比）> 草丈 81.5cm（119%） 茎数 372本/㎡（79%） 葉数 11.6葉（+0.8葉） ・7月31日現在の県全体の出穂割合は95%であった。 <出穂状況> 始め（5%）：7月23日 最盛期（50%）：7月28日 終わり（95%）：7月31日		特になし
	津軽地域（県西部）出穂期	出穂期 始期：早7日 盛期：早7日 終期：未達 ※7月31日現在	7月15日の調査結果では、草丈は大幅に長く、㎡当たり茎数は大幅に少なかった。 <本年（平年差・比）> 草丈 82.0cm（118%） 茎数 390本/㎡（81%） 葉数 11.4葉（+0.5葉） <出穂状況> 始め（5%）：7月24日 最盛期（50%）：7月28日 終わり（95%）：未達 ※7月31日現在	・向こう1ヶ月の気温が高いと予報されることから、8月1日に稲作生産情報を発行し、飽水管理等の高温に対する技術対策を指導した。 ・雨が少ないため、用水が不足している地域がある。	特になし
	県南地域（県東部）出穂期	出穂期 始期：早9日 盛期：早9日 終期：早9日	7月15日の調査結果では、草丈は大幅に長く、㎡当たり茎数は大幅に少なかった。 <本年（平年差・比）> 草丈 80.7cm（121%） 茎数 346本/㎡（76%） 葉数 11.7葉（+1.0葉） <出穂状況> 始め（5%）：7月23日 最盛期（50%）：7月26日 終わり（95%）：7月31日		特になし
岩手県	出穂期	早2日	・出穂盛期（出穂割合50%）は8/1。	・出穂期以降も高温で推移する可能性が高く、7月以降の少雨により渇水傾向にあることから地域のかんがい水の状況に応じた高温登熟による品質低下の防止のため、「農作物技術情報第5号（少雨、渇水対策）」で水管理など対策の徹底を呼びかけ。 ・斑点米カメムシ類の多発が予想されることから、「病害虫発生予察情報 注意報 第7号」を発表して対策の徹底を呼びかけ。	7/25 水稻の出穂予測と今後の水管理（少雨・渇水対策）について 7/28 令和7年度病害虫発生予察情報注意報第7号 斑点米カメムシ類の多発予報 7/31 令和7年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第5号（紋枯れ病・斑点米カメムシ類）
宮城県	出穂期	早2日	・8月1日現在、県内の水稻作付面積の74.1%の水田が出穂期を迎えている。県全体の出穂期は7月30日で平年より2日早い。 ・古川農業試験場作況ほにおける7月18日調査結果では、草丈は平年並（77.9cm、平年102%）、茎数は少なく（524本/㎡、平年89%）、葉数は平年並（11.7枚、平年差+0.1）、葉色は平年並（35.9、平年差-0.3）。なお、作況ほの出穂期は平年より4日早い7月28日。	・県北部を中心にダムの貯水率が低下しており、番水の対応がとられている。県では飽水管理の実施について呼びかけている。用水不足地域の一部は場では葉先枯れの発生が見られる。 ・高温登熟及び斑点米カメムシ類対策について、7月16日及び8月1日に県づくり推進本部で臨時情報を公表した。	7月18日注意報第3号 水稻・斑点米カメムシ類

(秋田県～群馬県)

都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生予察注意報・警報発令状況
秋田県	出穂期	早2日	<ul style="list-style-type: none"> ・7月25日の調査（あきたこまち県平均）では、草丈が長く、茎数は少なく、葉数は多く、葉色はやや淡かった。 ・全県の出穂期は平年より2日早い7月31日だった。 <あきたこまち（平年差・比）> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈85.5cm（平年比113%） ・茎数431本/m²（平年比89%） ・葉数13.0（平年差+0.6） ・葉緑素計値（平年比95%） 	用水不足によりかん水できないほ場が見られる。	特になし
山形県	出穂期	早2日	<ul style="list-style-type: none"> ・7月18日の調査では、平年に比べて草丈はやや長く、茎数は少なく、葉数はやや多く、葉色は淡い。 	6月下旬からの少雨の影響で用水が確保できない一部の圃場では、土壌の白乾亀裂やイネの巻き葉、枯れ上がりが見られている。	斑点米カメムシ類注意報（7月2日発表）
福島県	穂ばらみ期～出穂期	早6日～早1日	農業総合センター作柄解析ほ 出穂期 <品種本年（平年差）> 【浜通り】 ひとめぼれ7月26日(早4日) 【中通り】 ひとめぼれ7月29日(早4日) 【会津】 ひとめぼれ7月27日(早3日)	全般に、出穂が早まっている。出穂後の高温による白未熟粒、斑点米カメムシ類による斑点米による品質低下が懸念される。	令和7年7月16日 令和7年度 病虫害発生予察情報（注意報） （水稲・斑点米カメムシ類・県内全域・発生時期やや早い・発生量多い）
茨城県	（あきたこまち） 乳熟期～糊熟期	早4日～±0日	【4月第6～7月第3半旬】 平均気温：平年差+1.1℃ 積算日照時間：平年比106% 【生育】 出穂期は、龍ヶ崎市で平年より進み、水戸市で平年並であり、早4日～±0日であった。	特になし	（7月10日発行 病虫害発生予察注意報第1号 茨城県病虫害防除所） ・斑点米カメムシ類（イネカメムシ、クモヘリカメムシ等） 発生量：「多い」 発生地域：県下全域
	（コシヒカリ） 出穂期～乳熟期	早3日～±0日	【5月第1～7月第6半旬】 平均気温：平年差+1.1℃ 積算日照時間：平年比104% 【生育】 出穂期は、龍ヶ崎市で平年より進み、水戸市で平年並であり、早3日～±0日であった。	特になし	
栃木県	（早植） 出穂期～乳熟期	早6日	平年より高温に経過しており、出穂期が早まっている。平年より草丈が長く、茎数は少ない。	今後も高温に経過することが予想されるため高温障害による品質の低下が懸念される。適正な水管理を徹底する。また、草丈が長いことから倒伏発生が懸念される。	・県南地域にイネカメムシに関する病虫害発生予察注意報（7月8日付け）が発信された。 ・県全域に斑点米カメムシ類に関する病虫害発生予察注意報（7月14日付け）が発信された。
	（普通植） 幼穂形成期～穂ばらみ期	早3日	早植と同様に草丈が長くなっている。茎数は前年に比べややすくない。	早植と同様に品質の低下が懸念される。	
群馬県	（平坦地早期） 乳熟期～糊熟期	早3日～早2日	6月中旬以降の高温により、出穂期は平年よりやや早まっている。生育は順調。藻類、カメムシ類、イナゴ類が平年より多い。	特になし	発生予察注意報第1号（イネカメムシ）
	（中山間早植） 幼穂形成期～出穂期	早5日～早3日	生育は概ね順調。藻類の発生がやや多く、一部にガス害が発生している。高温により葉色が落ちているほ場が散見される。	特になし	
	（平坦地早植） 幼穂形成期～出穂期	早3日～早2日	生育は概ね順調。藻類の発生がやや多く、一部にガス害が発生している。	特になし	
	（平坦地普通期） 分けつ盛期～穂ばらみ期	早3日～早2日	高温の影響により葉害が一部で見られ、ガス害が多い。藻類、カメムシ類、イナゴ類の発生がやや多い。	特になし	

(埼玉県～福井県)

都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病害虫発生予察注意報・警報発令状況
埼玉県	(早期) 早期：傾穂期 ～乳熟期	早5日	気温が高く推移しているため、生育は平年より5日早まっている。 一部極早生品種では収穫をむかえている。	斑点米カメムシ類の発生が多くみられる (特にホソハリカメムシが多い)。	イネカメムシ発生予察注意報 第2、3号 (7月3、23日)
	(早植) 穂ばらみ期 ～穂ぞろい期	早2日	気温が高く推移しているため、生育は平年より2日早まっている。	斑点米カメムシ類の発生が多くみられる (特にホソハリカメムシが多い)。	イネ斑点米カメムシ類 発生予察注意報第4号 (7月29日)
	(普通期・ 麦あと) 幼穂形成期 ～穂ばらみ期	早2日	気温が高く推移しているため、生育は平年より2日早まっている。	斑点米カメムシ類の発生が多くみられる (特にホソハリカメムシが多い)。	
千葉県	出穂期	早5日～早2日	葉色は平年並みからやや淡い。	気象庁の1カ月予報では気温が高い見込みのため、成熟期が早まる可能性がある。葉色の低下や水の不足は、さらに成熟期が早まる要因となるため、刈り遅れに注意する。	イネカメムシ、大型斑点米カメムシ類、及びカスミカメムシ類が「多」となっている。
東京都	幼穂形成期 ～穂ばらみ期	±0日	平年並みに順調。	生育期間を通じ高温で推移している。	特になし
神奈川県	幼穂形成期 ～出穂期	早2日	気温が平年より高く推移しているため、生育は平年よりやや早い。	高温で推移しているため、今後高温障害の発生が懸念される。	特になし
山梨県	【平坦地】 幼穂形成期	早2日～±0日	生育は順調である。	出穂後の気温の推移によっては高温障害が懸念される。	特になし
	【中間地】 穂ばらみ期 ～出穂期	早4日～早3日	生育は順調である。	出穂後の気温の推移によっては高温障害が懸念される。	特になし
	【高冷地】 穂ばらみ期	早4日～早3日	生育は順調である。	特になし	特になし
長野県	出穂期	早5日	高温の影響で平年より早く出穂期を迎えている。	地域によって少雨による渇水がみられ、緊急灌水など対策が講じられている。 カメムシの捕獲数が多く、今後斑点米被害が心配される。	病害虫発生予察注意報第2号(斑点米の原因となるカメムシ類) 病害虫発生予察注意報第3号(イネいもち病)
静岡県	【高冷地】 出穂期	早3日～早4日	概ね順調	特になし	斑点米カメムシ(注意報)
	【平地：早期】 乳熟期～成熟期	早3日	概ね順調	高温少雨の影響により、白未熟粒の発生や屑米歩合の増加に等に伴う品質及び収量の低下が懸念される。 一部地域ではイネカメムシが多数見られる。	
	【平地：普通期】 幼穂形成期 ～出穂期	早3日～±0日	概ね順調	一部地域ではイネカメムシが多数見られる。	
新潟県	穂ばらみ期 ～出穂期	早1日	コシヒカリの草丈は「長い」、茎数は「並」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「やや淡い」	山間部など一部のほ場で干ばつによる稲の枯れ上がりが生じており、今後まとまった降雨がない場合、被害の拡大が懸念される。	斑点米カメムシ類注意報(7月10日発令) 県内全域
富山県	出穂期	早2日	生育は概ね順調、葉色低下が認められる。 コシヒカリの出穂期は、7月30日頃	出穂期以降、気温の高い状況が続くことが予想されていることから「葉色診断と追肥対応について」発出。	病害虫発生予察注意報第2号 斑点米カメムシ類
石川県	コシヒカリ： 出穂期～乳熟期	コシヒカリ 早1日	出穂期 ・コシヒカリ 7/25～7/28	特になし	○病害虫発生予察注意報第3号(令和7年7月31日) →斑点米カメムシ類の多発に注意
福井県	早生：糊熟期	早5日	出穂期は平年より5日早い。	高温、少雨による品質、収量への影響がある可能性がある。	斑点米カメムシ類の注意報 胴割米発生注意報
	中生：出穂期	早2日	おおむね順調に生育。	高温、少雨による品質、収量への影響がある可能性がある。	斑点米カメムシ類の注意報

(岐阜県～滋賀県)

都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病害虫発生予察注意報・警報発令状況	
岐阜県	平坦部極早期 (早生) 成熟期	早1日	概ね順調	特になし	7/18斑点米カメムシ類 注意報	
	平坦部早期 (早生) 出穂期～乳熟期	早3日～±0日	概ね順調	カメムシ類が見られる。		
	中山間部早期 (早生) 穂ばらみ期 ～糊熟期	早4日～±0日	概ね順調	カメムシ類が見られる。		
	平坦部早期 (晩生) 幼穂形成期	早3日～±0日	概ね順調	特になし		
	平坦部普通期 (晩生) 分けつ後期 ～幼穂形成期	±0日	概ね順調	特になし		
愛知県	早期 (登熟期)	早2日	生育診断によると平年より2日早で推移。	農業用水：概ね確保できているが、ため池利用、オープン水路の地区で水量が低下、ごく一部でしおれ症状が出ている。 カメムシ：前年に比べ発生量が少ない。防除を実施している。局所的に発生が多いほ場（出穂の早いほ場と山つきほ場）がある。	7/16病害虫発生予察注意報 (斑点米カメムシ類)	
	早植 (幼穂形成期)	遅1日	生育診断によると平年より遅1日で推移。			
	普通 (分けつ盛期)	±0日	生育診断によると平年並みで推移。			
三重県	(早期) 糊熟期～成熟期	早5日～早3日	・出穂期以降が高温であったことから、成熟期は平年よりやや早い。 ・生育は概ね平年並みとみられる。	・出穂期以降が高温であったため、不稔や未熟粒の発生が懸念される。 ・今年度も斑点米カメムシ類の発生が多く、7月11日に注意報が発令されたが、現場での積極的な防除により、一定の効果が確認されている。 ・県南部でトビイロウンカの発生が確認されたため、防除が必要である。 ・伊賀や中南勢の一部地域で、用水が不足しているため、節水対応がなされている。	斑点米カメムシ類 (注意報：7月11日)	
	(中山間) 出穂期～乳熟期	早5日～早3日	・6月以降の好天により、生育は良好である。出穂期は平年よりやや早い。	同上		斑点米カメムシ類 (注意報：7月11日)
	(普通期) 幼穂形成期	±0日	・6月以降の好天により、生育は良好である。	同上		斑点米カメムシ類 (注意報：7月11日)
滋賀県	減数分裂期 ～乳熟期	早4日	・葉色は概ね平年並みだが、草丈はやや長く、茎数は少ない。 ・早生品種では、幼穂形成期から出穂期までの日数が平年より短く、平年より早く出穂期を迎えている。中生、晩生品種についても、出穂期が早まる見込み。	・今夏も猛暑となっていることから、7月3日付けて「水稲の技術対策臨時情報」を発信し、後期栄養の維持確保や適正な水管理の実践を呼び掛けた。	・7月上旬に実施した畦畔雑草の生育調査で斑点米カメムシ類の発生が平年より多く、県病害虫防除所から7月17日付けて斑点米カメムシ類の注意報を発表した。	

(京都府～島根県)

都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生予察注意報・警報発令状況
京都府北部 (丹後農研)	出穂期 【普通植 (5/26移植)】 コシヒカリ	±0日	出穂期：8/3(平年並) 主稈止葉葉位：12.1(平年12.0) SPAD値：33.3	・7月の降水量は15.0mm(平年比8%)と非常に少なく、丹後地域の一部では水不足で枯れあがった圃場もみられる。 ・高温による稲体の消耗等により、出穂期時点の葉色が薄い。 白未熟粒の増加や米粒の肥大不足による収量・品質の低下が懸念される。	病虫害発生予察注意報令和7年7月18日 斑点米カメムシ類(府内全域)
京都府南部 (農林センター栽培技術開発部)	穂ばらみ期～出穂期 【普通植 (5/23移植)】 コシヒカリ	コシヒカリ 早2日 (出穂期)	出穂期：8/1(早2日) 主稈止葉葉位：12.4(平年12.2) SPAD値：35.0	7月第5半旬以降、平年に比べて著しい高温が続いている。	病虫害発生予察注意報令和7年7月18日 斑点米カメムシ類(府内全域)
大阪府	(山間部・極早生品種) 幼穂形成期～出穂期	早2日	ばらつきが大きい、平均するとやや早い様子。	特になし	8月の病虫害発生予察情報：斑点米カメムシ類が「多い」予報。 紋枯病が「平年並み～やや多い」予報。
	(平野部・中生品種) 分けつ後期～幼穂形成樹期	±0日	中干し～間断灌漑。	今後、高温障害が懸念される。	8月の病虫害発生予察情報：斑点米カメムシ類が「多い」予報。 紋枯病が「平年並み～やや多い」予報。
兵庫県	幼穂形成期～出穂期 (県北部)	早3日	気温が高く推移しているため生育が早まっている。草丈は高く、茎数は著しく多い。	高温及び少雨がが続いているため、注意が必要である。	7月17日に斑点米カメムシ類の病虫害発生予察注意報を発令。
	分けつ盛期～幼穂形成期 (県南部)	早3日	気温が高く推移しているため生育が早まっている。極早生品種は草丈がやや低く、茎数は多い。早中生品種は、草丈は平年並で、茎数は著しく多い。	高温及び少雨がが続いているため、注意が必要である。	
奈良県	平坦中間 分けつ後期～穂ばらみ期	±0日	概ね順調	特になし	特になし
	山間 幼穂形成期～乳熟期	早2日	概ね順調	特になし	特になし
和歌山県	分けつ盛期～黄熟期	早7日～±0日	概ね順調	一部地域で斑点米カメムシ類の食害が多い。	特になし
鳥取県	幼穂形成期～出穂期	早1日	・一部ほ場で干ばつによる葉巻症状が認められているが、用水が十分供給されたほ場では生育は概ね順調である。	・全域で河川の流量が少なく、出穂期に向けて用水の不足が懸念される。 ・一部のほ場で紋枯病やいもち病及びごま葉枯病が確認されているほか、出穂の早いほ場を中心に、斑点米カメムシと併せてイネカメムシの発生が見られている。	病虫害発生予察注意報第1号 (イネカメムシ_7月11日発表) 病虫害発生予察注意報第2号 (斑点米カメムシ類_7月22日発表)
島根県	分けつ盛期～糊熟期	早5日～早3日	・好天、高温により生育進度が前進化しているため、昨年同様平年より出穂期が早い。 ・生育は概ね順調	・高温の影響により、節間長が伸び草丈が長いほ場がある。 ・一部ほ場で渇水がみられる。 ・イネカメムシの発生ほ場の生産者に防除徹底を周知。 ・一部ほ場でゴマ葉枯病がみられる。	病虫害発生予察情報注意報第1号(令和7年7月14日付け)を発表

(岡山県～福岡県)

都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生予察注意報・警報発令状況
岡山県	中北部 (早生・中生品種) 幼穂形成期～糊熟期	早7日～±0日	概ね順調に生育している。 高温のため、生育が前進しており、早生品種の出穂は平年より早かった。 中生品種は幼穂形成期で生育は平年並み～やや早い。	斑点米カメムシ類の発生がみられる。	特になし
	南部 (中生・晩生品種) 分けつ後期～幼穂形成期	早2日～±0日	概ね順調に生育している。 高温のため生育はやや前進している。	特になし	特になし
広島県	分けつ盛期～乳熟期	早10日～±0日	連日の高温、晴天により、生育が早まっている。	水不足、高温障害による収量、品質低下が懸念される。	病虫害発生予察情報注意報第1号 (斑点米カメムシ類)
山口県	(中山間) 穂孕期～出穂期	早5日～±0日	・生育は概ね順調 茎数は平年より多い	・斑点米カメムシが多い	水稻の斑点米カメムシ類注意報発令 (R7.7.7)
	(極早・平坦部) 出穂期～乳熟期	早5日～±0日	・生育は概ね順調		
	(早生・平坦部) 穂孕期～出穂期	早5日～±0日	・生育は概ね順調		
	(中生・平坦部) 分けつ後期～幼穂形成期	早3日～±0日	・生育は概ね順調		
徳島県	(早期) 出穂期～収穫期	早3日	生育は概ね順調	特になし	特になし
	(普通期) 田植期～収穫期	早7日～±0日	生育は概ね順調	特になし	特になし
香川県	(早期) 乳熟期～糊熟期	早2日	・草丈：平年並～やや高 ・茎数：平年並～やや多 ・葉色：平年並 ・稈長：平年並 ・穂長：平年並	特になし	特になし
	(短期) 幼穂形成期～乳熟期	早1日～±0日	・草丈：平年並 ・茎数：平年並 ・葉色：平年並	特になし	特になし
	(普通期) 分けつ期～最高分けつ期	早1日～±0日	・草丈：やや低～平年並 ・茎数：平年並～やや多 ・葉色：平年並	特になし	特になし
愛媛県	(早期) 出穂期～成熟期	早7日～±0日	6月以降の平均気温が高い傾向にあり、出穂期は平年よりやや早かった。 一部圃場で葉色の低下等がみられる。	斑点米カメムシの発生量が多い傾向。 高温障害による品質低下が懸念される。	7/15 病虫害防除技術情報第2号 (斑点米カメムシ類防除の徹底について)
	(普通期) 分けつ盛期～穂ばらみ期	早3日～±0日	田植えが遅れた圃場でも生育が追いつき、生育は前進傾向。	今後も高温が続く見込みのため、生育への影響が懸念される。	
高知県	(早期) 乳熟期～収穫期	早3日	6～7月の気温が高く、晴天の日が多かったため、概ね順調に生育しており、登熟は全体的に早い傾向にある。	一部で穂いもちの発生がみられるが、大きな被害にはつなげていない。	特になし
	(普通期) 分けつ盛期～出穂期	±0日	概ね順調に生育している。	スクミリングガイによる食害が散見される。	特になし
福岡県	早期 穂ばらみ期～黄熟期	早5日～遅2日	「5/15までに田植えをした圃場」を早期としており、生育はおおむね順調。	イネカメムシが一部で散見。	令和7年7月22日 病虫害発生予察注意報 (水稻の斑点米カメムシ類)
	普通期(県北) 分けつ盛期～乳熟期	早5日～±0日	「5/16以降に田植えをした圃場」を普通期としており、生育は概ね順調。	イネカメムシが一部で散見。	
	普通期(県南) 分けつ後期～出穂期	早7日～早1日	「5/16以降に田植えをした圃場」を普通期としており、生育は概ね順調。	特になし	

(佐賀県～宮崎県)

都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生予察注意報・警報発令状況
佐賀県	(極早期) 収穫期	早2日～早1日	・生育良好。	・特になし	特になし
	(早期) 幼穂形成期～乳熟期	±0日～遅3日	・生育良好。	・特になし	
	(普通期) 分けつ後期～幼穂形成期	早2日～遅3日	・生育良好。 ・平年と同時期に移植した圃場では、気温が高く推移したことから生育は平年よりやや早くなっている。 ・麦の収穫時期が遅れたことで、平年より移植が遅れた圃場でも、気温が高く推移したことで生育前進化し平年並みに近づいている。	・特になし	
長崎県	(早期) 出穂期～成熟期	早5日～早3日	出穂期以降、好天が続いており、登熟は概ね順調。	・穂吸汁性カメムシなど害虫の発生が各地で見られているため、各地域における講習会などで今後の発生に注意喚起を行っている。 ・特にイネカメムシの発生が多い一部地域等では薬剤防除時期を前倒しするように指導を実施。	令和7年度病虫害発生予察 注意報第1号(令和7年7月16日)：早期・普通期水稻について県下全域で穂吸汁性カメムシ類の発生が「多」と予想される。
	(普通期) 分けつ盛期～幼穂形成期	早5日～早3日	概ね生育は順調であるが、高温多照の影響により一部圃場では生育過剰気味となっている。	穂吸汁性カメムシについて、発生に好適な気象条件であるため、各地域における講習会などで今後の発生に注意喚起を行っている。	同上
熊本県	(早期) 乳熟期～収穫期	早5日～遅3日	概ね良好	一部地域で籾枯細菌病やイネクロカメムシ等の被害が確認されている。	特になし
	(早植え) 幼穂形成期～乳熟期	早5日～±0日	概ね良好	一部地域でいもち病が散見。	
	(普通期) 分けつ前期～幼穂形成期	早5日～遅3日	概ね良好	・一部地域でいもち病が散見。 ・渇水状況については、中干し後の水供給不足を心配する声が聞かれているが、現時点で大きな問題とはなっていない。	
	(晩期) 移植期～分けつ盛期	早3日～±0日	概ね良好	特になし	
大分県	(早期) 出穂期～乳熟期	±0日	順調に生育している。	特になし	特になし
	(普通期) ・中山間) 分けつ後期～穂ばらみ期	±0日	順調に生育している。	特になし	
	(普通期) ・平坦) 分けつ盛期～幼穂形成期	±0日	順調に生育している。	特になし	
宮崎県	(早期) 収穫期	±0日	登熟は平年より早い傾向にあったものの7月下旬からの降雨により収穫最盛期は平年並みの7月29日となった。作柄調査では、m ² あたり籾数は平年比105%とやや多く、登熟期間も概ね好天で収量は「平年並み」以上を確保と予想される。	登熟期間中の高温により白未熟粒が多く、コシヒカリの1等米割合は平年より低く推移している。格下げ要因は①整粒不足、②カメムシとなっている。	特になし
	(普通期) 分けつ期～幼穂形成期	早1日	有効茎は概ね平年並みに確保している。生育は概ね順調。葉齢調査では平年比で2齢ほど早く進展しており、出穂はかなり早まる可能性がある。	いもち病や紋枯病が中山間地を中心に発生している。カメムシ類は平年並み、ウンカ類は平年より少ない	注意報：紋枯病(県下全域、発生量：多)

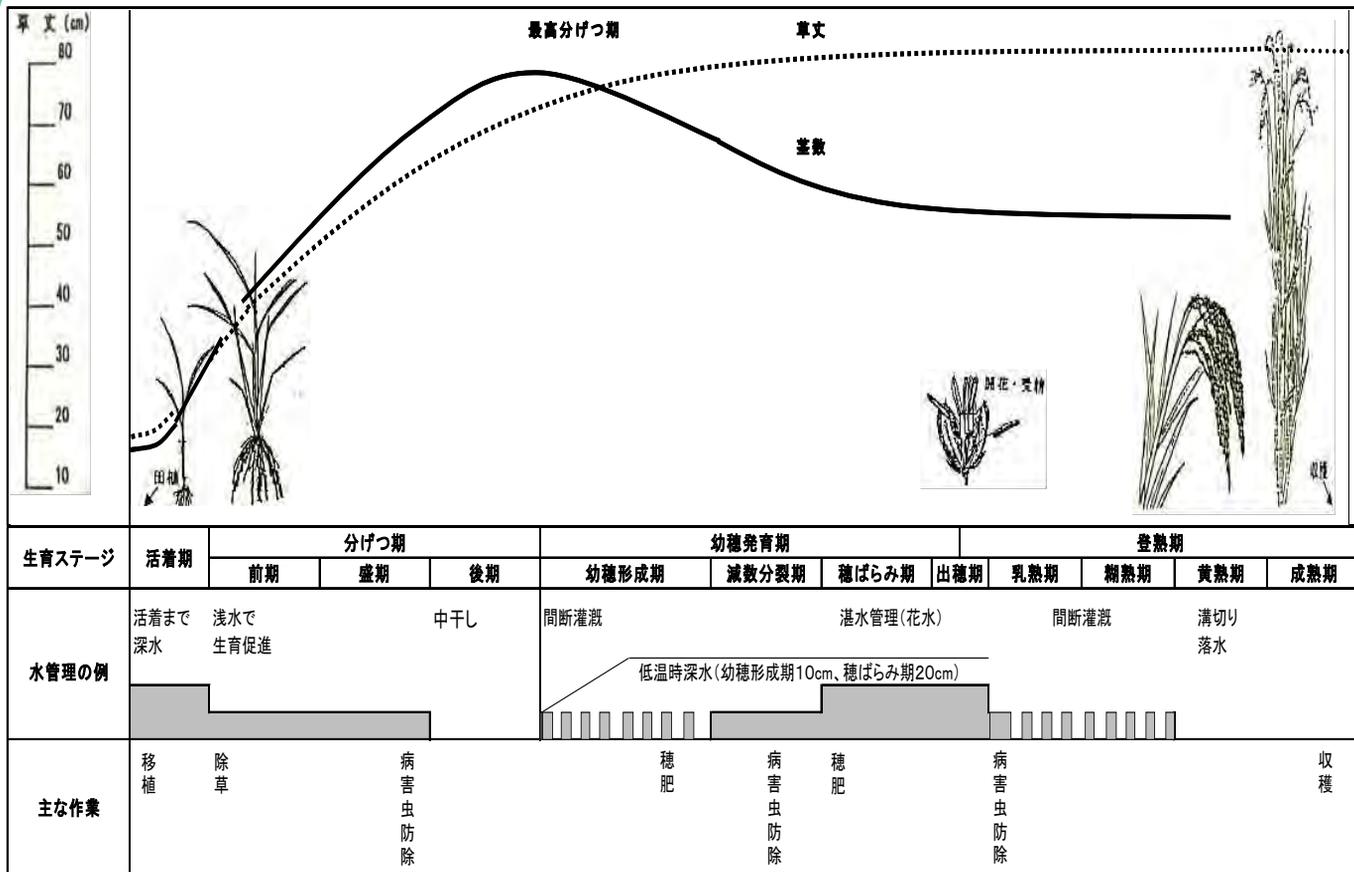
(鹿児島県・沖縄県)

都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病害虫発生予察注意報・警報発令状況
鹿児島県	(早期：薩摩半島(南薩)) 収穫期	±0日～遅5日	・7月中旬から「コシヒカリ」の収穫が開始し、品質は良好。 ・平年と比較して稈長が長い傾向にある。	特になし	特になし
	(早期：大隅) 乳熟期～収穫期	±0日～遅3日	・生育はおおむね順調。 ・7月下旬から、一部地域で「コシヒカリ」の収穫が始まった。	・平年と比較して稈長が長い傾向にあり、台風等が通過した場合、倒伏する懸念がある。	特になし
	(早期：離島(熊毛)) 収穫期	遅4日	・7月14日頃から収穫が始まった。 ・平年と比較して稈長が長い傾向にあり一部のほ場では倒伏が見られたものの、収穫への影響はなかったと思われる。	特になし	特になし
	(普通期：本土) 分けつ後期～幼穂形成期	早2日～±0日	・生育はおおむね順調で、病害虫の発生は例年よりも少ない傾向。	・ごく一部のほ場で、降雨が少ないことにより、用水が確保できない状況が発生している。	・普通期水稻の病害虫は、平年と比べて「やや少」～「並」(鹿児島県病害虫防除所、病害虫「発生予報第5号(8月)」)
沖縄県	(1期作目) 乳熟期～収穫期	±0日～遅7日	生育は概ね順調。 一部地域で収穫が終了している。	・生育初期の低温により、生育ステージに幅がある。 ・一部圃場でスクミリングガイなど病害虫の被害があるため防除指導中。	特になし。
	(2期作目) 播種期～田植期	±0日	生育は概ね順調。	・一部圃場でスクミリングガイなど害虫の被害があるため防除指導中。	特になし。

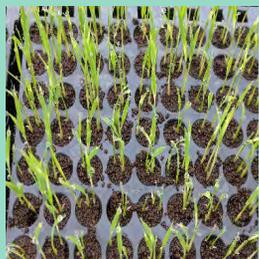
- ※1 本表は、水稻の生育状況の公表についてご協力いただいた各都道府県から農林水産省農産局穀物課が聞き取った内容を記述している。
- ※2 必要に応じて地域の代表的な作型や地帯(早期・普通期、平坦部・中山間、北部・南部など)に区分して記述している。
- ※3 生育ステージの主な区分は、播種期、育苗期、田植期、活着期、分けつ前期、分けつ盛期、分けつ後期、幼穂形成期、減数分裂期、穂ばらみ期、出穂期、乳熟期、糊熟期、黄熟期、成熟期、収穫期。
- ※4 対平年遅速は、本年の生育が平年に比べて進んでいる場合には、「早〇日」、遅れている場合には、「遅〇日」、変わらない場合には、「±0日」と記述している。
- ※5 生育概況の欄には、生育、登熟の概況を記述している。
- ※6 問題点等の欄には、病害虫及び気象被害等の発生について、その発生地帯(作型)、被害の程度及びそれらに対する技術指導の状況等を記述している。
- ※7 病害虫発生予察注意報・警報発令状況の欄には、当該都道府県において発令された注意報・警報について、発令日と対象病害虫、対象地帯(作型)等を記述している。

生育ステージ用語一覧

生育ステージ	定義
播種期(はしゆき)	種もみを播く時期
育苗期(いくびょうき)	苗を育てる時期
田植期(たうえき)	稲の苗を苗代から水田に植え付ける時期
活着期(かっちゃくき)	植え付けた苗から新根が発生して、それらが伸び始める時期
分けつ前期(ぶんげつぜんき)	分けつ(茎)が始まる時期
分けつ盛期(ぶんげつせいき)	分けつが最も盛んになる時期、この時期以降に発生する分けつは無効化しやすい
分けつ後期(ぶんげつこうき)	分けつが最も多くなる時期、この時期以降は分けつが減少する
幼穂形成期(ようすいけいせいき)	幼穂の長さが1～2mm程度となる時期、出穂前24～22日頃に相当
減数分裂期(げんすうぶんれつき)	幼穂の長さが8cm程度となる時期、出穂前12日頃に相当
穂ばらみ期(ほばらみき)	茎の中の穂が膨らむ時期
出穂期(しゅつすいき)	ほ場全体の穂の40～50%が出穂した時期
乳熟期(にゅうじゅくき)	粉をつぶすとまだ白いでんぷん液の出る時期、出穂後2週間程度
糊熟期(こじゅくき)	粉がまだ緑色を保ち、指で圧して硬さを感じ始める時期
黄熟期(おうじゅくき)	玄米は透明度を増すが、まだ多くが緑色を呈する時期、成熟期前1週間位の時期
成熟期(せいじゅくき)	粉の黄化が全粉数の80～90%以上に達した時期
収穫期(しゅうかくき)	収穫する時期、粉の含水率が約25%～21%の期間



育苗期



移植期



活着期



分けつ前期



分けつ盛期～後期



出穂期



乳熟期



糊熟期



黄熟期



成熟期



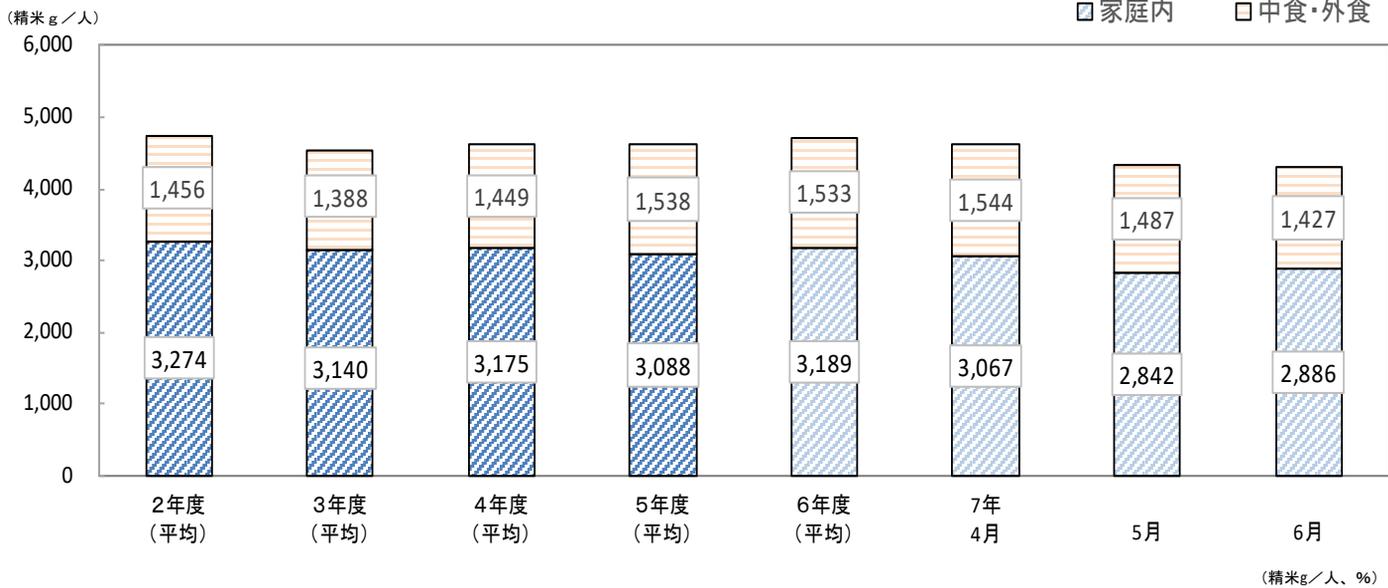
4 消費の動向

1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和7年6月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、対前年同月比▲10.2%。
- このうち、家庭内での消費量は対前年同月比▲11.1%、中食・外食では▲8.3%。

(1) 1人1ヵ月当たり精米消費量



(精米g/人、%)

	精米消費量 (g)					内訳比率 (%)					前年同月比 (%)				
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食
2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
3年度	4,529	3,140	1,388	906	482	100.0	69.3	30.6	20.0	10.6	▲4.2	▲4.1	▲4.7	▲5.0	▲4.0
4年度	4,625	3,175	1,449	918	531	100.0	68.6	31.3	19.8	11.5	2.1	1.1	4.4	1.3	10.2
5年度	4,626	3,088	1,538	963	574	100.0	66.8	33.2	20.8	12.4	0.0	▲2.7	6.1	4.9	8.1
6年度	4,722	3,189	1,533	929	604	100.0	67.5	32.5	19.7	12.8	2.1	3.3	▲0.3	▲3.5	5.2
令和7年 1月	4,714	3,279	1,434	861	574	100.0	69.6	30.4	18.3	12.2	3.9	8.4	▲5.2	▲11.7	6.9
2月	4,696	3,179	1,517	890	627	100.0	67.7	32.3	19.0	13.4	1.3	3.4	▲3.0	▲4.1	▲1.4
3月	4,348	2,939	1,408	835	574	100.0	67.6	32.4	19.2	13.2	▲1.1	0.9	▲5.1	▲10.3	4.0
令和7年 4月	4,611	3,067	1,544	944	600	100.0	66.5	33.5	20.5	13.0	▲9.4	▲10.8	▲6.7	▲6.3	▲7.3
5月	4,329	2,842	1,487	905	582	100.0	65.7	34.3	20.9	13.4	▲9.5	▲13.5	▲0.9	0.6	▲3.2
6月	4,313	2,886	1,427	853	574	100.0	66.9	33.1	19.8	13.3	▲10.2	▲11.1	▲8.3	▲11.6	▲2.7

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和7年6月分の有効調査世帯数は1,668世帯。

注2：令和2～6年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が令和2～3年度は平成27年国勢調査、令和4～6年度は令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- 精米購入経路別の購入単価は、「産地直売所」が最も高く、次いで「デパート」、「生協（店舗・共同購入含む）」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- 令和7年6月の家庭内の月末在庫数量は、6.1kgとなっている。

(2) 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	有効調査世帯数
令和2年度	1.5	49.8	5.7	3.9	0.3	7.0	1.1	2.4	1.1	5.0	9.7	15.2	4.1	-
令和3年度	1.6	50.5	6.6	3.9	0.2	6.3	0.8	2.3	1.2	5.5	8.6	15.0	4.3	-
令和4年度	1.2	50.1	5.5	4.8	0.4	6.0	1.0	2.3	1.4	4.6	8.9	15.3	4.4	-
令和5年度	1.4	50.1	6.9	4.4	0.3	5.2	1.0	2.4	1.9	4.8	8.6	15.3	4.6	-
令和6年度	1.1	51.8	8.4	3.6	0.4	5.9	1.3	2.6	1.9	4.8	8.3	14.7	3.1	-
令和7年4月	1.6	54.5	8.1	4.3	0.1	5.3	1.9	3.4	1.8	5.1	8.0	12.8	3.8	-
5月	1.0	55.8	6.2	4.9	0.1	5.6	1.3	3.1	2.3	5.1	7.2	12.6	3.7	-
6月	1.5	55.3	7.5	3.9	0.9	4.6	1.0	2.6	1.0	4.5	12.6	12.8	2.9	-

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	(生協(店舗・共同購入含む))	(農協(店舗・共同購入含む))	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和2年度	533	400	375	347	※547	434	397	477	415	358	492	-
令和3年度	541	373	357	315	※612	412	※417	485	451	358	471	-
令和4年度	505	371	328	313	※466	395	393	468	424	347	437	-
令和5年度	498	400	361	325	※427	414	406	515	435	338	513	-
令和6年度	711	588	555	526	※680	604	521	634	533	400	683	-
令和7年4月	947	828	811	785	※804	786	716	814	717	472	863	-
5月	861	827	812	810	※1216	796	696	788	833	622	940	-
6月	830	758	742	721	※474	794	588	793	941	545	735	-

- 注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
 2 購入単価は消費税を除く本体価格である。
 3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。
 4 令和2～6年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	-
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2	6.9	7.1	6.9	6.8	6.8	6.7	6.4	▲ 1.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
4年度	月末在庫数量	6.6	6.6	6.4	6.5	6.4	6.3	6.6	6.8	7.0	6.8	6.5	6.6	6.6	3.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	-
5年度	月末在庫数量	6.0	6.1	6.1	6.0	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1	6.0	5.9	5.6	5.9	▲ 10.6
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	-
6年度	月末在庫数量	5.9	5.7	5.9	5.6	5.8	6.0	6.4	6.6	6.9	6.6	6.2	6.1	6.1	3.4
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	-
7年度	月末在庫数量	6.2	5.9	6.1										6.1	0.0
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21										2.21	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が令和2～3年度は平成27年国勢調査、令和4～6年度は令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

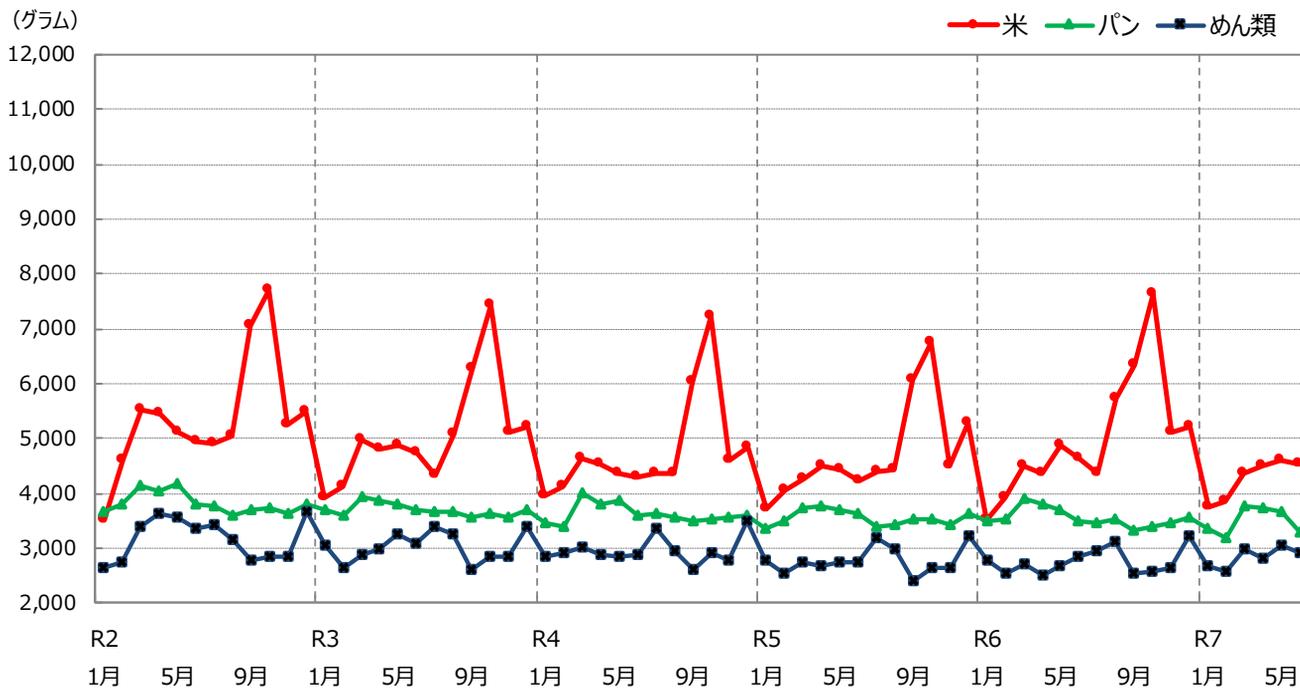
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和7年6月の米の購入数量は、対前年同月▲1.9%の4.6kg、パンは▲6.0%の3.3kg、めん類は+2.5%の2.9kg。

1世帯当たり1か月間の購入数量の推移



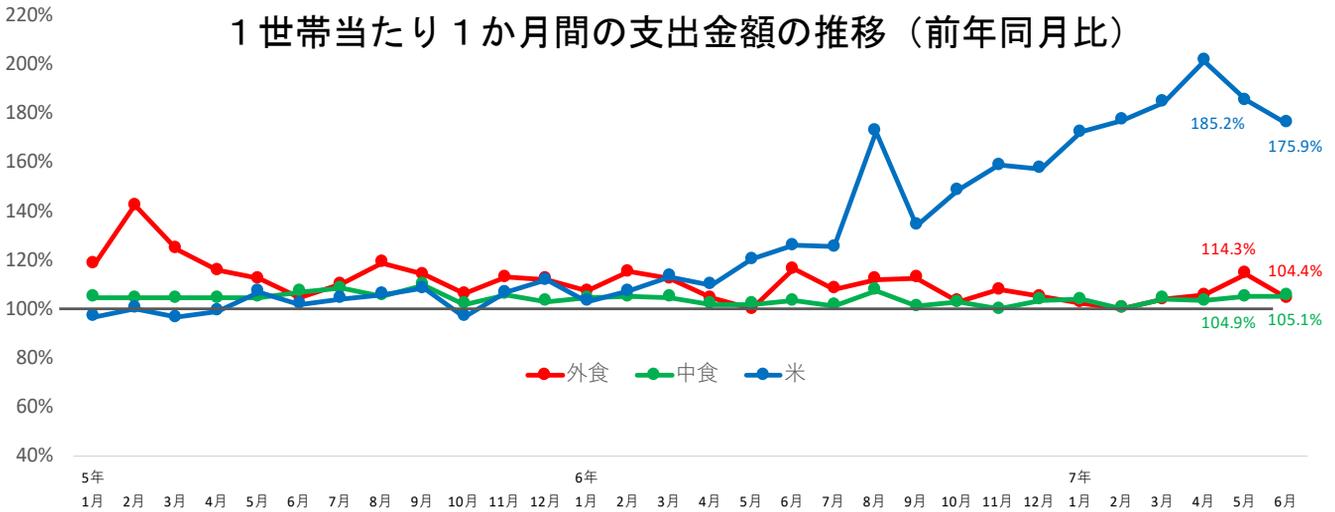
	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
令和2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
4年	57,380	94.4%	43,571	98.3%	35,557	98.2%
5年	56,650	98.7%	42,680	98.0%	33,345	93.8%
6年	60,200	106.3%	42,702	100.1%	33,192	99.5%
令和7年 1月	3,760	106.8%	3,350	95.7%	2,688	96.9%
2月	3,860	98.5%	3,178	89.6%	2,574	100.7%
3月	4,380	97.6%	3,752	96.4%	2,994	110.0%
4月	4,500	102.7%	3,722	97.6%	2,824	112.3%
5月	4,590	94.3%	3,659	99.3%	3,061	114.3%
6月	4,550	98.1%	3,299	94.0%	2,922	102.5%

(グラム)

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和7年6月の中食の支出金額は、対前年同月比+5.1%、外食は+4.4%。

1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



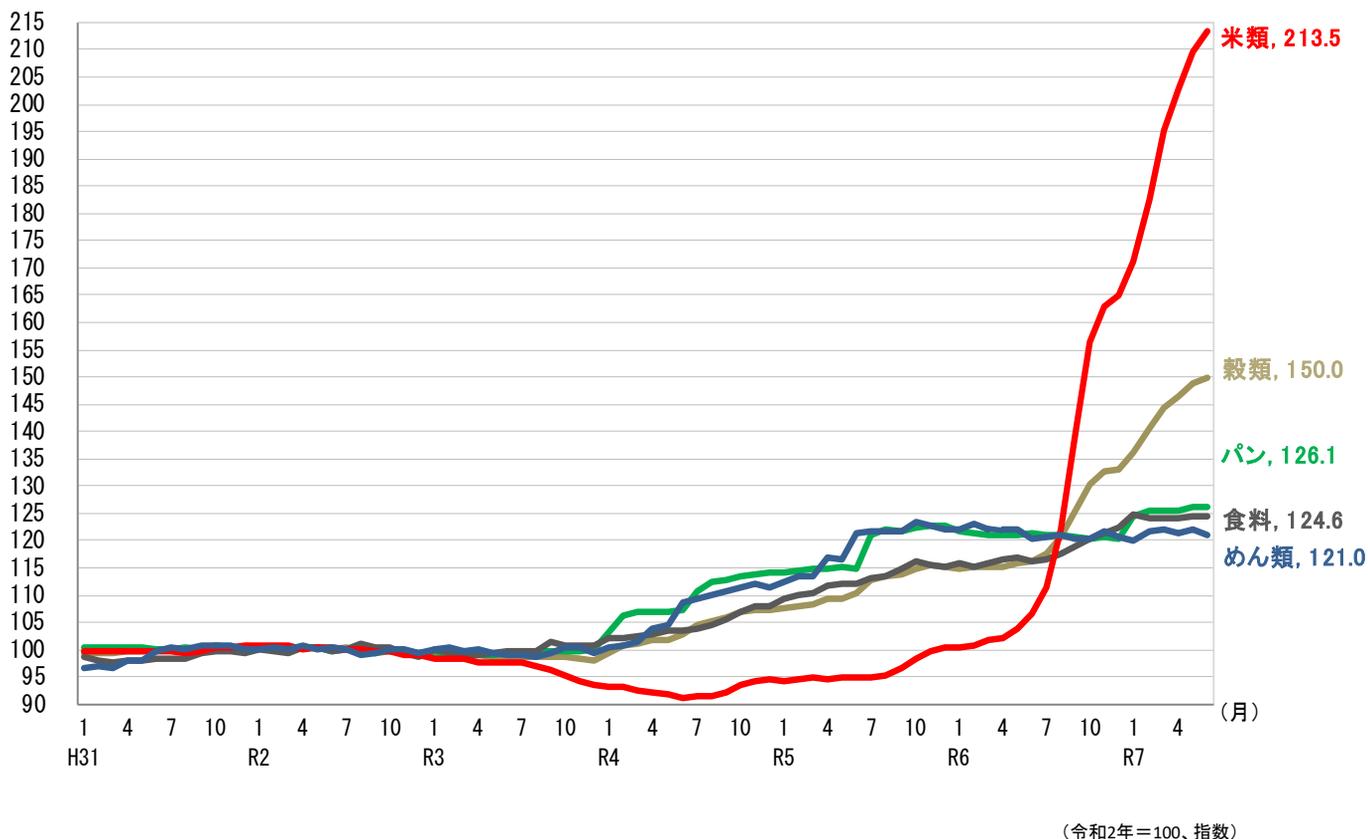
年	穀類	中食 (主食的調理食品)				弁当	すし (弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品	
		米	パン	麺類	他の穀類						
5年 1月	102.8%	96.7%	105.5%	104.0%	102.8%	104.8%	105.3%	96.6%	113.2%	106.4%	109.1%
5年 2月	100.0%	100.1%	102.8%	96.2%	96.7%	104.3%	100.2%	103.6%	116.7%	106.7%	105.0%
5年 3月	100.3%	96.6%	102.8%	99.4%	100.9%	104.4%	104.3%	103.7%	111.0%	106.5%	102.4%
5年 4月	102.6%	99.1%	103.1%	103.6%	109.0%	104.3%	99.8%	105.6%	113.9%	110.8%	102.6%
5年 5月	103.8%	107.1%	102.2%	103.0%	107.0%	104.6%	105.4%	98.3%	118.5%	110.4%	103.2%
5年 6月	103.3%	102.0%	104.8%	101.3%	107.5%	107.0%	105.9%	106.1%	121.0%	102.2%	106.8%
5年 7月	104.1%	104.1%	103.0%	106.8%	98.1%	108.4%	108.4%	106.1%	114.2%	105.6%	109.3%
5年 8月	104.4%	105.9%	103.0%	107.2%	95.2%	105.1%	100.5%	101.2%	121.5%	113.0%	109.0%
5年 9月	103.8%	108.3%	103.9%	101.2%	91.4%	109.7%	103.7%	116.9%	118.4%	101.4%	107.3%
5年 10月	100.9%	96.7%	105.0%	102.7%	92.3%	101.8%	98.7%	97.8%	108.0%	102.2%	105.6%
5年 11月	106.0%	106.6%	106.4%	105.8%	102.6%	105.8%	102.3%	103.7%	108.4%	106.7%	109.6%
5年 12月	105.9%	111.9%	108.3%	101.3%	99.9%	103.1%	102.2%	99.9%	108.4%	107.8%	104.2%
6年 1月	103.2%	103.0%	105.2%	101.7%	98.1%	104.3%	101.0%	107.0%	103.8%	101.6%	106.2%
6年 2月	106.8%	107.2%	107.3%	105.7%	107.1%	104.8%	100.3%	102.4%	109.1%	108.5%	109.3%
6年 3月	108.8%	113.3%	107.2%	108.5%	105.6%	104.7%	96.5%	100.2%	112.5%	101.0%	116.2%
6年 4月	103.6%	109.8%	103.0%	100.2%	96.9%	101.9%	99.9%	96.4%	104.7%	103.3%	106.8%
6年 5月	105.7%	120.1%	100.8%	101.8%	100.9%	101.9%	99.2%	100.2%	102.9%	103.9%	104.7%
6年 6月	109.4%	125.8%	102.0%	107.1%	106.8%	103.3%	102.3%	104.7%	99.8%	106.9%	103.1%
6年 7月	106.2%	125.3%	101.7%	97.8%	105.2%	101.3%	103.9%	98.5%	101.6%	104.6%	99.7%
6年 8月	122.4%	172.5%	104.3%	106.1%	124.2%	107.5%	110.8%	106.7%	99.0%	108.1%	107.8%
6年 9月	110.8%	134.0%	98.7%	100.6%	107.5%	101.1%	103.3%	98.5%	104.4%	104.0%	98.9%
6年 10月	115.1%	148.7%	98.1%	99.2%	107.1%	102.8%	102.6%	106.0%	103.4%	104.9%	99.9%
6年 11月	115.1%	158.6%	98.1%	102.5%	105.4%	100.0%	98.2%	99.4%	102.8%	101.1%	100.7%
6年 12月	114.6%	157.4%	100.2%	101.3%	104.0%	103.7%	101.0%	103.9%	110.5%	100.5%	104.7%
7年 1月	113.8%	172.3%	94.5%	100.2%	104.5%	103.7%	102.6%	103.6%	111.0%	102.1%	103.4%
7年 2月	117.6%	177.0%	94.2%	104.7%	110.1%	100.2%	102.5%	94.1%	101.8%	99.8%	104.7%
7年 3月	120.6%	184.4%	96.1%	104.0%	109.7%	104.2%	106.9%	101.1%	104.1%	101.2%	104.9%
7年 4月	128.9%	201.4%	98.4%	108.6%	121.7%	103.3%	99.5%	105.4%	100.0%	97.8%	108.8%
7年 5月	127.1%	185.2%	102.5%	107.7%	115.7%	104.9%	102.5%	107.3%	100.9%	97.9%	109.4%
7年 6月	122.4%	175.9%	97.7%	107.2%	108.8%	105.1%	101.2%	100.2%	109.2%	103.9%	112.2%

年	外食 (食事代)	中食 (主食的調理食品)							ハンバーガー	他の主食的調理食品	
		日本そば・うどん	中華そば	他の麺類外食	すし (外食)	和食	中華食	洋食			焼肉
5年 1月	118.3%	114.1%	137.4%	119.3%	109.2%	117.2%	103.9%	137.3%	119.9%	115.7%	118.1%
5年 2月	142.4%	137.4%	142.5%	142.7%	129.2%	143.9%	135.8%	147.1%	204.6%	97.5%	147.9%
5年 3月	124.6%	127.2%	127.7%	119.5%	115.4%	126.8%	125.6%	127.0%	108.0%	98.6%	132.1%
5年 4月	115.8%	115.4%	130.8%	125.4%	103.8%	110.6%	134.5%	121.8%	127.7%	108.5%	115.7%
5年 5月	112.4%	110.3%	125.1%	106.3%	111.0%	114.4%	110.3%	108.0%	100.5%	100.7%	115.8%
5年 6月	104.7%	111.7%	120.2%	108.9%	100.9%	107.4%	106.3%	106.8%	114.6%	101.3%	99.9%
5年 7月	110.0%	119.7%	122.2%	116.9%	110.0%	112.6%	118.7%	119.0%	119.6%	104.1%	102.4%
5年 8月	118.8%	122.1%	117.0%	134.9%	112.4%	121.8%	119.6%	122.4%	130.8%	100.7%	118.0%
5年 9月	114.0%	105.8%	116.9%	123.5%	112.9%	117.7%	124.0%	121.2%	111.1%	110.2%	111.4%
5年 10月	106.0%	103.5%	107.5%	104.1%	99.6%	108.0%	99.0%	112.9%	98.2%	107.9%	107.5%
5年 11月	113.0%	113.7%	125.8%	113.2%	100.0%	117.1%	117.1%	109.9%	114.5%	107.4%	113.5%
5年 12月	112.0%	111.9%	105.1%	116.9%	110.0%	104.4%	110.8%	117.8%	102.4%	101.3%	119.1%
6年 1月	107.3%	118.0%	109.9%	126.0%	93.6%	104.9%	122.5%	98.7%	115.1%	96.5%	112.5%
6年 2月	115.1%	113.2%	116.8%	143.1%	106.6%	119.0%	112.9%	116.1%	131.8%	117.7%	111.4%
6年 3月	112.3%	111.1%	115.9%	127.8%	100.1%	118.9%	104.3%	125.5%	132.2%	124.7%	105.4%
6年 4月	104.3%	114.3%	107.1%	104.2%	102.7%	112.0%	99.1%	103.4%	81.9%	103.6%	104.2%
6年 5月	100.0%	104.7%	103.3%	121.3%	90.5%	109.3%	100.5%	101.2%	85.0%	110.9%	97.5%
6年 6月	116.4%	115.7%	113.3%	118.4%	113.6%	114.4%	116.0%	118.4%	120.0%	135.6%	115.7%
6年 7月	108.0%	100.5%	108.5%	102.1%	100.2%	110.5%	98.7%	102.6%	95.9%	103.5%	115.1%
6年 8月	112.1%	107.4%	115.9%	103.1%	104.8%	116.1%	106.2%	123.2%	104.6%	114.3%	112.3%
6年 9月	112.5%	118.9%	109.7%	115.0%	118.4%	114.7%	107.5%	106.1%	111.0%	116.2%	111.1%
6年 10月	103.1%	107.7%	108.2%	124.3%	107.8%	101.0%	96.3%	106.5%	90.5%	90.6%	103.4%
6年 11月	107.8%	110.7%	103.3%	105.6%	127.8%	104.7%	91.8%	114.6%	100.8%	106.5%	106.0%
6年 12月	104.9%	106.9%	109.1%	104.3%	100.7%	109.5%	96.0%	111.1%	121.8%	97.8%	101.2%
7年 1月	102.5%	102.4%	105.6%	98.8%	108.8%	103.6%	99.3%	111.1%	87.8%	108.3%	100.0%
7年 2月	100.3%	104.4%	107.0%	93.3%	99.8%	100.5%	93.7%	115.4%	103.4%	95.8%	96.4%
7年 3月	103.9%	100.8%	113.8%	101.7%	113.3%	105.4%	107.6%	100.9%	99.0%	106.9%	100.4%
7年 4月	105.6%	98.2%	117.6%	122.2%	116.7%	96.4%	101.2%	116.6%	115.5%	99.2%	102.6%
7年 5月	114.3%	111.0%	115.3%	114.2%	119.3%	106.1%	120.5%	131.7%	119.3%	119.1%	111.3%
7年 6月	104.4%	108.0%	107.1%	97.0%	108.1%	100.9%	112.0%	111.3%	99.7%	91.4%	104.3%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和7年6月の米類の指数は対前年同月比 +100.2%の213.5ポイント。



	食料		穀類		米類 (うるち米)		うるち米 (コシヒカリ)		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比							
令和元年 (平均)	98.7	0.4%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.9%	99.1	2.2%
2年 (平均)	100.0	1.4%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	1.0%
3年 (平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
4年 (平均)	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	10.1%	107.1	7.4%
5年 (平均)	112.9	8.1%	111.5	7.5%	96.1	3.8%	96.3	3.2%	118.4	8.1%	118.9	11.1%
6年 (平均)	117.8	4.3%	121.0	8.5%	122.8	27.7%	121.1	25.8%	121.0	2.2%	121.4	2.0%
令和7年 1月	124.7	7.8%	136.1	18.4%	171.3	70.9%	169.4	69.2%	124.3	2.0%	120.0	▲1.7%
2月	124.1	7.6%	140.5	21.9%	182.6	80.9%	180.4	80.1%	125.5	3.4%	121.6	▲1.3%
3月	124.2	7.4%	144.5	25.4%	195.3	92.1%	192.8	91.3%	125.6	3.7%	121.9	▲0.2%
4月	124.0	6.5%	146.6	27.4%	202.8	98.4%	199.7	98.2%	125.6	3.8%	121.3	▲0.5%
5月	124.4	6.5%	149.0	28.7%	209.7	101.7%	207.0	103.0%	126.1	4.2%	122.2	0.1%
6月	124.6	7.2%	150.0	29.0%	213.5	100.2%	211.2	101.9%	126.1	4.0%	121.0	0.6%

資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

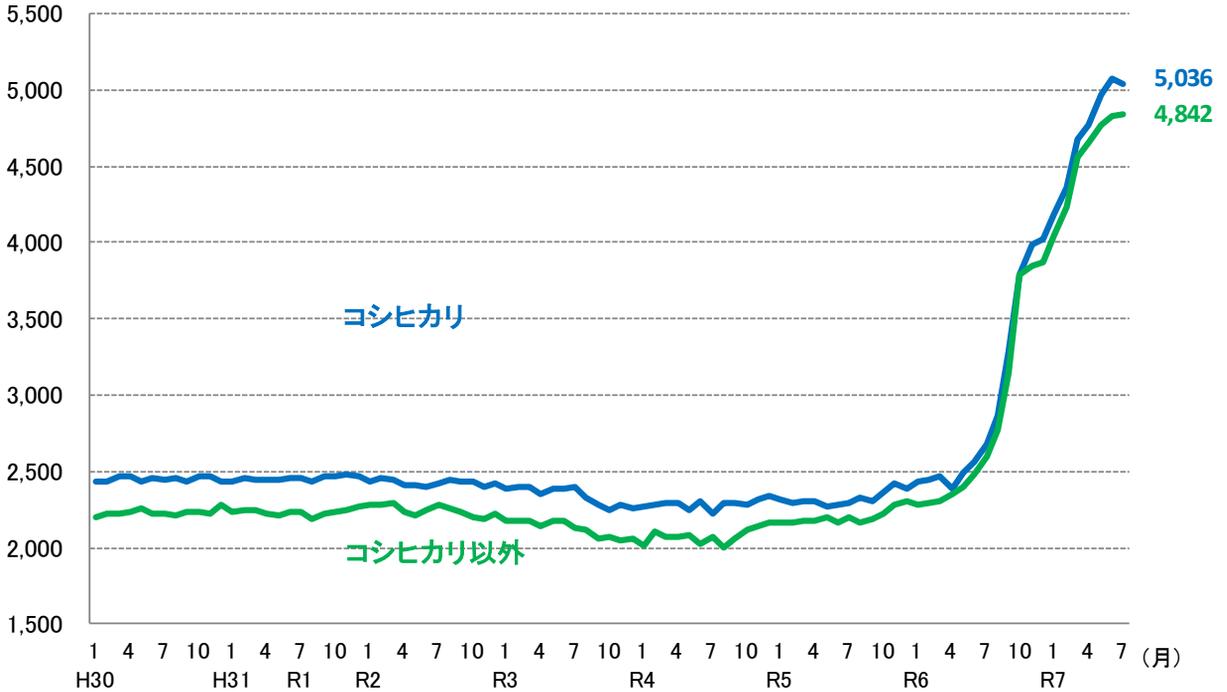
注2：穀類は、米類（うるち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

注3：令和元年～6年のデータは年平均であり、7年は月次データである。

4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和7年7月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+87.7%の5,036円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+86.1%の4,842円。

(円/5kg、包装・消費税込み)



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	R1	R2	R3	R4	R5	R6
コシヒカリ	2,456	2,426	2,344	2,288	2,323	2,951
前年比	0.2%	▲1.2%	▲3.4%	▲2.4%	1.5%	27.0%
コシヒカリ以外	2,234	2,246	2,127	2,076	2,203	2,846
前年比	0.1%	0.5%	▲5.3%	▲2.4%	6.1%	29.2%

月次(令和5年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,319	2,292	2,306	2,303	2,271	2,283	2,289	2,333	2,310	2,367	2,422	2,386
前年同月比	2.1%	0.2%	0.7%	0.5%	0.8%	▲1.1%	2.8%	1.7%	0.8%	3.6%	4.3%	2.1%
コシヒカリ以外	2,165	2,169	2,177	2,177	2,201	2,171	2,205	2,162	2,188	2,225	2,279	2,311
前年同月比	7.7%	3.1%	5.3%	5.3%	5.5%	7.5%	6.4%	7.9%	6.2%	5.3%	6.3%	6.9%

月次(令和6年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,440	2,441	2,470	2,384	2,490	2,561	2,683	2,871	3,285	3,787	3,985	4,018
前年同月比	5.2%	6.5%	7.1%	3.5%	9.6%	12.2%	17.2%	23.1%	42.2%	60.0%	64.5%	68.4%
コシヒカリ以外	2,283	2,300	2,306	2,347	2,403	2,483	2,602	2,772	3,152	3,792	3,843	3,868
前年同月比	5.5%	6.0%	5.9%	7.8%	9.2%	14.4%	18.0%	28.2%	44.1%	70.4%	68.6%	67.4%

月次(令和7年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	4,185	4,363	4,679	4,770	4,970	5,072	5,036					
前年同月比	71.5%	78.7%	89.4%	100.1%	99.6%	98.0%	87.7%					
コシヒカリ以外	4,051	4,239	4,557	4,654	4,769	4,825	4,842					
前年同月比	77.4%	84.3%	97.6%	98.3%	98.5%	94.3%	86.1%					

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（7日以内の特売分を除く）。

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向（速報）

- 米穀販売事業者における令和7年6月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが88%、中食・外食事業者等向けが98%で、全体としては92%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年6月の販売数量と比較すると99%となる。
- 前年同月を基準にした令和7年6月の販売価格の値動きは、小売事業者向け171.8、中食・外食事業者等向け176.1。

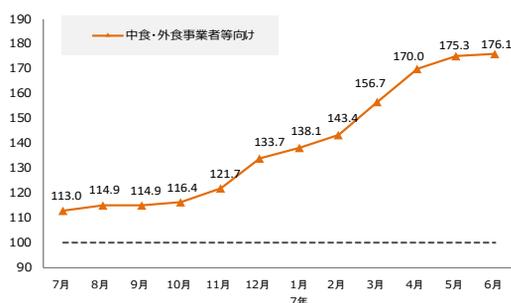
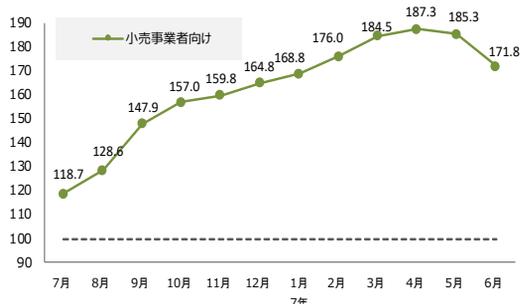
1 販売数量の動向（前年同月比）

	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月 ～12月計
小売事業者向け	106%	108%	107%	108%	106%	114%	104%	100%	86%	85%	93%	92%	101%
(※令和元年との比較)	(110%)	(111%)	(108%)	(109%)	(114%)	(116%)	(104%)	(107%)	(87%)	(86%)	(97%)	(99%)	(104%)
中食・外食事業者等向け	103%	106%	100%	99%	103%	98%	99%	100%	97%	100%	100%	101%	100%
(※令和元年との比較)	(96%)	(100%)	(95%)	(94%)	(102%)	(97%)	(97%)	(97%)	(98%)	(100%)	(100%)	(99%)	(98%)
販売数量計	105%	107%	104%	104%	105%	107%	102%	100%	91%	92%	96%	96%	101%
(※令和元年との比較)	(103%)	(106%)	(102%)	(102%)	(108%)	(107%)	(100%)	(102%)	(92%)	(93%)	(98%)	(99%)	(101%)

	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月 ～12月計
小売事業者向け	94%	89%	86%	92%	93%	88%							
(※令和元年との比較)	(104%)	(99%)	(94%)	(100%)	(106%)	(103%)							
中食・外食事業者等向け	101%	95%	98%	97%	90%	98%							
(※令和元年との比較)	(96%)	(96%)	(93%)	(91%)	(92%)	(95%)							
販売数量計	97%	92%	91%	94%	92%	92%							
(※令和元年との比較)	(100%)	(98%)	(93%)	(96%)	(99%)	(99%)							

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トンの以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

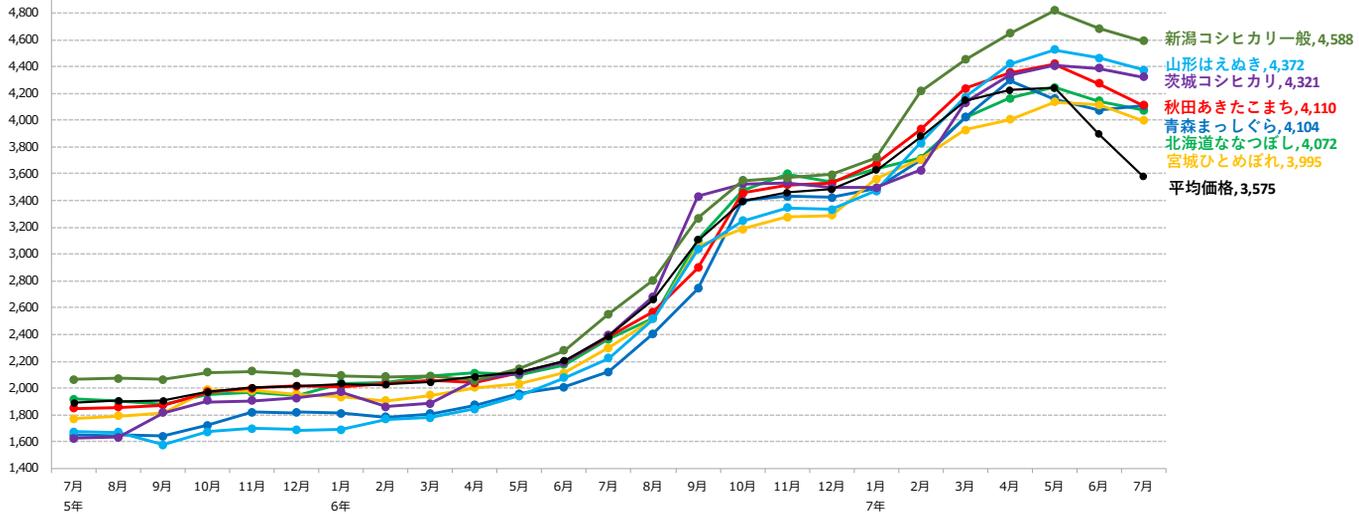
注3：令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米を含む。

注4：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

6 小売価格・販売数量等の推移（POSデータ）

- 令和7年7月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月差▲320円(▲8.2%)、対前年同月差+1,192円(+50.0%)の3,575円。

円/5kg袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

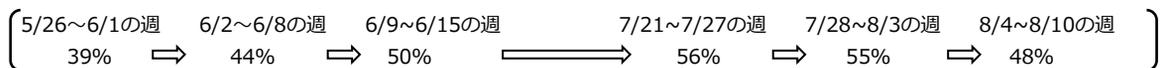
注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

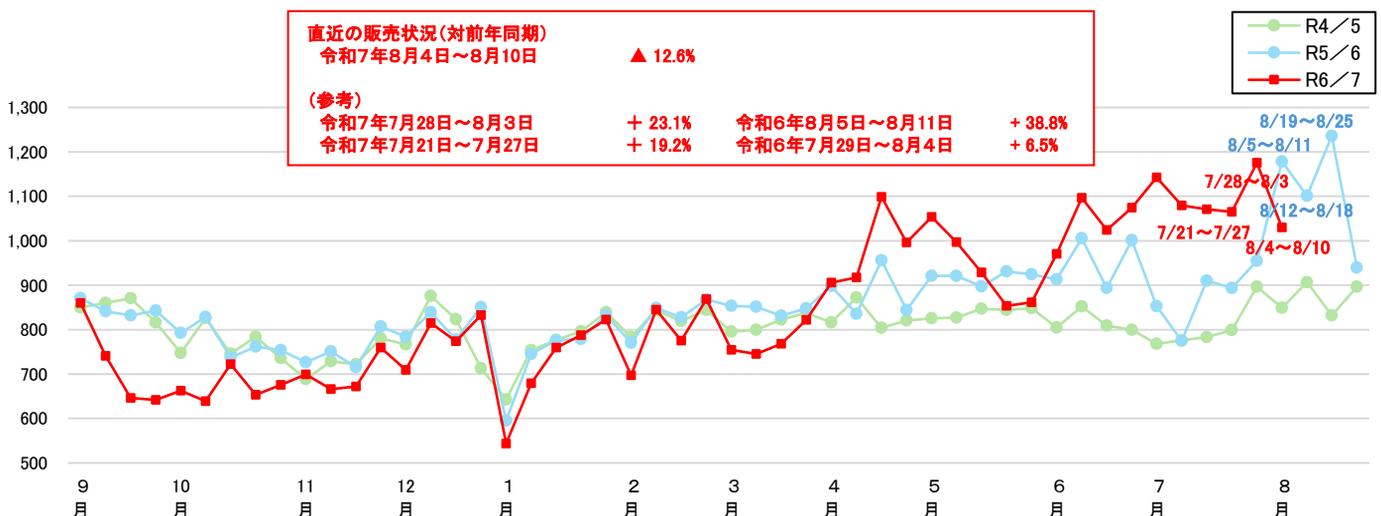
注5：価格に含む消費税は8%である。

- 令和7年8月4日の週の販売数量は対前年同期▲12.6%。
- 政府備蓄米の流通を背景に、販売数量に占めるブレンド米等の比率は48%。



直近の販売状況(対前年同期)
令和7年8月4日~8月10日 ▲12.6%

(参考)
令和7年7月28日~8月3日 +23.1% 令和6年8月5日~8月11日 +38.8%
令和7年7月21日~7月27日 +19.2% 令和6年7月29日~8月4日 +6.5%



うるち精米の主な銘柄の月別価格・販売数量

単位:円/5kg袋販売時換算(消費税込み)、トン

	販 売 価 格														販売数量		
	6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月差	前年同月差	7年7月	6年8月~7年7月
北海道 ななつぼし	2,365	2,525	3,107	3,477	3,599	3,541	3,640	3,717	4,021	4,164	4,244	4,141	4,072	▲ 69	+ 1,707	202	3,612
北海道 ゆめびりか	2,618	2,853	3,555	3,766	3,865	3,838	3,842	4,047	4,247	4,362	4,433	4,442	4,353	▲ 89	+ 1,735	212	2,627
北海道 ふっくらりんこ	2,489	2,709	2,829	3,635	3,677	3,673	3,693	3,822	4,080	4,040	4,075	4,057	3,959	▲ 98	+ 1,470	16	293
北海道 きらら397	2,422	2,586	2,679	3,283	3,625	3,742	3,585	4,000	4,238	4,159	4,627	4,443	4,187	▲ 256	+ 1,765	1	67
北海道 きたくりん	2,252	2,511	2,577	3,264	3,409	3,364	3,593	3,857	3,962	3,845	4,389	4,320	4,208	▲ 112	+ 1,956	9	104
青森 青天の霹靂	2,446	2,641	2,794	3,461	3,673	3,686	3,769	4,038	4,353	4,642	4,658	4,378	4,180	▲ 198	+ 1,734	11	289
青森 まっしぐら	2,119	2,407	2,745	3,398	3,432	3,423	3,487	3,704	4,020	4,298	4,157	4,073	4,104	+ 31	+ 1,985	59	367
青森 つがるロマン	2,115	2,191	3,030	3,073	2,487	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	28
岩手 ひとめぼれ	2,221	2,401	2,615	3,294	3,297	3,273	3,316	3,576	3,858	4,137	4,184	4,081	3,971	▲ 110	+ 1,750	61	858
岩手 銀河のしずく	2,184	2,367	2,696	3,241	3,261	3,294	3,381	3,625	3,850	4,051	4,037	3,888	3,739	▲ 149	+ 1,555	46	713
宮城 ひとめぼれ	2,301	2,514	3,060	3,188	3,277	3,289	3,562	3,708	3,926	4,006	4,135	4,115	3,995	▲ 120	+ 1,694	78	1,177
宮城 つや姫	2,320	2,566	2,751	3,579	3,438	3,598	3,705	3,864	4,193	4,266	4,418	4,340	4,280	▲ 60	+ 1,960	18	231
宮城 だて正夢	2,426	2,678	2,696	3,435	3,368	3,464	3,538	3,627	3,939	4,143	4,208	4,145	4,098	▲ 47	+ 1,672	5	119
秋田 あきたこまち	2,385	2,570	2,899	3,453	3,518	3,528	3,676	3,930	4,236	4,353	4,418	4,272	4,110	▲ 162	+ 1,725	171	2,225
山形 つや姫	2,654	2,844	2,979	3,731	3,736	3,794	3,850	4,151	4,448	4,554	4,655	4,697	4,588	▲ 109	+ 1,934	76	1,024
山形 はえめき	2,224	2,513	3,037	3,246	3,344	3,332	3,473	3,828	4,170	4,420	4,525	4,464	4,372	▲ 92	+ 2,148	41	758
山形 雪若丸	2,186	2,505	3,190	3,352	3,366	3,425	3,714	3,802	3,930	4,074	4,281	4,326	4,251	▲ 75	+ 2,065	20	260
茨城 コシヒカリ	2,394	2,681	3,431	3,523	3,533	3,494	3,496	3,624	4,130	4,338	4,409	4,386	4,321	▲ 65	+ 1,927	27	663
茨城 あきたこまち	2,284	3,134	3,315	3,327	3,469	3,408	3,547	3,873	4,239	4,463	4,624	4,589	4,395	▲ 194	+ 2,111	1	296
栃木 コシヒカリ	2,284	2,502	3,199	3,521	3,370	3,581	3,691	3,812	4,139	4,445	4,442	4,341	4,292	▲ 49	+ 2,008	17	515
栃木 とちぎの星	2,115	2,406	2,698	3,149	3,114	3,273	3,418	3,553	4,014	4,310	4,448	4,487	4,326	▲ 161	+ 2,211	21	168
千葉 ふさおとめ	2,346	2,963	3,237	3,399	3,356	3,426	3,587	3,745	4,222	4,374	4,585	4,741	4,298	▲ 443	+ 1,952	6	428
千葉 コシヒカリ	2,547	2,920	3,315	3,438	3,527	3,590	3,637	4,103	4,477	4,662	4,874	4,661	4,537	▲ 124	+ 1,990	12	477
千葉 ふさこがね	2,337	3,073	3,199	3,145	3,106	3,346	3,527	3,735	3,976	4,491	4,430	4,424	4,468	+ 44	+ 2,131	6	246
山梨 コシヒカリ	2,559	2,780	2,987	3,554	3,636	3,751	3,913	4,070	4,233	4,351	4,595	4,454	4,422	▲ 32	+ 1,863	8	156
長野 コシヒカリ	2,245	2,488	2,871	3,174	3,134	3,231	3,501	4,023	3,996	4,112	4,196	4,287	4,316	+ 29	+ 2,071	42	665
新潟 コシヒカリ 一般	2,551	2,806	3,266	3,550	3,569	3,595	3,721	4,216	4,450	4,648	4,817	4,683	4,588	▲ 95	+ 2,037	117	2,384
新潟 コシヒカリ 魚沼	2,885	3,095	3,422	3,915	3,779	3,941	4,084	4,392	4,613	4,844	4,898	4,620	4,472	▲ 148	+ 1,587	36	604
新潟 コシヒカリ 佐渡	2,501	2,872	2,840	3,568	3,627	3,784	4,193	4,461	4,498	4,633	4,922	4,700	3,988	▲ 712	+ 1,487	6	109
新潟 みずほの輝き	2,351	2,424	2,748	3,387	3,390	3,396	3,657	4,052	4,167	4,505	4,477	4,374	4,724	+ 350	+ 2,373	1	459
新潟 こしいぶき	2,244	2,549	3,200	3,202	3,370	3,580	3,717	3,975	4,324	4,545	4,359	4,481	4,352	▲ 129	+ 2,108	51	525
新潟 新之助	2,743	3,112	4,130	4,832	4,254	4,331	4,287	4,555	4,723	5,012	5,248	5,152	5,121	▲ 31	+ 2,378	34	429
富山 コシヒカリ	2,359	2,546	3,089	3,438	3,400	3,363	3,561	3,920	4,210	4,311	4,769	4,565	4,558	▲ 7	+ 2,199	60	1,201
富山 てんたかく	2,403	2,703	3,263	3,339	3,463	3,353	3,585	3,993	4,370	4,333	4,566	4,581	4,495	▲ 86	+ 2,092	10	192
石川 コシヒカリ	2,268	2,497	2,973	2,990	3,012	3,032	3,338	3,676	3,891	4,087	4,138	4,143	4,103	▲ 40	+ 1,835	51	620
石川 ひやくまん殿	2,273	2,289	3,067	3,044	3,033	3,051	3,043	3,766	3,782	3,874	4,185	4,229	4,129	▲ 100	+ 1,856	10	248
石川 ゆめみづほ	2,113	2,576	2,905	2,835	2,676	2,877	2,975	3,644	3,933	3,861	3,856	4,071	4,536	+ 465	+ 2,423	3	183
福井 ハナエチゼン	2,275	3,007	3,216	3,309	3,291	3,357	3,628	3,641	4,310	4,268	4,437	4,964	4,595	▲ 369	+ 2,320	9	153
福井 いちほまれ	2,502	2,441	3,162	3,691	3,799	3,561	3,845	3,936	3,976	4,116	4,480	4,421	4,264	▲ 157	+ 1,762	17	208
福井 コシヒカリ	2,331	2,541	3,549	3,472	3,400	3,441	3,483	3,840	3,900	4,054	4,263	4,258	4,373	+ 115	+ 2,042	17	178
愛知 コシヒカリ	2,583	3,057	3,510	3,465	3,604	3,747	3,977	4,280	4,828	4,827	4,945	5,030	4,938	▲ 92	+ 2,355	4	129
三重 コシヒカリ 一般	2,264	2,987	3,207	3,327	3,475	3,607	3,738	3,924	4,366	4,503	4,444	4,332	4,288	▲ 44	+ 2,024	16	331
三重 コシヒカリ 伊賀	2,356	2,481	3,214	3,416	3,523	3,621	3,919	4,156	4,423	4,460	4,580	4,367	4,215	▲ 152	+ 1,859	8	211
滋賀 みずかみ	2,562	2,691	3,316	3,348	3,649	3,640	3,828	3,938	4,528	4,881	4,975	4,901	4,781	▲ 120	+ 2,219	3	70
徳島 あきさかり	2,106	2,054	2,735	2,968	3,299	3,411	3,553	3,567	4,125	4,130	4,121	4,004	3,982	▲ 22	+ 1,876	7	100
愛媛 コシヒカリ	2,217	2,452	2,880	2,915	3,260	3,609	3,938	3,857	3,887	4,343	4,361	4,371	4,361	▲ 10	+ 2,144	3	143
福岡 元氣つくし	2,520	2,693	3,052	3,587	3,599	3,683	3,752	4,423	4,561	4,658	4,633	4,568	4,468	▲ 100	+ 1,948	22	327
福岡 夢つくし	2,421	2,607	3,438	3,455	3,467	3,538	3,664	4,342	4,523	4,588	4,579	4,503	4,567	+ 64	+ 2,146	23	282
佐賀 夢しずく	2,397	2,591	2,792	3,295	3,351	3,342	3,553	4,142	4,424	4,422	4,560	4,320	4,266	▲ 54	+ 1,869	13	193
佐賀 さがびより	2,420	2,570	2,938	3,054	3,506	3,611	3,669	4,105	4,462	4,563	4,560	4,521	4,388	▲ 133	+ 1,968	26	277
大分 ヒノヒカリ	2,273	2,450	2,475	3,417	3,590	3,639	3,684	4,125	4,266	4,438	4,470	4,410	4,304	▲ 106	+ 2,031	10	137
宮崎 ヒノヒカリ	2,391	2,786	2,924	3,200	3,349	3,494	3,506	3,654	4,043	4,439	4,814	4,868	4,746	▲ 122	+ 2,355	10	220
宮崎 コシヒカリ	2,595	2,847	2,897	3,211	2,264	1,962	2,012	2,624	2,061	1,995	1,899	-	4,442	-	+ 1,847	4	214
全POS取引平均価格	2,383	2,656	3,105	3,395	3,460	3,485	3,628	3,878	4,145	4,225	4,238	3,895	3,575	▲ 320	+ 1,192		
全POS取引数量(トン)	3,804	4,959	3,113	2,907	2,973	3,553	3,019	3,239	3,569	4,271	4,190	4,527	4,814	+ 287	+ 1,010	4,814	45,132

(参考: ドラッグストア)

全POS取引平均価格	2,152	2,480	2,829	3,135	3,273	3,224	3,426	3,633	3,978	4,355	4,393	4,221	4,058	▲ 163	+ 1,906
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------

資料: (株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1: (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等(ドラッグストアは約400店舗)から購入したデータに基づくものである。

注2: POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

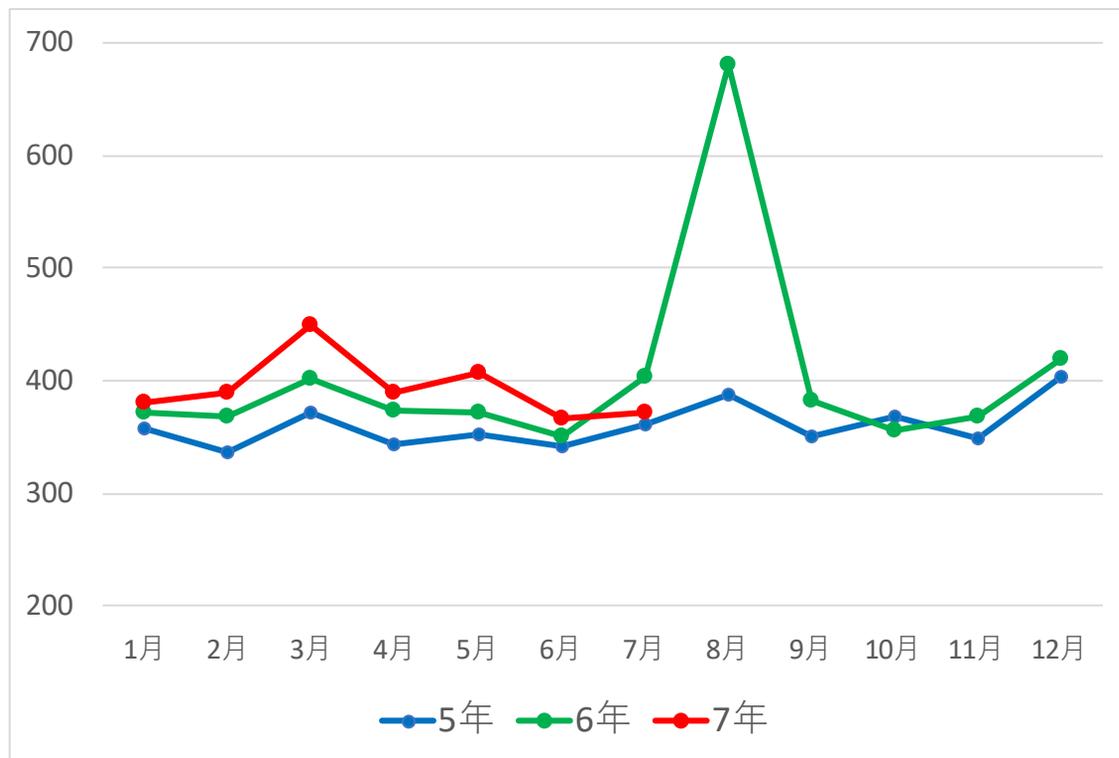
注3: POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4: 全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注5: 価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量】

(単位：精米トン)



(単位：精米トン、%)

	5年	6年 ①	7年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	357	372	381	102%
2月	337	368	389	106%
3月	371	401	450	112%
4月	344	374	390	104%
5月	352	371	407	110%
6月	341	350	366	105%
7月	361	403	372	92%
8月	388	680		
9月	351	383		
10月	369	356		
11月	349	368		
12月	403	420		

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比

分類コード	分類名	主な 分類基準	6年 8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
米類			138%	105%	95%	102%	100%	99%	103%	100%	107%	109%	107%	109%
	米	精米、玄米、もち米	145%	94%	89%	98%	99%	100%	102%	101%	120%	117%	119%	130%
	包装餅	切り餅、板餅	140%	116%	92%	110%	99%	101%	108%	103%	107%	107%	99%	100%
	米飯加工品		147%	105%	91%	97%	101%	96%	102%	100%	101%	104%	100%	94%
	かゆ・雑炊	主にレトルトパウチ等で販売される おかゆ、雑炊、リゾット	122%	92%	87%	88%	100%	93%	88%	89%	99%	99%	98%	96%
	無菌パック米飯	無菌パック(お米を加熱調理後に無菌 包装したもので販売される白飯、赤 飯、玄米、麦ごはん)	147%	101%	90%	97%	97%	93%	96%	102%	101%	106%	97%	94%
	レトルト米飯	レトルト米飯(お米を容器に入れてから 炊飯したものを)で販売される白飯、赤 飯、玄米、麦ごはん)	177%	131%	98%	108%	115%	111%	136%	108%	106%	104%	110%	92%
	冷凍米飯加工品		120%	106%	102%	108%	105%	101%	104%	103%	106%	111%	106%	113%
	冷凍ピラフ、炒飯	炒飯、焼めし、ピラフ、チキンライス、 ドライカレー などの米飯群	117%	100%	92%	101%	96%	93%	95%	99%	103%	107%	102%	112%
	冷凍おにぎり	おにぎり、焼きおにぎり	115%	107%	103%	96%	103%	98%	114%	96%	92%	94%	92%	93%
	その他冷凍米飯	白飯、赤飯、おこわ、炊き込みご 飯、オムライス、カレーライス	127%	122%	126%	133%	129%	131%	126%	121%	114%	131%	121%	118%
	惣菜		117%	112%	113%	101%	100%	99%	95%	97%	98%	94%	93%	94%
	おにぎり	おにぎり、おにぎりセット、おにぎりど おかずがセットになった弁当	119%	117%	110%	99%	99%	100%	94%	96%	96%	88%	91%	92%
	寿司	にぎり、いなり、ちらし、助六寿司、 細巻き、太巻き、恵方巻き	113%	110%	115%	100%	95%	90%	86%	89%	85%	80%	76%	100%
弁当	幕の内、唐揚げ弁当、のり弁当、駅 弁、オムライス、炒飯	116%	105%	127%	112%	120%	116%	117%	115%	127%	136%	125%	115%	
パン・シリアル類		102%	102%	99%	102%	102%	98%	95%	98%	101%	103%	101%	104%	
食パン	食パン、クロワッサン、 フランスパン	101%	100%	97%	101%	101%	97%	96%	97%	100%	103%	102%	106%	
菓子パン	果物、チョコレート、 クリーム・ジャムを使用したパン	100%	100%	99%	100%	102%	97%	94%	96%	99%	102%	98%	102%	
調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、 ホットドック	108%	109%	102%	106%	105%	102%	99%	102%	105%	107%	106%	107%	
シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	114%	112%	112%	112%	108%	103%	96%	105%	104%	105%	97%	105%	
麺類		109%	101%	97%	102%	101%	98%	102%	100%	106%	105%	103%	108%	
インスタント 袋麺	袋入りのインスタントラーメン、 そば、うどん	110%	98%	96%	103%	97%	96%	103%	98%	105%	106%	102%	107%	
カップ麺	ラーメン、そば、 うどん等の即席麺	114%	100%	99%	105%	102%	99%	105%	101%	107%	106%	101%	108%	
生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、 中華そば・焼きそば	103%	101%	96%	100%	101%	97%	99%	99%	103%	103%	105%	108%	
スパゲッティ	乾スパゲッティ、 ゆでスパゲッティ	119%	107%	98%	100%	103%	97%	100%	102%	106%	105%	102%	101%	
冷凍麺	冷凍パスタ、 そば、うどんなどの種類	106%	103%	98%	100%	101%	96%	99%	100%	109%	108%	103%	109%	
粉類(米粉を除く)		105%	99%	94%	96%	96%	90%	93%	92%	102%	104%	97%	100%	
小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	107%	102%	98%	99%	98%	95%	98%	97%	100%	99%	95%	100%	
パン粉	パン粉、生パン粉	104%	100%	96%	101%	97%	95%	93%	91%	98%	100%	98%	99%	
プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの 素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	104%	97%	89%	91%	93%	85%	91%	91%	105%	110%	97%	102%	
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、 出し入り味噌	97%	98%	95%	100%	100%	96%	95%	96%	99%	100%	96%	101%
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	105%	109%	109%	114%	105%	112%	119%	113%	129%	127%	119%	120%
	米菓	煎餅、あられ、おかき	105%	100%	97%	107%	104%	98%	96%	95%	102%	104%	102%	104%
	清酒		100%	97%	94%	100%	99%	97%	96%	96%	98%	101%	96%	99%
	焼酎乙類		100%	97%	95%	98%	97%	96%	95%	97%	96%	100%	98%	100%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

5 輸出入の動向

1 米・米加工品の輸出実績

(1) 米・米加工品の輸出実績の推移

2025年1～6月の米・米加工品の輸出額は334億円（対前年同期比+13%）となった。うち米の輸出実績は対前年同期比+23%の68億円、米菓は-2%の28億円、日本酒は+12%の228億円、パックご飯等は+48%の9億円、米粉及び米粉製品は-9%の0.5億円。

品目名		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		(参考) 主な輸出先国・地域
						1～6月	対前年同期比	
米・米加工品	数量 (原料米換算)	45,959トン	53,931トン	58,472トン	67,922トン	35,478トン	+12%	アメリカ 中国 香港 台湾 韓国
	金額	524億円	613億円	576億円	636億円	334億円	+13%	
米 (援助米を除く)	数量	22,833トン	28,928トン	37,186トン	45,112トン	23,662トン	+14%	香港(13,474) アメリカ(8,784) シンガポール(6,406) 台湾(3,577) カナダ(2,138)
	金額	59億円	74億円	94億円	120億円	68億円	+23%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	5,141トン	4,523トン	4,565トン	4,656トン	2,000トン	-6%	アメリカ 台湾 香港 韓国 サウジアラビア
	原料米換算	4,370トン	3,845トン	3,880トン	3,958トン	1,700トン	-6%	
	金額	56億円	55億円	61億円	66億円	28億円	-2%	
日本酒 (清酒)	数量	32,052 キロリットル	35,894 キロリットル	29,194 キロリットル	31,054 キロリットル	16,635 キロリットル	+10%	中国 アメリカ 香港 韓国 台湾
	原料米換算	18,054トン	20,218トン	16,444トン	17,492トン	9,370トン	+10%	
	金額	402億円	475億円	411億円	435億円	228億円	+12%	
パックご飯等 (加工米飯を含む)	数量	1,129トン	1,384トン	1,593トン	2,298トン	1,292トン	+30%	アメリカ 台湾 香港 オーストラリア シンガポール
	原料米換算	594トン	727トン	837トン	1,208トン	679トン	+30%	
	金額	6億円	8億円	10億円	14億円	9億円	+48%	
米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量	88トン	173トン	101トン	123トン	54トン	-14%	アメリカ タイ ドイツ ロシア 台湾
	原料米換算	108トン	213トン	125トン	152トン	67トン	-14%	
	金額	0.6億円	1.0億円	0.8億円	1.1億円	0.5億円	-9%	
米・パックご飯・加工米飯 ・米粉及び米粉製品	数量 (原料米換算)	23,535トン	29,868トン	38,148トン	46,472トン	24,408トン	+14%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 オーストラリア
	金額	66億円	83億円	105億円	136億円	77億円	+25%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

注2：「（参考）主な輸出先国・地域」は2024年の輸出金額上位5か国・地域を記載。米に関しては、2024年の輸出数量（トン）を記載。

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2025年1～6月の商業用の米の輸出は、輸出数量が23,662トン（対前年同期比+14%）、輸出額68億円（対前年同期比+23%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～6月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円										
輸出合計	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	28,928 (+27%)	7,382 (+24%)	37,186 (+29%)	9,411 (+27%)	45,112 (+21%)	12,029 (+28%)	23,662 (+14%)	6,775 (+23%)
香港	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	9,880	2,344	11,301	2,630	13,474	3,267	6,754 (+8%)	1,694 (+12%)
アメリカ	1,980	543	1,989	565	2,244	625	4,459	1,169	6,883	1,768	8,784	2,527	5,255 (+31%)	1,620 (+42%)
シンガポール	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	5,742	1,201	5,593	1,153	6,406	1,353	3,010 (+4%)	670 (+9%)
台湾	1,262	411	2,004	622	1,907	575	2,532	716	3,116	877	3,577	1,016	1,610 (+3%)	484 (+11%)
カナダ	158	51	205	62	210	69	382	104	1,629	394	2,138	546	1,145 (+7%)	328 (+20%)
タイ	578	145	555	145	625	162	1,045	256	1,299	307	1,787	461	1,276 (+64%)	356 (+79%)
オーストラリア	770	233	1,074	334	893	283	1,245	390	1,204	386	1,351	460	674 (+11%)	250 (+25%)
イギリス	450	131	451	131	332	104	526	162	587	193	853	290	493 (+6%)	184 (+19%)
ドイツ	140	52	144	58	185	68	239	81	582	186	867	269	418 (-7%)	144 (+3%)
スペイン	31	12	7	4	13	10	87	28	544	135	675	182	314 (+29%)	91 (+41%)
アラブ首長国連邦	55	23	58	25	96	45	130	49	389	116	487	172	339 (+43%)	117 (+28%)
フランス	93	40	112	49	173	72	237	93	395	135	473	172	333 (+26%)	121 (+30%)
フィリピン	11	4	26	8	59	20	84	33	396	113	462	144	85 (-72%)	40 (-54%)
オランダ	102	30	110	40	92	33	93	31	293	85	420	130	237 (+11%)	80 (+25%)
イスラエル	—	—	2	2	13	8	43	17	252	82	370	118	162 (+24%)	55 (+24%)
スイス	11	7	24	14	57	27	60	28	243	76	356	103	134 (+76%)	59 (+75%)
メキシコ	—	—	—	—	—	—	—	—	133	37	332	98	219 (+38%)	68 (+47%)
ベトナム	213	65	159	46	167	48	219	54	296	74	330	89	153 (-7%)	42 (-1%)
中国	1,007	363	1,002	321	575	219	764	262	526	170	172	64	14 (-80%)	9 (-61%)
ロシア	174	64	199	72	227	79	151	58	254	93	180	59	113 (+4%)	45 (+33%)
その他	1,031	271	986	237	1,055	343	1,010	306	1,271	402	1,618	511	924	319
(参考)EU ※	1,050	326	629	219	757	272	957	317	2,253	672	3,110	971	1,720 (+18%)	579 (+28%)

資料：財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く。)

注1：2024年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：()内は対前年同期増減比である。

注3：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

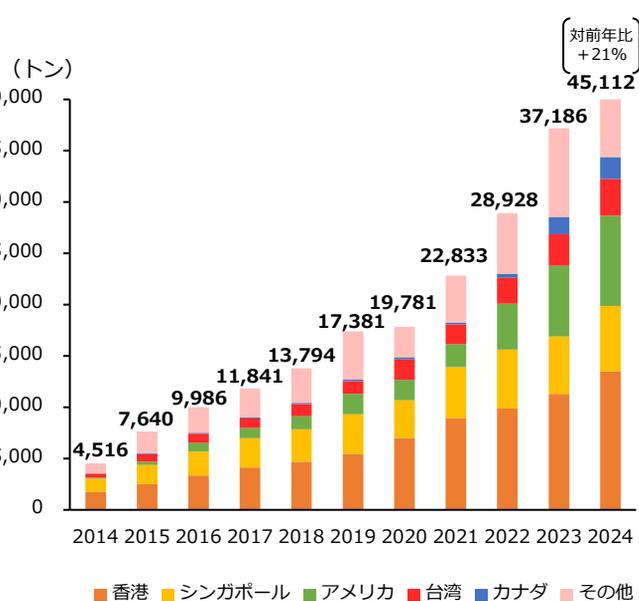
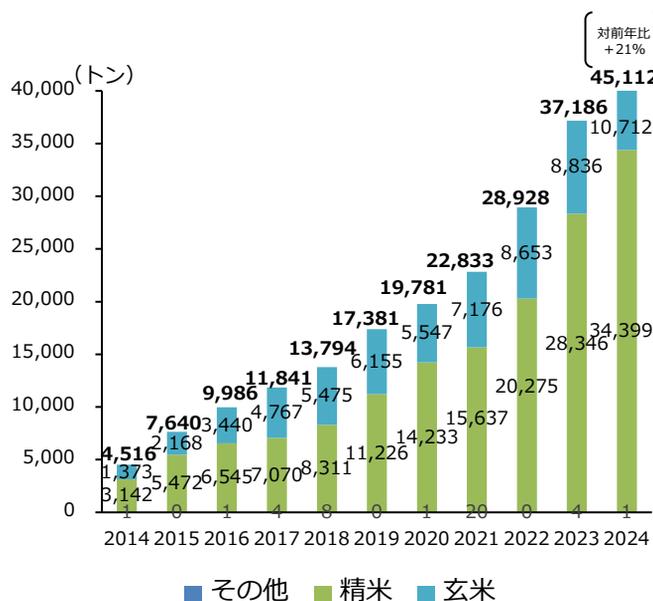
※：2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(3) 2024年の米の輸出実績の主な増加要因

2024年の米（精米・玄米・粳・碎米）の輸出数量は45,112トン（対前年比+21%）、輸出額は120億円（対前年比+28%）。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移

② 商業用の米の主な国・地域別輸出量の推移



香港 📈 13,474トン（対前年比+19%） 3,267百万円（対前年比+24%）

アメリカ 📈 8,784トン（対前年比+28%） 2,527百万円（対前年比+43%）

シンガポール 📈 6,406トン（対前年比+15%） 1,353百万円（対前年比+17%）

カナダ 📈 2,138トン（対前年比+31%） 546百万円（対前年比+38%）

- ・ 外食向けの需要増加等により、輸出が大きく増加。

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2025年1～6月の米菓の輸出は、輸出数量が2,000トン（対前年同期比-6%）、輸出額が28.5億円（対前年同期比-2%）と、数量・金額ともに減少。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～6月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)	5,141 (+22%)	5,637 (+24%)	4,523 (-12%)	5,503 (-2%)	4,565 (+1%)	6,098 (+11%)	4,656 (+2%)	6,571 (+8%)	2,000 (-6%)	2,850 (-2%)
アメリカ	1,100	1,122	1,134	1,145	1,411	1,459	1,274	1,538	1,294	1,634	1,279	1,777	548 (-16%)	751 (-14%)
台湾	854	894	989	1,057	1,123	1,248	945	1,150	941	1,242	1,056	1,528	489 (+14%)	642 (+6%)
香港	603	724	629	749	718	863	548	718	656	945	552	829	283 (+8%)	427 (+14%)
韓国	119	156	65	77	95	118	141	192	211	309	233	364	77 (-26%)	128 (-17%)
サウジアラビア	258	161	335	215	380	252	462	360	273	263	315	331	162 (+45%)	182 (+70%)
シンガポール	209	243	227	267	233	281	193	283	174	292	154	268	62 (-13%)	105 (-21%)
ベトナム	75	155	90	195	93	210	95	218	83	208	91	241	37 (-14%)	90 (-23%)
タイ	62	83	80	104	96	121	95	127	95	134	104	150	38 (-32%)	61 (-23%)
オーストラリア	127	111	108	96	135	118	160	132	146	140	111	115	53 (-17%)	56 (-7%)
カナダ	35	42	35	41	40	52	38	51	60	90	76	113	55 (+63%)	99 (+88%)
オランダ	58	61	68	73	93	114	65	94	83	119	77	110	14 (-64%)	25 (-51%)
マレーシア	39	41	53	56	89	101	66	76	75	98	73	100	29 (-12%)	39 (-14%)
ブルガリア	149	40	102	25	144	33	76	22	106	38	181	71	23 (-75%)	9 (-75%)
グアム	19	24	21	27	22	34	19	30	19	35	36	65	10 (-55%)	21 (-51%)
アラブ首長国連邦	16	23	9	14	9	13	35	43	19	31	46	60	3 (-48%)	6 (-33%)
イギリス	21	32	21	34	13	20	14	19	19	35	29	57	11 (-10%)	25 (+7%)
フィリピン	27	27	26	27	33	33	20	26	31	38	33	51	16 (+9%)	27 (+19%)
ブラジル	40	41	26	27	24	24	28	30	40	49	39	47	12 (-12%)	17 (+16%)
スイス	12	19	14	21	13	20	10	19	13	28	18	41	8 (+29%)	16 (+28%)
中国	87	160	76	139	220	315	112	186	86	163	21	35	6 (-34%)	10 (-37%)
その他	123	149	116	144	156	206	128	190	141	207	133	219	65	116
(参考)EU ※	267	183	209	148	271	199	174	175	219	212	296	251	59 (-59%)	77 (-34%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：2024年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：()内は対前年同期増減比である。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(5) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2025年1～6月の日本酒の輸出は、輸出数量が16,635キロリットル（対前年同期比+10%）、輸出額が228億円（対前年同期比+12%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～6月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)	32,052 (+47%)	40,178 (+66%)	35,894 (+12%)	47,489 (+18%)	29,194 (-19%)	41,063 (-14%)	31,054 (+6%)	43,456 (+6%)	16,635 (+10%)	22,819 (+12%)
中国	5,145	5,001	4,772	5,792	7,268	10,279	7,388	14,161	5,792	12,447	5,323	11,671	3,312 (+45%)	6,686 (+30%)
アメリカ	6,452	6,757	5,270	5,070	8,826	9,591	9,084	10,930	6,502	9,091	8,003	11,442	4,072 (+2%)	5,736 (+1%)
香港	1,926	3,943	2,629	6,178	3,243	9,308	2,717	7,116	2,328	6,024	2,015	5,117	1,016 (+3%)	2,501 (+16%)
韓国	2,912	1,360	1,535	979	2,418	1,503	4,054	2,523	4,192	2,905	4,894	3,743	2,767 (+4%)	2,141 (+7%)
台湾	2,246	1,359	2,273	1,430	2,648	1,726	3,076	2,222	3,104	2,677	2,890	2,670	1,446 (+0%)	1,260 (-3%)
シンガポール	609	857	688	1,113	919	1,802	917	2,326	698	1,510	702	1,484	306 (-11%)	674 (-8%)
カナダ	715	548	549	429	750	676	1,005	1,163	671	755	926	1,041	561 (+19%)	605 (+26%)
オーストラリア	483	439	525	491	747	730	806	932	532	645	678	782	304 (+5%)	398 (+17%)
イギリス	352	373	220	215	397	444	484	607	402	544	422	637	198 (-9%)	288 (-11%)
フランス	270	285	222	213	438	490	427	524	370	488	436	552	247 (+1%)	320 (+7%)
ベトナム	437	376	342	279	328	298	693	706	388	453	340	411	126 (+1%)	151 (+3%)
タイ	627	276	498	225	457	212	681	427	619	380	606	407	313 (+4%)	246 (+19%)
マレーシア	253	242	309	278	334	334	582	626	312	381	362	395	160 (+7%)	202 (+27%)
ドイツ	477	242	402	207	623	318	664	358	607	321	614	382	303 (+4%)	172 (-5%)
オランダ	247	142	288	178	460	273	484	341	323	318	461	365	221 (+9%)	191 (+1%)
イタリア	339	129	242	89	391	163	494	198	429	229	384	269	236 (+55%)	187 (+63%)
スペイン	130	75	81	49	195	154	263	163	218	170	268	225	116 (-12%)	109 (+2%)
ブラジル	248	119	146	76	272	152	344	178	329	189	279	192	170 (+43%)	106 (+39%)
フィリピン	114	71	56	52	68	81	119	140	113	123	140	165	49 (-27%)	51 (-23%)
アラブ首長国連邦	52	55	41	38	107	175	158	257	48	93	89	164	36 (-1%)	65 (-22%)
その他	891	765	673	760	1,162	1,469	1,452	1,593	1,218	1,322	1,223	1,343	676	730
(参考)EU ※	2,023	1,421	1,447	915	2,330	1,592	2,712	1,944	2,239	1,798	2,463	2,084	1,317 (+13%)	1,165 (+12%)

資料：財務省「貿易統計」
注1：2024年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。
注2：()内は対前年同期増減比である。
※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(6) パックご飯等の輸出数量及び金額の推移

2025年1～6月のパックご飯等の輸出は、輸出数量が1,292トン（対前年同期比+30%）、輸出額が9.1億円（対前年同期比+48%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～6月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,205 (+18%)	658 (+28%)	1,129 (-6%)	593 (-10%)	1,384 (+23%)	790 (+33%)	1,593 (+15%)	996 (+26%)	2,298 (+44%)	1,433 (+44%)	1,292 (+30%)	911 (+48%)
アメリカ	442	167	447	169	454	177	545	255	635	341	1,162	599	674 (+36%)	383 (+47%)
台湾	105	56	145	88	123	99	127	115	202	169	245	184	155 (+31%)	124 (+35%)
香港	130	77	261	170	215	126	312	178	280	175	267	157	128 (+9%)	114 (+62%)
オーストラリア	3	2	20	9	4	2	5	3	4	3	120	127	70 (+87%)	78 (+95%)
シンガポール	21	17	43	24	48	26	61	36	97	52	122	80	46 (-6%)	32 (-3%)
ミャンマー	0	0	2	4	—	—	3	9	37	42	20	53	11 (+92%)	27 (+103%)
韓国	31	17	20	11	52	25	106	48	111	56	97	49	36 (-27%)	19 (-26%)
タイ	63	27	75	34	83	39	57	26	69	32	82	42	59 (+47%)	33 (+76%)
ニュージーランド	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	18	31 (+421%)	24 (+414%)
ベトナム	82	79	66	69	47	36	49	43	23	20	20	17	5 (-16%)	4 (-31%)
グアム	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	21	13	5 (-60%)	3 (-57%)
カナダ	6	3	5	2	7	3	10	6	27	22	20	12	15 (+80%)	10 (+92%)
中国	96	42	68	43	44	27	55	29	16	10	16	12	13 (+484%)	22 (+1,544%)
オランダ	4	3	4	5	1	2	4	7	5	9	7	11	7 (+53%)	10 (+59%)
インドネシア	5	4	10	6	12	7	9	6	14	9	13	10	5 (+5%)	4 (+7%)
マレーシア	1	1	8	5	4	3	5	3	19	9	16	10	15 (+107%)	8 (+108%)
イギリス	9	4	10	5	8	4	5	4	13	10	8	7	3 (+37%)	3 (+62%)
モンゴル	—	—	—	—	—	—	0	0	1	2	9	7	— (-100%)	— (-100%)
フィリピン	4	4	3	3	2	2	5	7	11	10	4	5	1 (-58%)	1 (-74%)
ドイツ	0	1	0	1	2	3	4	3	1	2	3	4	0 (-79%)	1 (-71%)
その他	15	10	19	11	25	13	20	11	28	21	22	17	12	10
(参考)EU ※	17	11	14	9	13	8	21	15	16	20	18	20	8 (-30%)	12 (+2%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：2024年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。（2017年1月から単独のコードとして独立。）

注3：（ ）内は対前年同期増減比である。

注4：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注5：数量0.5トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注6：金額0.5百万円未満の場合は、金額の欄が「0」と表記されている。

注7：対前年同期増減比を記載していないのは、貿易統計上2024年1～6月の輸出実績が計上されていないため。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

2025年1～6月の米粉の輸出は、輸出数量が42トン（対前年同期比-13%）、輸出額が35.8百万円（対前年同期比-1%）と、数量・金額ともに減少。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～6月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	118	32.8	226 (+92%)	48.4 (+48%)	72 (-68%)	36.8 (-24%)	144 (+100%)	67.9 (+85%)	76 (-47%)	49.6 (-27%)	90 (+18%)	73.1 (+47%)	42 (-13%)	35.8 (-1%)
タイ	24	9.5	28	10.6	41	15.9	40	16.6	27	14.5	53	26.7	14 (-48%)	8.7 (-36%)
ロシア	0	0.6	8	3.3	2	1.6	2	1.0	2	1.4	10	9.2	3 (-40%)	2.5 (-41%)
台湾	1	2.2	0	1.8	2	4.4	5	8.2	3	6.7	4	7.2	4 (+100%)	6.7 (+57%)
アメリカ	68	11.5	184	29.4	0	2.3	34	13.0	20	8.7	2	7.1	0 (-100%)	3.4 (-14%)
シンガポール	1	0.6	0	0.3	0	1.4	2	3.9	5	6.1	4	6.5	0 (-100%)	1.4 (-9%)
フランス	—	—	0	0.4	0	0.8	1	4.9	0	3.0	0	5.7	0 (注4)	2.1 (-19%)
ドイツ	11	3.4	—	—	6	2.7	42	15.9	14	4.4	16	5.7	21 (+110%)	7.3 (+109%)
オーストラリア	—	—	—	—	—	—	0	0.2	—	—	1	1.6	— (-100%)	— (-100%)
フィリピン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.8	— (注5)	— (注5)
マレーシア	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1.0	0	0.7	0 (注5)	0.3 (注5)
エストニア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.6	0 (注4)	0.4 (-25%)
インドネシア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.5	0 (注5)	1.0 (注5)
オランダ	11	3.1	6	2.3	18	6.4	8	0.9	—	—	0	0.4	— (注4)	— (-100%)
香港	1	0.8	0	0.3	2	1.1	2	1.7	3	2.0	0	0.3	0 (注4)	0.6 (+142%)
カナダ	—	—	—	—	—	—	0	0.2	—	—	0	0.2	— (注4)	— (-100%)
メキシコ	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.7	—	—	— (注5)	— (注5)
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	1	0.2	0	0.3	0	0.5	—	—	0 (注5)	1.0 (注5)
ベトナム	0	0.3	—	—	—	—	—	—	0	0.3	—	—	— (注5)	— (注5)
ナイジェリア	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.2	—	—	— (注5)	— (注5)
スウェーデン	—	—	—	—	—	—	8	1.2	—	—	—	—	— (注5)	— (注5)
その他	1	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.4
(参考)EU ※	23	7.2	6	2.7	24	9.9	59	22.9	14	7.5	16	12.5	21 (+110%)	9.8 (+43%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年同期増減比である。

注2：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3：数量1トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注4：対前年同期増減比を記載していないのは、貿易統計上2024年1～6月の数量が1トン未満であるため。

注5：対前年同期増減比を記載していないのは、貿易統計上2024年1～6月の輸出実績が計上されていないため。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(8) 米粉麵等の輸出数量及び金額の推移

2025年1～6月の米粉麵等の輸出は、輸出数量が12.0トン（対前年同期比-17%）、輸出額が13.9百万円（対前年同期比-25%）と、数量・金額ともに減少。

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～6月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	23.2	24.1	15.8 (-32%)	19.2 (-20%)	28.9 (+83%)	30.3 (+58%)	25.4 (-12%)	27.9 (-8%)	33.4 (+31%)	37.6 (+35%)	12.0 (-17%)	13.9 (-25%)
アメリカ	10.6	11.8	5.9	9.1	11.9	14.8	13.3	16.1	15.1	21.3	2.7 (-69%)	3.6 (-72%)
イタリア	2.4	2.2	2.7	2.5	3.2	2.9	1.0	0.9	3.6	3.8	1.2 (-41%)	1.5 (-30%)
ドイツ	—	—	—	—	8.4	5.8	3.8	2.6	5.8	3.7	4.2 (+76%)	2.9 (+87%)
サウジアラビア	0.7	0.9	—	—	—	—	1.0	1.9	1.3	2.3	— (-100%)	— (-100%)
香港	5.6	5.3	2.0	2.0	0.7	0.6	1.1	0.8	3.9	2.2	0.6 (+262%)	0.7 (+230%)
オーストリア	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	1.3	— (注3)	— (注3)
オランダ	0.8	0.9	2.3	2.3	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8	0.7	— (-100%)	— (-100%)
スペイン	2.1	2.0	1.7	1.5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.5	0.6	1.2 (注3)	1.4 (注3)
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	—	—	—	—	0.2	0.5	— (-100%)	— (-100%)
オーストラリア	0.2	0.2	0.3	0.5	0.8	0.9	0.4	0.5	0.4	0.4	— (注3)	— (注3)
スウェーデン	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	0.4	— (注3)	— (注3)
インドネシア	—	—	—	—	—	—	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2 (注3)	0.3 (注3)
ミャンマー	—	—	—	—	—	—	0.5	1.0	—	—	— (注3)	— (注3)
カナダ	0.3	0.3	0.2	0.3	1.0	1.3	0.7	0.8	—	—	0.4 (注3)	0.6 (注3)
シンガポール	0.6	0.5	—	—	—	—	1.0	0.7	—	—	— (注3)	— (注3)
スロベニア	—	—	—	—	—	—	0.6	0.6	—	—	— (注3)	— (注3)
ポルトガル	—	—	—	—	—	—	0.4	0.5	—	—	0.2 (注3)	0.2 (注3)
中国	—	—	0.3	0.6	0.7	1.2	—	—	—	—	— (注3)	— (注3)
イスラエル	—	—	—	—	0.5	0.7	—	—	—	—	— (注3)	— (注3)
ニュージーランド	—	—	—	—	0.2	0.3	—	—	—	—	— (注3)	— (注3)
その他	—	—	0.5	0.4	0.4	0.5	—	—	—	—	1.3	2.6

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年同期増減比である。

注2：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3：対前年同期増減比を記載していないのは、貿易統計上2024年1～6月の輸出実績が計上されていないため。

注4：2022年から2024年の輸出金額を踏まえ、国・地域を記載。

2 米・米加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

(輸出拡大実行戦略のうち「米・パックご飯・加工米飯・米粉及び米粉製品」の輸出目標等)



1. 国別輸出額目標

国名	2024年実績※	2030年目標※	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	136億円	922億円	—
米国	32億円	216億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西海岸・東海岸の主要都市や日系事業者だけでなく、中部などの地方都市の市場の開拓及び非日系のレストランやスーパーを中心とした商流構築の拡大が課題 ・ 中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・ 品目団体・JETRO・JFOODOが連携し、寿司やおにぎり等の米を使った日本食のプロモーションや商流構築を推進することで、上記課題の克服を図る ・ 有機食品への関心の高まりを切り口に有機米の販売促進を図る
E U・英国	13億円	176億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本食の需要拡大にあわせて、日本産米のプロモーション等を実施しているが、輸出実績は小規模で現地に十分浸透していない ・ 中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・ 品目団体・JETRO・JFOODOが連携し、米を使った日本食のプロモーションや商流構築を推進することで、寿司やおにぎり等の切り口で各国における非日系を含めた市場開拓・拡大を図る ・ 品目団体による展示会への出展や商談会の開催のほか、他品目との連携による顧客の深掘りや、拡大するグルテンフリー市場において米粉・米粉製品の需要開拓を図る ・ 容器・包装等の各種規制への対応に必要な取組を支援する ・ 英国のCPTPP加入に伴う関税撤廃を追い風に更なる輸出拡大を図る ・ 有機食品への関心の高まりを切り口に有機米の販売促進を図る
シンガポール・台湾・香港	61億円	141億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出事業者が日系外食店・小売店を中心に需要を開拓しているが、一部では日本産米同士の競争が生じている ・ 他国産ジャポニカ米が安価で販売されており、価格による競争は限界 ・ 「冷めてもおいしい」といった日本産米の特性を訴求し、既存の販路に加え、非日系のレストランやスーパーとの商流やECサイトなど新たな販路の構築により更なる需要開拓を図る ・ 高級外食店・小売店に加え、手軽に食べられることが人気のおにぎり等のプロモーションを通じて日本産米の更なる市場開拓を図る
中国	0.8億円	128億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定精米工場及び登録くん蒸倉庫の追加や原発事故に伴う輸入規制の即時撤廃を、政府一丸となって強く働きかける ・ くん蒸対応の不要なパックご飯の需要拡大、認証の取得や必要な機械・設備の導入等を支援 ・ 中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・ インバウンド向けを含め、日本料理店等をターゲットとしたプロモーションやバイヤー招へい等を通じた商流構築を推進
カナダ	6億円	104億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炊飯の習慣が必ずしも一般的ではない中で、より簡便に日本産米を食べることが可能なパックご飯の需要拡大を図りつつ、寿司等の日本食の広がりに応じた日本産米の需要開拓を図る
その他 (中東、豪州等)	24億円	157億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・ インバウンドによる食消費の拡大を通じた輸出拡大との好循環の形成を図る

※ 四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある

2. 輸出産地の育成・展開

育成すべき輸出産地	
【現状（2024年）】フラッグシップ輸出産地 6 産地 【目標（2030年）】フラッグシップ輸出産地30産地を目指す	
現状・課題	方策
<ul style="list-style-type: none"> 供給が追いつかず、旺盛な海外需要に応えきれしていない 他国産に比べ割高で、国際競争力も十分でない 	<ul style="list-style-type: none"> 農地の大区画化等の基盤整備、農地の集積・集約化による分散錯圃の解消等の生産基盤の強化の推進、官民をあげた多収品種の普及・開発の拡大、スマート農業等と低コスト生産技術の導入・定着、輸出産地の規模拡大等に伴う精米施設・乾燥調製施設の整備等により、低コストで生産できる大規模輸出産地の形成や海外需要のある有機米の作付け拡大を推進

3. 加工施設等の整備及び認証の取得

現状・課題	方策
<ul style="list-style-type: none"> 輸出先国・地域の規制等への対応が十分進んでいない 物流における低コスト化や輸送効率の改善が十分行われていない 	<ul style="list-style-type: none"> パックご飯や加工米飯について、輸出先国・地域の規制に対応するための国際認証等の取得や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援 生産者と輸出事業者等のマッチングを促進する等、生産から販売までの国内外一貫したサプライチェーンの構築を推進 国内流通も含め、低コスト化や作業効率の改善につながる産地から精米工場への推奨フレコンによる出荷や鉄道へのモーダルシフトを推進

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

現状・課題	方策
<ul style="list-style-type: none"> 更なる輸出拡大が見込める主要輸出先国・地域での新たな購買層の深掘りや輸出事業者の進出が不十分な国・地域での市場開拓が不十分 海外における日本産米の理解醸成が十分でない 	<ul style="list-style-type: none"> （一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）による輸出国・地域のマーケット情報の収集・発信、プロモーション活動を実施。実施に際しては、他の品目団体や輸出支援プラットフォームとも連携 現地ニーズを踏まえた商品提案や商流構築を行うため、現地にエージェントを設置 輸出支援プラットフォーム等とも連携して、消費者と事業者に対し、日本産米の多様性や特徴をPRするなど、マーケットに応じた訴求を図る インバウンドによる食消費の拡大を通じた輸出拡大との好循環の形成を図る

3 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

（単位：千玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	輸入方式別	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度	360	322	70	-	15	767	699	60
令和3年度	345	314	69	27	12	767	743	21
令和4年度	236	398	81	40	11	767	751	14
令和5年度	348	333	28	41	16	767	693	66
令和6年度	346	286	42	70	24	767	649	100
令和7年度 (8月5日時点)	148	56	68	26	3	301	234	60

資料：農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、例年600～800トン程度

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果（令和6年度）

（単位：実トン）

令和6年度(うち)		令和5年度(うち)	
令和6年4～6月分（長期契約）	31,350	令和5年4～6月分（長期契約）	12,448
4月分（月別契約）	290	4月分（月別契約）	310
5月分（月別契約）	3,225	5月分（月別契約）	384
6月分（月別契約）	3,543	6月分（月別契約）	560
令和6年4～6月小計	38,408	令和5年4～6月小計	13,702
7～9月分（長期契約）	26,446	7～9月分（長期契約）	16,008
7月分（月別契約）	351	7月分（月別契約）	161
8月分（月別契約）	577	8月分（月別契約）	339
9月分（月別契約）	1,029	9月分（月別契約）	978
令和6年7～9月小計	28,403	令和5年7～9月小計	17,486
10～12月分（長期契約）	24,512	10～12月分（長期契約）	17,526
10月分（月別契約）	382	10月分（月別契約）	448
11月分（月別契約）	1,591	11月分（月別契約）	383
12月分（月別契約）	3,266	12月分（月別契約）	1,354
令和6年10～12月小計	29,751	令和5年10～12月小計	19,711
令和7年1～3月分（長期契約）	26,769	令和6年1～3月分（長期契約）	29,745
1月分（月別契約）	391	1月分（月別契約）	339
2月分（月別契約）	389	2月分（月別契約）	243
3月分（月別契約）	1,194	3月分（月別契約）	1,694
令和7年1～3月小計	28,743	令和6年1～3月小計	32,021
令和6年度うち合計	125,305	令和5年度うち合計	82,920

令和6年度(もち)		令和5年度(もち)	
令和6年4～7月分	2,400	令和5年4～7月分	2,117
8～11月分	3,184	8～11月分	2,673
令和6年12～令和7年3月分	2,257	令和5年12～令和6年3月分	1,877
令和6年度もち合計	7,841	令和5年度もち合計	6,667

※うち見積合せ結果のうち以下は契約解除

- ・ 4月分（月別契約）290トンのうち5トン
- ・ 7～9月分（長期契約）26,446トンのうち25トン

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合せ結果の概要について」

5 SBS輸入米の見積合せ結果（令和7年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 （令和7年6月27日）	一般米	23,961	80	708		560				1,691		27,000
	砕精米	1,120	380					1,500				3,000
	計	25,081	460	708		560		1,500		1,691		30,000
第2回 （令和7年7月16日）	一般米	14,800	880	1,096		180		9,460		580		26,996
	砕精米	600	100	1,800	108			222		170		3,000
	計	15,400	980	2,896	108	180		9,682		750		29,996
令和7年度計	一般米	38,761	960	1,804	0	740	0	9,460	0	2,271	0	53,996
	砕精米	1,720	480	1,800	108	0	0	1,722	0	170	0	6,000
	計	40,481	1,440	3,604	108	740	0	11,182	0	2,441	0	59,996
令和6年度計 （参考）	一般米	55,104	1,736	4,996	90	980	0	11,126	0	15,968	0	90,000
	砕精米	2,992	780	2,260	108	0	0	3,000	0	860	0	10,000
	計	58,096	2,516	7,256	198	980	0	14,126	0	16,828	0	100,000
令和5年度計 （参考）	一般米	31,102	1,960	7,159	162	1,234	0	1,012	0	8,827	72	51,528
	砕精米	11,730	500	600	234	0	0	0	0	940	0	14,004
	計	42,832	2,460	7,759	396	1,234	0	1,012	0	9,767	72	65,532
令和4年度計 （参考）	一般米	54	1,116	4,111	184	0	0	0	0	3,793	0	9,258
	砕精米	908	300	1,360	316	200	0	0	0	1,400	0	4,484
	計	962	1,416	5,471	500	200	0	0	0	5,193	0	13,742
令和3年度計 （参考）	一般米	1,094	2,492	4,132	222	670	0	0	0	5,202	0	13,812
	砕精米	4,534	300	1,700	0	440	0	0	0	600	0	7,574
	計	5,628	2,792	5,832	222	1,110	0	0	0	5,802	0	21,386
令和2年度計 （参考）	一般米	25,727	1,732	4,384	180	1,620	0	0	0	8,678	0	42,321
	砕精米	14,342	300	2,310	0	500	0	0	0	500	0	17,952
	計	40,069	2,032	6,694	180	2,120	0	0	0	9,178	0	60,273

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和7年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和7年5月27日）	一般米	1,200	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,200	0
第2回 （令和7年7月29・30日）	一般米	1,005	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,005	0
令和7年度計	一般米	2,205	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	2,205	0
令和6年度計 （参考）	一般米	6,960	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	6,960	0
令和5年度計 （参考）	一般米	6,198	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	6,198	0
令和4年度計 （参考）	一般米	520	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	520	0
令和3年度計 （参考）	一般米	620	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	620	0
令和2年度計 （参考）	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位: 玄米トン)

			合計	(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	194,452	48,736	243,188	97,543	150,309
3年産	195,333	66,867	262,200	98,608	163,792
4年産	201,345	69,644	270,989	101,576	174,078
5年産	195,311	70,965	266,276	95,642	174,506
6年産	204,855	67,462	272,317	102,366	175,007

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注1：「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。

注2：参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注3：参考の平成27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。

注4：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位: 面積ha、生産量玄米トン)

	新規需要米		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール用米		その他 (わら専用稲・青刈り用稲)	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量		面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-
令和元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	-	-	-	-	114	-
2年産	126,205	446,901	6,346	33,391	70,883	380,502	42,791	6,089	33,008	-	-	-	-	96	-
3年産	174,497	741,209	7,632	41,615	115,744	662,724	44,248	6,748	36,869	-	-	-	-	124	-
4年産	206,203	889,073	8,403	45,903	142,055	803,390	48,404	7,248	39,780	-	-	-	-	92	-
5年産	203,729	834,965	7,587	40,298	133,925	744,893	53,055	9,091	49,775	-	-	-	-	71	-
6年産	172,790	615,508	6,330	31,744	98,666	522,631	56,479	11,246	61,133	-	-	-	-	69	-

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成22年産～令和6年産）」

注1：「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注2：「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（以下「要領」）に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注3：平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注4：「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 令和6年産 都道府県別の生産状況

(単位: 玄米トン)

産地	加工用米			新規需要米				政府備蓄米	合計
		うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米		
全国	272,317	204,855	67,462	615,508	522,631	61,133	31,744	172,016	1,059,841
北海道	38,360	25,986	12,374	50,093	35,178	14,034	881	4,686	93,138
青森	4,294	3,872	422	35,017	32,088	2,878	50	24,416	63,727
岩手	7,011	5,623	1,388	28,978	26,513	2,373	93	3,415	39,404
宮城	5,161	4,171	990	46,162	39,253	6,436	473	11,276	62,599
秋田	48,823	28,293	20,530	18,536	13,916	3,077	1,543	14,512	81,871
山形	24,357	21,984	2,374	29,692	26,441	2,684	567	20,195	74,244
福島	2,413	2,127	286	38,300	37,228	989	83	26,313	67,026
茨城	6,872	6,544	328	60,223	53,937	5,763	523	616	67,710
栃木	10,393	10,125	268	64,808	60,384	321	4,103	5,773	80,974
群馬	6,790	6,790		5,579	4,669	11	899		12,369
埼玉	665	665		13,288	8,810	271	4,207	204	14,156
千葉	11,346	6,683	4,663	39,028	38,165	264	599	642	51,016
東京									
神奈川				58	57		1		58
新潟	36,416	20,796	15,620	32,854	15,491	9,842	7,521	24,499	93,769
富山	6,073	4,617	1,456	14,149	10,485	2,007	1,658	10,261	30,483
石川	2,799	2,130	670	4,253	2,466	477	1,310	874	7,926
福井	2,552	2,088	465	9,883	7,879	1,404	600	2,500	14,935
山梨	338	335	4	189	90		99		527
長野	4,626	4,447	179	4,056	1,992	1,868	197	1,352	10,034
岐阜	5,424	5,418	6	14,417	13,440	605	373	423	20,264
静岡	509	509		3,651	3,625	3	22	19	4,179
愛知	3,193	3,001	192	8,079	6,400	194	1,485	722	11,994
三重	845	789	56	8,718	7,914	556	247	0	9,562
滋賀	2,562	2,166	397	8,573	7,144	1,217	212	1,159	12,294
京都	2,609	2,595	14	656	506	102	48		3,265
大阪	1	1		34	30		4		35
兵庫	3,289	3,042	247	4,075	2,883	1,021	171		7,364
奈良	45	45		295	144		150		340
和歌山				18	13		5		18
鳥取	86	86		3,495	3,355	137	4	389	3,970
島根	1,050	946	104	3,386	3,339	12	35	126	4,562
岡山	1,525	1,436	89	7,165	5,654	1,082	428	191	8,881
広島	1,895	1,780	115	2,905	2,146	285	474	28	4,829
山口	4,791	4,700	91	5,563	5,092	377	95		10,355
徳島	92	89	2	2,975	2,741	179	55	235	3,302
香川	246	246		1,023	816	173	34		1,269
愛媛	260	260		1,651	1,625		26		1,912
高知	410	410		3,775	3,692		83	10	4,195
福岡	1,033	546	487	11,078	9,781	56	1,241	35	12,146
佐賀	2,022	100	1,921	3,884	3,745	45	94	0	5,905
長崎	26	26		630	591	15	23		656
熊本	3,389	1,727	1,662	8,038	6,959	208	871	0	11,427
大分	751	751		8,696	8,639	20	37	91	9,538
宮崎	10,276	10,276		4,523	4,307	143	73		14,799
鹿児島	6,571	6,508	63	3,060	3,009	4	47		9,631
沖縄	128	128		3	1		1		131

資料：農林水産省「加工用米生産量（年産別、都道府県別）」、「令和6年産新規需要米生産集出荷数量」、「令和6年産備蓄米の政府買入入札の結果」

注1：政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分17,054トンを含んでいる。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
あきいいな、亜細亜のかおり、いわいだわら、笑みたわわ、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名	都道府県	品種名
北海道	そらゆたか	三重県	タチアオバ、あきだわら、やまだわら
青森県	ゆたかまる	滋賀県	吟おうみ
岩手県	つぶゆたか、つぶみのり、たわわっこ	京都府	あきだわら、やまだわら
宮城県	東北211号	兵庫県	あきだわら、兵庫牛若丸
秋田県	秋田63号、たわわっこ	鳥取県	日本晴、コガネヒカリ
山形県	山形22号、山形糯110号	島根県	みほひかり
福島県	たちすがた、アキヒカリ、まいひめ	岡山県	中生新千本、とよめき、やまだわら
茨城県	月の光、あきだわら、ちほみのり	広島県	中生新千本
栃木県	月の光	山口県	あきだわら
群馬県	月の光	徳島県	あきだわら
埼玉県	むさしの26号	愛媛県	媛育71号
千葉県	アキヒカリ、初星	高知県	とよめき、たちはるか
山梨県	ふくおこし	福岡県	ツクシホマレ、夢一献、タチアオバ
長野県	ふくおこし	佐賀県	レイホウ、さがうらら
静岡県	どんとこい、あきだわら、月の光	長崎県	夢十色
新潟県	新潟次郎、アキヒカリ、ゆきみのり、亀の蔵、いただき、ゆきみらい	熊本県	タチアオバ、越のかおり
富山県	やまだわら、アキヒカリ	大分県	タチアオバ
石川県	アキヒカリ、とよめき、やまだわら	宮崎県	タチアオバ、み系358、宮崎52号、ひなたみのり
福井県	あきだわら、シャインパール	鹿児島県	タチアオバ、ルリアオバ、ミナミユタカ、夢十色、夢はやと、くいつき
岐阜県	あきだわら、アキヒカリ		
愛知県	タチアオバ、たちはるか、とよめき、もみゆたか		

(5) 新規需要米における米粉用向け専用品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
亜細亜のかおり、あみちゃんまい、越のかおり、笑みたわわ、北瑞穂、こなだもん、ふくのこ、ほしのこ、ミズホチカラ

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名
青森県	あおもりっこ
宮崎県	ひなたみのり

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン、kℓ)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年 (1～5月)	対前年 同期比
	加工米飯	390,170	398,750	404,707	409,034	428,950	440,068	471,765	196,711
レトルト米飯	28,163	27,474	27,245	27,885	32,435	41,713	46,534	19,998	106%
無菌包装米飯	170,218	182,797	197,185	206,179	213,376	208,654	216,270	92,020	110%
冷凍米飯	181,559	178,068	171,307	166,099	174,158	181,357	200,050	81,331	103%
チルド米飯	4,845	4,520	3,894	3,624	3,245	2,885	2,895	994	88%
缶詰米飯	553	526	422	422	451	395	402	131	87%
乾燥米飯	4,832	5,365	4,654	4,825	5,285	5,063	5,614	2,237	95%
米菓	221,481	221,796	219,437	214,587	212,519	203,933	202,915	84,595	98%
あられ	93,504	92,259	93,506	93,836	93,674	90,294	90,526	36,996	98%
せんべい	127,977	129,537	125,931	120,751	118,845	113,639	112,389	47,599	99%
味噌	478,068	481,574	474,700	462,083	468,027	457,850	456,487	186,379	101%
米みそ	408,093	412,038	404,717	394,187	399,840	391,542	394,048	161,137	102%
調合みそ	28,483	27,950	28,805	28,687	31,263	31,627	30,777	13,110	102%
(麦みそ)	16,166	15,555	16,466	15,653	13,275	12,977	12,439	5,031	93%
(豆みそ)	25,326	26,031	24,712	23,556	23,649	21,704	19,223	7,101	86%
米穀粉	93,956	91,179	91,076	84,964	92,470	96,998	102,740	43,099	99%
上新粉	45,643	43,345	40,559	35,918	42,676	42,984	43,007	17,147	89%
もち粉	9,663	9,406	8,280	8,812	9,683	9,728	10,499	4,308	98%
白玉粉	4,821	4,742	4,851	4,062	4,068	4,282	4,181	1,663	104%
寒梅粉	1,534	1,560	1,485	1,492	1,507	1,535	1,491	654	98%
らくがん粉・みじん粉	984	1,120	1,013	993	1,008	732	769	274	84%
だんご粉	1,310	1,159	1,114	1,016	1,042	1,002	995	408	98%
菓子種	2,506	2,508	2,528	2,183	1,885	1,947	2,126	715	75%
新規米粉	27,495	27,339	31,246	30,488	30,601	34,787	39,672	17,930	113%
包装もち	59,536	60,894	66,181	65,570	67,696	70,812	68,150	21,112	108%
日本酒	495,052	466,872	418,507	404,299	404,486	390,443	377,655	142,675	98%
特定名称酒	170,642	164,641	142,121	138,084	145,394	145,644	143,370	53,998	100%
吟醸酒	23,126	22,240	19,682	19,464	19,736	18,727	18,803	24,743	100%
純米吟醸酒	45,377	45,491	40,362	41,611	45,582	47,645	46,937	18,212	99%
純米酒	63,998	61,799	54,729	52,669	55,250	55,035	55,179	21,546	102%
本醸造酒	38,141	35,111	27,349	24,339	24,826	24,237	22,452	7,709	94%
一般酒	324,410	302,231	276,386	266,215	259,092	244,800	234,285	88,677	96%
単式蒸留焼酎	441,824	424,569	411,894	389,556	392,344	371,022	355,068	133,539	96%
いも焼酎	189,979	182,169	176,801	164,226	165,230	154,434	146,185	55,587	100%
米焼酎	36,362	34,531	31,507	29,552	29,897	29,690	29,086	10,926	90%
(麦焼酎)	176,608	171,222	168,352	162,420	163,487	153,416	149,080	57,476	96%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和6年及び令和7年は概算値。石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

(2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和3米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲5万トンの約86万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約67万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約78%。残りの約22%はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 用途別には、日本酒において加工用米を中心に使用量が減少。

＜うるち米＞

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	1	2		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	2	8					10
味噌用		1		4	4		9
焼酎用 (泡盛含む)		1		3	1		6
米穀粉用		1	4	1	2	1	8
その他用	1	1		1	1		4
合計	12	20	4	17	11	3	67

＜もち米＞

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	4	3				1	8
米菓用	1	2		2		1	6
米穀粉用		1				1	2
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	7	5		2	1	4	19

- 注1： 日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。
 2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約11万トンを含んでいない。
 3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。
 4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。
 5： 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米の総称。
 6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
 日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
 焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
 米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
 主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。
 なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
 加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
 新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）等に基づく推計
 MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
 輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
 特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

<うるち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
	2	9 (8)	8		3			21 (8)
	3	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
	3	1	2		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
	3	2	8					10
味噌用	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
	3		1		4	4		9
焼酎用 (泡盛含む)	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
	3		1		3	1		6
米穀粉用	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
	3		1	4	1	2	1	8
その他用	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
	3	1	1		1	1		4
合計	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76
	2	15	20	3	18	13	3	72
	3	12	20	4	17	11	3	67

<もち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
	3	4	3				1	8
米菓用	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
	3	1	2		2		1	6
米穀粉用	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
	3	1	1				1	2
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
	3	1						1
その他用	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
	3						1	2
合計	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19
	3	7	5		2	1	4	19

注1: 日本酒用の()書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゆう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒のの総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は40万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により日本酒の国内出荷量が大幅に減少。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	30年	令和	3年	4年	5年	6年	7年		
	10年					元年					2年	(1~5月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	495	467	419	404	404	390	378	143	98%
特定名称酒	291	221	174	164	171	165	142	138	145	146	143	54	100%
吟醸酒	34	30	20	21	23	22	20	19	20	19	19	7	102%
純米吟醸酒	25	26	24	29	45	45	40	42	46	48	47	18	99%
純米酒	62	54	57	58	64	62	55	53	55	55	55	22	102%
本醸造酒	169	111	73	56	38	35	27	24	25	24	22	8	94%
一般酒	842	650	485	416	324	302	276	266	259	245	234	89	96%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和6年、7年は概算値。石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計。

注1：日本酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は、日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

注2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	30年	令和	3年	4年	5年	6年	7年		
	10年					元年					2年	(1~6月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	26	25	22	32	36	29	31	16.6	110%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	6	6	5	9	9	7	8	4.1	102%
中華人民共和国	0	0	0	1	4	5	5	7	7	6	5	3.3	145%
香港	1	1	1	2	2	2	3	3	3	2	2	1.0	103%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	1.4	100%
大韓民国	0	0	2	4	5	3	2	2	4	4	5	2.8	104%
その他	2	2	3	4	6	6	5	8	10	7	8	4.0	109%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に主食用としても流通している品種のほか、醸造用に適した品種である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、平成25~29年産では、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒の出荷が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産以降は、特定名称酒も減少に転じたこと等から、18~23万トン程度で推移。

日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	元年産	2年産	3年産	4年産	5年産	対前年比 5/4年
日本酒原料米	405	315	261	243	227	206	180	184	198	192	104%
酒造好適米	99	75	77	76	88	83	70	67	73	80	119%
加工用米	86	89	74	95	90	85	63	67	71	68	101%
その他	220	151	110	72	49	38	47	50	53	45	89%

資料：農林水産省による推計値。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、作付面積が増加し、作柄が良かった平成27年産の109千トンピークに減少傾向で推移していたが、直近は前年産より増加。
- 令和2及び3年産は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日本酒の国内出荷量が急減したことから、生産抑制が行われ、生産量が大幅に減少。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	平成					令和						
	10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	元年産	2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	対前年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	95,856	96,454	85,179	74,756	79,472	91,630	94,539	103.2%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	33,916	34,644	28,342	27,609	28,168	34,608	33,952	98.1%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	21,203	19,767	17,561	13,612	14,970	17,072	17,469	102.3%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	6,408	6,475	5,710	3,816	3,742	4,525	4,654	102.9%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,723	2,932	1,987	2,289	2,677	3,142	2,965	94.4%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	31,607	32,636	31,578	27,429	29,915	32,283	35,500	110.0%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：令和6年産は、令和7年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したものの。

(4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和6年7月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和6年産が81～83千トン程度、令和7年産が82～84千トン程度と見込まれる。

酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	令和4年産	5年産		6年産		7年産	
			対4年産比		対4年産比		対4年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	60,124	65,406	108.8%	67,446	112.2%	67,903	112.9%
山田錦	24,058	27,485	114.2%	28,533	118.6%	28,573	118.8%
五百万石	12,252	13,054	106.5%	13,085	106.8%	12,880	105.1%
美山錦	2,861	2,975	104.0%	2,993	104.6%	3,005	105.0%
雄町	1,510	1,623	107.5%	1,571	104.0%	1,597	105.8%
その他	19,443	20,268	104.2%	21,265	109.4%	21,848	112.4%
酒造好適米の全体需要量(推計)	73～74千トン	79～81千トン		81～83千トン		82～84千トン	

資料：「令和6年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果(実数)」は、令和6年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量(推計)」は、令和6年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約81～83%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。
URL：https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

<p>1 米の需給 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和7年3月26日))</p>	<p>需給-1</p>	
<p>2 米の在庫情報 令和4・5年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)</p>	<p>在庫-1</p>	Excel
<p>3 米の価格情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和5年産) 2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス) 3 米の現物市場の状況 4 堂島取引所による米穀指数市場(先物取引)の状況 	<p>価格-1 価格-4 価格-5 価格-6</p>	Excel
<p>4 米の契約・販売情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米) 2 政府備蓄米の買入札の結果(落札実績)(平成24年産～令和6年産) 	<p>契約-1 契約-7</p>	Excel
<p>5 支援事業等</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 水田活用の直接支払交付金等 (2) 畑地化促進事業 (3) 畑作物産地形成促進事業 (4) コメ新市場開拓等促進事業 (5) 小麦・大豆の国産化の推進 (6) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策) (7) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策) (8) 収入保険 (9) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業 (10) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト 	<p>支援-1 支援-2 支援-3 支援-4 支援-7 支援-8 支援-10 支援-13 支援-15 支援-17</p>	
<p>6 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果 (2) 国産飼料用米の需要情報 (3) 麦・大豆の需要情報 <ol style="list-style-type: none"> ① 令和7年産麦の産地別銘柄別入札結果 ② 令和6年産大豆の産地品種銘柄別入札結果 (4) 野菜等の需給情報 (5) 令和6年産水稻の収穫量 (6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移 	<p>その他-1 その他-2 その他-4 その他-6 その他-11 その他-15 その他-24</p>	

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。








Android
iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>